立命館大学
びわこ・くさつキャンパス

地域連携事例集

2017.4-2018.3

Case File of Regional Collaboration
at Biwako-Kusatsu Campus, Ritsumeikan University

RITSUMEIKAN

立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）
地域連携事例集
2017.4−2018.3の発刊にあたって

立命館大学びわこ・くさつキャンパスは、滋賀県、草津市をはじめ多くの地域の方々のご支援を頂きながら地域との連携事業に取り組んでおります。また、県民の皆様方が様々な目的でキャンパスを利用して頂くよう努めており、学生との交流の場が年々広がってきております。

2017 年度は、立命館守山中学校・高等学校がお世話になっております守山市との連携をはじめ、甲賀市とも包括協定を結び研究・教育の交流が進んでおります。

ところで滋賀県の男性平均寿命が 81.78 歳で日本一になったことが、厚生労働省により報告されました。これまで本学としても県民の健康増進について、スポーツ健康科学部をはじめ理系 4 学部がそれぞれの研究分野で地域連携を進めてきておりますが、琵琶湖による魚介類をはじめ豊富な水による米や野菜といった「滋賀県の特有の食文化」の発展に 2018 年に開設する食マネジメント学部が中心となって連携を深めていくことになります。

学生らも、JR 南草津駅前に開設されましたアーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）で地域の方々を対象としたイベント企画や、滋賀県が取り組む SDGs の新たな活動に積極的に取り組んでいます。今後立命館大学内の活動に留まらず、滋賀県内の 13 の大学が連携しながら日本全国や世界に活動内容を発信してくれることを期待しています。学生らは、こうした活動を通して、びわこ・くさつキャンパスが位置する滋賀県、草津市の魅力をさらに学んでほしいと願っています。

BKC 地域連携室は、2018 年に 5 年目を迎えこれまで以上に地域の団体や皆様方と連携していかなければなりません。BKC は 6 割近い学生が草津を中心に下宿することから、近年地域の方々と協同で作り上げる地域貢献型事業が増えてきており、学生部や教学部の協力を得ながら進めてきております。本事例集は、1 年間の教職員や学生の事例を編集しておりますが、全ての事例を網羅できていない部分が多々ございます。特に教員職員の滋賀県内の行政機関における委員などを紹介することは課題であると考えています。

今後さらに地域の発展のために連携することは、本学の研究・教育の発展に重要なものと考えています。学生らの学びのフィールドをさらに広げていくことに繋がります。引き続き、ご支援、ご協力をお願いするとともに、様々なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年 3 月

立命館大学　学長補佐・BKC 地域連携室長
立命館大学　スポーツ健康科学部　教授
岡本 直輝

立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集2017-2018
目　次

●Topics

日本初！ 学生主催によるSDGs体験型イベント「Sustainable Week」の開催 …… 8-9
学生団体CUES（キュース）による第48回衆議院議員総選挙投票制度の周知活動 …… 10
「甲賀市と立命館大学との連携・協力に関する包括協定」を締結 …… 11

●正課の活動

認知症サポーター養成講座 …… 12
福祉社会の担い手を育てる …… 13
滋賀県中小企業家同友会、大津市、草津市との共同講義 …… 14
地域参加学習入門 …… 15
シチズンシップ・スタディーズⅠ（草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト） …… 16
シチズンシップ・スタディーズⅡ …… 17
ソーシャル・コラボレーション演習 …… 18
琵琶湖体感・体験ツアー …… 19
草津市教育委員会サービスラーニング（専門） …… 20
スポーツ健康科学部インターンシップ　～BKCでのUSFスポーツキャンプの実施～ …… 21

●教育連携

教育と生命科学シンポジウム …… 22
生命情報学・中高生体験講座 …… 23
リツクラ（Ritsumeikan Class） …… 24
草津東高等学校との高大連携プログラム …… 25
薬学部・研究部×玉川小学校「立命館大学BKCスペシャル授業」 ～大学生活を体験しよう！～ …… 26
草津市内小学校の「Pepper社会貢献プログラム」学生サポーター活動 …… 27
パラスポーツプロジェクト …… 28
草津漢字探検隊 …… 29

●生涯学習支援

2017年度立命館びわこ講座　～近江を学ぶ、草津を識る～ …… 30
「びわ湖の日」連続講座　～琵琶湖と人の様々な関わり～ …… 31
あいこうか生涯カレッジ …… 32
笠縫東学区の健康関連講座 …… 33
滋賀県防災カフェ …… 34
大津市食品安全リスクコミュニケーター育成事業 …… 35
BKCスポーツ健康コモンズのプログラムサービス …… 36

●社会貢献活動

食とスポーツを育む会　～滋賀県・京都府のジュニアアスリート指導者勉強会～ …… 37
危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン …… 38
滋賀県地域情報化推進会議 …… 39
滋賀県ICT推進懇話会 …… 40
センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム
　「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」 …… 41
「まちづくり行動計画」策定に伴う志津南学区住民アンケート等調査事業 …… 42

●学生の課外自主活動

近江の彩り べんがら色彩スイーツ＆ミールプロジェクト……43
長浜市まちづくり役場誘導型観光マップ作り……44
高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」……45
農業から地域を元気に！ プロジェクト……46
出あいプロジェクト（地域と出あう、地域の人と出あう）……47
立命の家……48
学生団体REFLE.の活動　～繋がり、混ざり合うことで少子化問題を解決！～……49
バトンを通じた社会・地域連携活動……50
碁石海岸観光まつり……51
琵琶湖岸でのオオバナミズキンバイ駆除活動　～体育会所属学生による滋賀県への恩返し～……52
体育会アメリカンフットボール部　草津市立南笠東小学校スクールガード活動参加……53
草津市内の河川周辺清掃活動……54
将棋を通じた社会・地域連携活動……55
やまだ健康＆スポーツフェスタ　～山田学区での取組み～……56
アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）における本学学生の取組み……57

●地域交流

ルシオール アート キッズ フェスティバル……58
2017年度国際交流イベント「バーベキューパーティー」……59
青山学区寺子屋プロジェクト　～留学生との異文化交流会～……60
フラッグフットボールを通した交流……61
ラグビークリニック……62
2020年東京パラリンピック交流計画（ゴールボール男子日本代表選手強化合宿）……63
第15回チャレンジスポーツデー　～コオーディネーショントレーニング及びスポーツ鬼ごっこ体験～……64
第63回草津市駅伝競走大会……65
神輿担ぎde地域交流　～草津市野路町の新宮神社例祭で本学留学生が活躍～……66
近隣自治会の夏まつりを学生の力で盛り上げよう！　～かさやまふれあい夏まつり～……67
第7回みなくさまつり　～えんでつなぐみなみくさつ～……68

●BKC地域連携事例リスト

正課の活動……70-71
教育連携／生涯学習支援……72-73
社会貢献活動……74
学生の課外自主活動／ボランティア1日体験プログラム……75-77
地域交流（留学生）……77
地域交流（学生団体）……78-83
地域交流（体育会団体）……84
BKCで活動する学生団体リスト……85
索引（主な連携先）……86-87

●BKCへのお問合せ・アクセス

学生団体との地域交流のお申込について……88
BKCへのアクセス……90

BKC地域連携　おもな事例のご紹介

TOPICS

日本初！ 学生主催によるSDGs体験型イベント「Sustainable Week」の開催

本学担当
立命館大学Sustainable Week 実行委員会（2017年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体）

主な連携先
滋賀県、草津市、近江八幡商工会議所、立命館地球環境委員会など

活動期間
2017年4月から現在

主な活動地域・場所
滋賀県、草津市、立命館大学びわこ・くさつキャンパス

活動内容

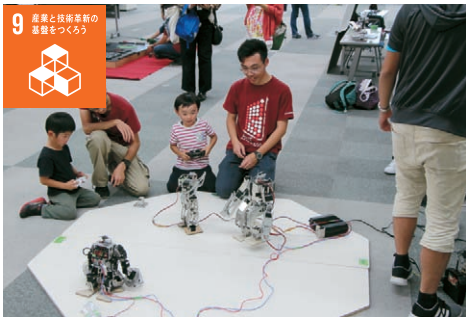
SDGs（Sustainable Development Goals）は、国連が2015年に採択した17の目標と169のターゲットからなる2030年までの持続可能な開発目標です。今回、立命館大学の団体や専門の異なる学生などが、それぞれ自分たちの得意な分野を活かしてSDGsの達成に向けた課題解決に取り組みました。この取り組みをキャンパスで実践するためにイベントとして行ったのが「Sustainable Week」です。

「Sustainable Week」では、企画運営・実施を行う学生、企画参加者の両方が、異なる角度からBKCとしてオリジナルな持続可能性について考え、学生主体でSDGsの解決策を探すことができるように工夫をしました。具体的に今年度の「Sustainable Week」では、理工学部環境システム工学科の学生や教員がポスターを展示することでSDGs:6番の“安全な水とトイレを世界中に”に積極的に取り組みました。また、Reco.labは、農家の方々から頂いた規格外野菜を使用したカレーを、Ritreeは自分たちが育てたホウレンソウでおひたしを作り、無料で参加者に提供することでSDGs：2番の“飢餓をゼロに”とSDGs：15番の“陸の豊かさを守ろう”という達成目標に取り組む活動を行いました。他にもcolor-freeがBKC噴水周辺でバルーンリリースを行うことでSDGs：5番の“ジェンダー平等を実現しよう”に取り組みました。

国際連合総合センターWEBサイトより抜粋

Sustainable Week 大看板

滋賀県職員の皆様とのワークショップ



Technologyを体感しよう

空を感じよう　～熱気球搭乗体験～

これまでの成果

「Sustainable Week」では、大学生が実際にSDGsの17すべての目標に取り組んだことが評価されました。28の学生団体が参加し、約700名の学生が企画・運営に携わり、延べ約2,300名の方々にご来場いただきました。行政や企業がSDGsへの取り組み方を模索している中で、滋賀県職員の皆様、立命館大学職員、Sustainable Week実行委員会によるワークショップが開催されました。また、企業の協賛やSDGsに関心のある方々に来場いただいたことも「Sustainable Week」の成果でもあると言えます。

日本国内でも「SDGs」を取り入れようとする自治体・企業・大学が増えている中、学生が主体となった初めての取り組み事例として、学生や地域の方にSDGsを認知していただいたことは、市民向けのSDGs啓発イベントとしても成功事例となりました。さらに、第7回みなくさまつりでの出展、朝日新聞社やNHKラジオの旅ラジ等約10社のメディアによる取材に加え、滋賀県で行われたキャンパスSDGs等さまざまな場所で事例発表を行い、学内外に広く活動を紹介しました。

0円食堂

再生可能エネルギーライブ

今後の課題・目標

SDGs体験型イベントSustainable Weekを継続して実施していくために、垂直展開と水平展開を考えています。垂直展開として、今年度のSustainable Weekの活動を踏まえて、「Sustainable Week 2018」では、学生の関心の高い「食」をテーマとすることでSDGsの学内の認知度を飛躍的に向上させることを考えています。また、今年度のSustainable Week実施後の学生向けアンケート調査（n=243）でSDGsの認知度は実施前と実施後で7.4%→19.5%しか向上が見られませんでした。学内の認知度を70%に目標設定し、SDGsに積極的に取り組む団体を増やしていきたいと思います。一方で水平展開として、学生によるSDGsのイベントとしてSustainable Weekを他大学や高校などにSDGs啓発モデルとして展開させていきたいです。さらに、行政や企業、NPO法人を巻き込んだ市民参加型イベントとして、他の都道府県へも展開し、SDGsを様々な世代で取り組むことで「誰一人取り残さない」世界を実現したいと考えています。

〈文・上田 隼也（生命科学部4回生）、和田 純矢（理工学部2回生）〉

BKC
―バルーンに気持ちを込めようキャンペーン―

TOPICS

学生団体CUESによる 第48回衆議院議員総選挙投票制度の周知活動

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
CUES選挙啓発セクション （経済学部生を中心とした有志団体）	草津市選挙管理委員会	2017年10月10日 ～同年10月20日	BKC

活動内容

2016年7月に行われた第24回参議員選挙において、BKCに初めて期日前投票所が設置され、学生を中心に教職員や近隣住民のみなさんに利用いただきました。

そして2017年6月、立命館大学内で活動する学生団体CUESが独自でBKC学生1000人を対象に、政治・選挙に関する意識調査を実施しました。その調査結果では、「下宿で住民票が実家（遠方）にあるため」「投票制度が分からないため」に投票に行けないと回答する学生が多数存在しました。

そのような学生に適切な投票制度を個別に説明し、1人でも多くの学生が国政に声を届けられるよう、同年10月に実施された第48回衆議院議員総選挙においてCUESと草津市選挙管理委員会が連携し、BKCの学生に向けた投票制度の周知とBKC期日前投票の案内を行いました。

ブースでの呼びかけ

これまでの成果

投票制度説明会を告知するポスターやブースをBKC内に設置し、投票啓発活動や投票制度説明会を期間中の昼・夕に実施しました。これらの活動は、朝日新聞・産経新聞・毎日新聞・中日新聞・びわ湖放送などに連日取り上げていただきました。

その結果、10月19日、20日と設けられたBKC期日前投票所利用者数は、草津市選挙管理員会が目標としていた「前回から30人増」を大幅に上回り、120人増加させることができました。（前回：2016年参議院選挙時 205人→今回：2017年衆議院選挙時 325人）

啓発ポスター

今後の課題・目標

今回、BKC期日前投票所において「不在者投票」に必要な事前手続きを知らなかったために、投票できずに帰った学生が何十名も見られました。投票2週間前からの制度説明だけでは周知できる人数には限りがあるため、1年を通して継続的にこのような活動を学内で行っていく必要があります。学生と政治を繋げられるような活動に今後も尽力してまいります。

※現在、CUESは学友会の登録団体（サークル）として活動中です。

〈文・勝谷 健士郎（経済学部3回生）〉

ゆるキャラたちとCUESメンバー

TOPICS

「甲賀市と立命館大学との連携・協力に関する包括協定」を締結

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC地域連携課	甲賀市	2017年度から	甲賀市内およびBKC

活動内容

2017年11月20日、滋賀県甲賀市と立命館大学は、これまで教育研究にかかわる個別の取り組みを通して築いてきた相互の協力関係を踏まえ、さらなる連携・協力を進め、地域社会の発展に寄与することを目的として、「甲賀市と立命館大学との連携・協力に関する包括協定」を締結し、甲賀市役所において岩永裕貴・甲賀市長および吉田美喜夫・立命館大学長による調印式をとりおこないました。

また、調印式後の対談では、岩永市長と吉田学長がそれぞれ抱負を述べたうえで、今回の包括協定が、甲賀市と立命館大学双方の未来にとって有意義なものであり、緊密に連携しながら取り組みの具体化を図っていくことで一致しました。

署名した協定書を手にする岩永市長（写真左）と吉田学長（同右）

固い握手を交わす吉田学長と岩永市長

調印式後に実施された対談の様子

これまでの成果

甲賀市とは、これまでもびわこ・くさつキャンパス各学部の教員を中心に、個別の取り組みで連携してきましたが、より一層包括的かつ組織的に連携・協力を推進していきます。

本協定にもとづく連携・協力内容は以下の通りです。（協定書より抜粋）

【包括協定にもとづく主な取組み】

1. 経済・観光の振興に関する事業
2. 文化の振興に関する事業
3. 地域活性化に関する事業
4. 人材育成に関する事業
5. 自然・環境の保全および活用に関する事業
6. 健康づくりおよび福祉に関する事業
7. その他甲賀市および立命館大学が協議し必要と認める事業

今後の課題・目標

2018年4月に開設する食マネジメント学部も含め、本学の知的資源を活かして甲賀市との連携を推進していきます。

正課の活動

認知症サポーター養成講座

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
経済学部 准教授 髙野 剛	草津市健康福祉部長寿いきがい課	2015年度から 現在まで	BKC

活動内容

2015年度より経済学部の「社会政策」の講義で、草津市役所より講師をお招きして「認知症サポーター養成講座」を開催しています。厚生労働省の推計によると、65歳以上の認知症の高齢者は、2012年時点で462万人であり、65歳以上のおよそ7人に1人の割合です。これが2025年には約700万人が認知症になると推計され、65歳以上の5人に1人の割合になります。そのため、厚生労働省は認知症サポーターキャラバン事業を実施しており、全国で認知症サポーターを養成することで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しています。「認知症サポーター養成講座」は、認知症サポーターキャラバン・メイトが講師役となって、60分～90分の認知症に関する講義を行うことで、受講者に認知症サポーターの証しとしてオレンジリングが授与されます。2016年には、担当教員である髙野剛准教授が「認知症サポーターキャラバン・メイト養成研修」を修了し、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務めることができるようになっています。

2017年の受講状況

これまでの成果

2015年には、国家戦略として「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が決定され、2018年3月までに認知症サポーターを800万人にする目標が掲げられました。2017年7月には、認知症サポーターが目標の800万人を達成したため、2020年度末までに1200万人を目標にすることになりました。政府は、金融機関や交通機関など認知症の高齢者に接する機会が多い人を対象に、重点的に認知症サポーター養成講座を開催するとしていますが、本学の学生はコンビニエンスストアや飲食店などでアルバイトをしていることが多く、卒業後に金融機関や交通機関などで働く学生も多いため、認知症サポーター養成講座を開催することにしました。2015年度より、約1000人の認知症サポーターを養成しました。

認知症カフェでの磁石数字盤ゲームの風景

認知症カフェでの認知症予防体操の風景

今後の課題・目標

認知症の人と家族が、地域の人や介護の専門家と語り合う場所づくりとして、「認知症カフェ」が全国で開設されるようになっています。もともとは、オランダの臨床心理学者が始めたアルツハイマーカフェと言われています。「新オレンジプラン」でも、「2018年度から、すべての市町村で、地域の実情に応じ実施する」と目標が掲げられており、草津市でも草津市役所と「認知症の人と家族の会」が協力して、毎月1回、「認知症カフェなごみ」を開設しています。2015年度に、学生数名と「認知症カフェなごみ」に参加し、音楽療法や指体操や数字並べゲームを体験しました。2016年度より大学から遠い場所で開設されることになりましたが、学生も気軽に参加できるカフェになることを期待しています。

認知症サポーター養成講座の
グループワーク風景

正課の活動

福祉社会の担い手を育てる

本学担当

経済学部 髙野ゼミ
准教授 髙野 剛

主な連携先

社会福祉法人しあわせ会
（特別養護老人ホームやわらぎ苑、
障害福祉サービス事業所むつみ園）

活動期間

2015年度より
現在まで

主な活動地域・場所

社会福祉法人しあわせ会
（特別養護老人ホームやわらぎ苑、障害福祉サービス事業所むつみ園）

活動内容

髙野ゼミでは、セメスター期間内の土曜日か日曜日に、正課の演習Ⅰ・Ⅱの授業の振り替えとして、福祉施設でボランティア活動に取り組んでいます。普段のゼミでは、福祉関係の文献を輪読することで、地域福祉に関する知識の取得をしていますが、実際に福祉施設に見学やボランティアに行くことで、より深い学びにつなげるようにしています。福祉施設は、利用者さんが日常生活をしている場所であり、学生が見学に行くことはプライバシーを見せてもらうことでもあるため、施設見学をさせていただいた恩返しとして福祉施設のお祭りのボランティアに学生と参加することにしています。ゼミでは、福祉分野における人手不足問題を学生のチョボラ（ちょこっとボランティア）で解決しようとする課題解決型学習に取り組んでいます。

これまでの成果

福祉施設に見学に行った後とボランティアに行った後に、感想文を提出してもらうようにしています。感想文は、毎年、冊子にしていますが、学生の福祉に対する見方や考え方の変化が成果としてあげられます。また、ボランティア活動に参加することで、普段のゼミでは知ることのできなかった学生の一面を見ることもできるので、新たな発見や驚くことも多いです。2015年度は障害福祉サービス事業所むつみ園、2016年度は特別養護老人ホームやわらぎ苑、2017年度は障害福祉サービス事業所むつみ園と交互にボランティアに行きましたが、障害者福祉と高齢者福祉を相互に体験する良い機会となりました。両方の施設からは、大変よろこんでいただき、来年もまた来て下さいと感謝していただいたほどです。

今後の課題・目標

草津市内にあるNPO法人が、2018年2月ごろから「子ども食堂」や「子どもの学習支援」をしようと計画されています。放課後に、子どもたちが集まって宿題をしたり、遊んだり、ご飯を食べたりする子どものための居場所づくりをしようとされています。ゼミでボランティア活動を経験した学生たちが、大学の正課だからボランティアに参加するのではなく、自主的にボランティアに参加するようになることを期待しています。

施設見学の風景

盆踊りの風景

盆踊りの櫓設営の風景

模擬店のヨーヨー釣りの制作風景

模擬店の焼きそばの調理

正課の活動

滋賀県中小企業家同友会、大津市、草津市との共同講義

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
経済学部 教授 松本 朗	滋賀県中小企業家同友会、 大津市・草津市商工観光労政課	2015年度～	BKCおよび滋賀県

活動内容

立命館大学経済学部の講義（キャリアデザイン、インターンシップ、国内調査実習）への講師派遣、インターンシップおよび国内調査のフィールド提供を実施しています。

（主体）

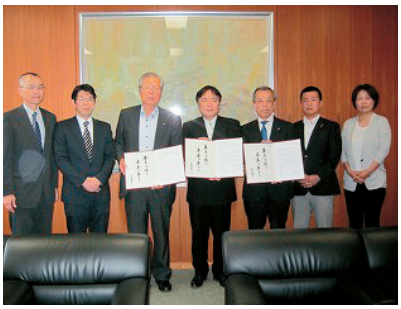
経済学部、滋賀県中小企業家同友会、大津市・草津市商工観光労政課

（対象）

学生、地域企業、団体

（目的、内容、方法）

経済学部では学部の教学改革の柱の一つとして、地域との調和・地域への貢献を進めています。その一環として、滋賀県中小企業家同友会と協力協定の締結をおこないました。これにより地域の企業との連携をさらに強化すること、とりわけ「中小企業憲章」（閣議決定）に謳われる社会の主役としての中小企業との連携を積極的に進めていくことになりました。当面の具体的な取り組みとしては、立命館大学経済学部のキャリア・デザイン科目を上記の主体で運営しています。また、その内容としては、インターンシップ科目としての展開を図っています。



2015年度協力協定締結時の様子（1）

2015年度協力協定締結時の様子（2）

これまでの成果

この連携を通じて学生は、地元企業の経営や実情を知ると同時に学部教育を超えたより実践的な講義を受けることができました。また、地元経済の状況を学ぶだけでなく、自らの職業観の醸成にもつながりました。インターンシップでは経験豊かな企業での実践的な取組みが、実地研修になっただけでなく、学習、研究の視野の広がりにもつながったと考えています。

今後の課題・目標

今後は、地域をフィールドとしたPBL（Project-based-Learning、課題解決型授業）教育へとつなげていき、アクティブラーニング方の教育の充実を図ります。また、学生を主体とした研究フィールドの拡大や地域の政策作りや地域お越しの事業にもつながっていくことを期待しています。

正課の活動

地域参加学習入門

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	滋賀県琵琶湖保全再生課、草津市国際交流協会、ダイバーシティ草津応援隊、くさつ未来プロジェクト、REFLE.、立命館大学Sustainable Week 実行委員会　等	2012年度から現在	BKC

活動内容

私たちが生きていくうえで、家族や職場、地域といったコミュニティは切っても切れない存在です。そしてこうしたコミュニティの形は時代とともに大きく変化しています。この授業では、私たちの生活とコミュニティのあり方に関心を寄せ、現代のコミュニティの「危機と多様化」について理解すると同時に、私たちがコミュニティの一員としての自覚をもつことの意義について学んでいます。地域活動の現場からの報告を聞くことと同時に、多くの地域活動の情報が得られるのもこの授業の特長です。

授業の様子（1）

これまでの成果

この授業では、座学による知識の習得や問題意識の醸成の機会をもつだけでなく、実際の活動への誘いも行っています。実際に多くの学生が、地域活動に参加し、そこで得られた人脈を活かして学生団体や市民団体の主要なメンバーとなり活躍しています。そのような地域との出会いの場としての役割を果たしてきました。

授業の様子（2）

今後の課題・目標

上記のような成果をあげつつも、しかしこの授業を入口として他のサービスラーニング科目や地域活動へと学びを深めてくれる学生のすそ野を広げていくことが今後の課題です。

授業の様子（3）

正課の活動

シチズンシップ・スタディーズⅠ（草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト）

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	草津街あかり・華あかり・夢あかり実行委員会、草津市商工観光労政課	2010年度から現在	草津市

活動内容

「シチズンシップ・スタディーズⅠ」では、ボランティア活動を通じて地域に貢献しつつ、地域社会の一員としての自覚と能力を育み、専門知識の応用的な理解を深めることを目標としています。2017年度草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクトには5名の学生が受講しました。まずは会場となる草津駅周辺のフィールドワークを通じて、「若者を呼び込む」というプロジェクト目標を立てました。これに則り、企画の立案や実行委員会への出席、関係各所との議論や調整を行い、イベント当日は「光の箱」「クイズラリー」を実施しました。

地域のみなさんとミーティング

これまでの成果

お祭りやイベントといったハレの舞台は、一過性のものではなく、日常的な地域コミュニティをベースとして作られ、またイベントを通じて、さらに地域は作られていくものだと思います。今回のプロジェクトでは、地域の課題を探り、地域を作っていく場に参加する経験を通じて、地域を身近なものとして、地域が作られる過程を自分ごととして理解するという学びを得ることができました。また、イベントに関わる様々な人や団体との交渉や連携の作法を知り、それらを進めていくことの難しさや大切さを経験することができました。

BKC内でのプレイベント

今後の課題・目標

引き続き、当プロジェクトに取り組み、充実・発展させていきたいと考えています。イベントの特徴や歴史を受け継ぎつつ、しかし学生ならではの独創的な発想を取り入れていくこと、地域との連携をさらに図っていくことが課題となっています。

学生考案のあかり

参加学生たち

正課の活動

シチズンシップ・スタディーズⅡ

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、 サービスラーニングセンター	桜プロジェクト （桜ヶ丘町内ボランティア団体）、 草津の元気と自慢土産つくり隊　等	2017年度	BKC、草津市

活動内容

この授業では、学生による自主企画の実施を通じて、地域に関わる担い手としての力量形成を目指しています。2017年度は5つのグループが以下のような活動を行いました。

○BKCキャンパス近隣のボランティア団体との意見交換会の実施
○草津市商店街を取材、学内でPRイベントの実施
○児童館で小学生との交流会の実施
○通学時における学生のマナー調査と安全な自転車走行のための注意喚起
○多文化共生を理解し、これを進めるためのアンケートの実施

地域の方から課題提供

学生同士でミーティング

地域のみなさんへプレゼン

これまでの成果

それぞれのチームが、自らの設定したテーマにもとづいて主体的に活動を行うことができました。チームごとにテーマに即した地域団体の協力を得ることができたため、地域連携のネットワークをさらに広げることができました。また、受講生の中から数名、授業が終わってからもさらに活動を発展させて活躍してくれています。

今後の課題・目標

これまでの連携の実績を踏まえながら、これをさらに深めること、他方で新たな連携先と活動を発展させること、それらの両立を図っていくことが課題となっています。

正課の活動

ソーシャル・コラボレーション演習

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、 サービスラーニングセンター	ヨシネットワーク／きんき環境館、 草津の元気と自慢土産つくり隊	2017年度	近江八幡市、草津市

活動内容

この科目のミッションは、地域に生起している具体的な社会問題に対して、自分たちなりの解決策を検討し、提案または実践することにあります。2017年度は、近江八幡市と草津市をフィールドに設定しました。近江八幡市では、現地で活動するヨシネットワークときんき環境館（環境省 近畿環境パートナーシップオフィス）との協働事業として、近江八幡市円山地区の活性化に向けて、学生の目線からみた観光PRの提案を行いました。草津市では、地域の良さを発掘し、情報発信することなどを目的に、草津市の文化や観光、街のトレンドなどをリサーチしたり、ボランティアを行ったりしています。情報発信に関しては、草津の元気と自慢土産つくり隊からのサポートを受けて進めました。

「ヨシネットワーク」の方による講義

「草津の元気と自慢土産つくり隊」の方によるワークショップ

これまでの成果

多くの学生が足元の地域を見過ごしているという実態を知り、あえてそこに意識的に焦点をあてることで、地域の魅力や面白さを知ってもらうことを目指して授業を展開しました。その点においては十分な成果をあげることができたものと考えています。ライフステージのなかでも、大学生は一番地域から距離が生じる時期だと思います。しかし専門知識を習得しているただ中にある、かつ「若者」であり「よそ者」でもある学生が、学生ならではの視点で地域づくりを考え、提案することには大きな意義があります。他方で学生にとっても、地域を楽しむことで地域を身近に感じてもらうことができるものと思います。それらの具体的な実践を積み重ねています。

フィールドワーク（1）

今後の課題・目標

学生ならではの視点で地域を活性化させるための提案を行ってもらうことに意義を見出してきましたが、その付加価値づくりをより充実したものとすることが今後の課題です。とりわけ学生の専門科目での学びをユニバーサルな場としての地域づくりに応用させていくところに、教養科目の上級編としての本科目の意義があるものと考えています。

フィールドワーク（2）

正課の活動

琵琶湖体感・体験ツアー

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史 サービスラーニングセンター、 BKC地域連携課	滋賀県琵琶湖保全再生課	2016年度から	近江八幡市

活動内容

琵琶湖や琵琶湖に密接に関わった地域文化を実際に体験する滋賀県の事業です。2015年9月に施行された「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」により、「国民的資産」であると位置づけられた琵琶湖の価値や直面する課題について県内で学ぶ学生に知ってもらうことを目的としています。昨年度より正課授業と連動させて実施してきました。2017年度は当日、台風接近に伴い、クルーズ体験を中止しバスツアーの行程に変更しました。

八幡堀の散策（1）

これまでの成果

2017年10月29日（日）に本学学生32名が参加し、以下の行程により琵琶湖について学習しました。

1. 立命館大学BKCに集合
   バスに乗車後、近江八幡市へ移動
2. 八幡堀で歴史を知る
   八幡堀を守る会、近江八幡観光物産協会の方々より八幡堀の保全活動や歴史について伺いながら八幡堀散策を行いました。
3. 西の湖のヨシ文化を学ぶ
   近江八幡市円山地区にて、ヨシネットワークの協力の基ヨシ文化について学びました。湖魚料理を含めた地元食材・地場産品による昼食をいただいたあと、よし笛の演奏を鑑賞しました。また、実際によし笛を作る体験をさせていただきました。
4. バスに乗車し、BKCへ移動。感想を共有
   参加学生から一言ずつ感想を共有しました。

八幡堀の散策（2）

ヨシ文化について学ぶ

今後の課題・目標

予定していたクルーズ体験は行うことができませんでしたが、参加学生にとって滋賀県の歴史・文化を知る機会となりました。昨年度は60名の参加、今年度も40名の学生からの申込みがあり、クルーズ体験の関心が高いことが伺えました。本学学生にとって滋賀を知るツアー体験は貴重な地域参加のきっかけとなっているため、今後は、本企画と連動させた地域活動等のプログラム展開や、さらなる地域参加を促していきたいです。また、今後も、学生が琵琶湖について理解を深められる機会を提供できればと考えています。

よし笛作り体験

正課の活動

草津市教育委員会サービスラーニング（専門）

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	草津市教育委員会	2012年度から現在	草津市内小学校（14校） 及び教育委員会

活動内容

本事業は、サービスラーニングに関する協定を締結している滋賀県草津市の教育委員会との連携事業であり、スポーツ健康科学部所属の将来保健体育科の教員あるいはスポーツ指導者を志望する学生を対象としています。大学における専門的学びを踏まえて、実際の教育指導現場における体育的行事の企画運営や体育科学習の指導補助等に関わる中で、行事運営や学習指導の方法および実践理論についての見識を深めることを目的とした研修プログラムとなっています。具体的には、草津市教育委員会が全市の小学6年生を対象に立命館大学において開催している「ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU」における企画運営への参画、草津市が取り組んでいる小中学校体力向上プロジェクト事業への補助等を行います。

体力向上プログラムの様子（矢倉小学校）

学生が補助している様子（山田小学校）

これまでの成果

本事業を通じて参加学生らは、実際の教育指導現場における児童・生徒の実態や教師による指導法を間近で見ることを通じた学びの促進や、体育的行事（各学校における運動会や全市を挙げて行われるジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU）の目的の設定や、実施運営方法等を含めた実習による体験の蓄積を成果として得ることができ、自らの将来のキャリアビジョンをより明確にすることに貢献しています。

一方で、学校教育現場においては、スポーツ健康科学の専門的学びを踏まえた学生からの補助により、体力・運動能力向上に必要となる的確で個に応じた指導に役立っていることや、体育的行事においても、魅力あるプログラムの企画運営に貢献している（ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSUでは、児童期に育成することが重要とされる調整力、巧緻性を育成できる運動プログラムを考案し、全市の小学6年生を対象として運動指導を行っています）ことを評価されるなど、本連携事業による双方への効果が認められています。

今後の課題・目標

本事業では、教育指導現場として、主に草津市内の小学校を中心に事業が展開されています。生涯を通じた運動習慣を身につけるには、児童期の取り組みが重要となりますが、同時に専門的スポーツ種目への取り組みが始まる中学校期における生徒と、教諭による指導（部活動指導等）の実態等も併せて知る必要があるでしょう。中学校期の指導を対象とした連携についても、今後の課題として検討したいと考えています。

正課の活動

スポーツ健康科学部インターンシップ ～BKCでのUSFスポーツキャンプの実施～

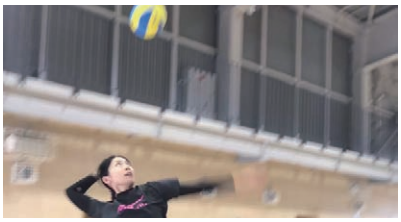
本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 教授 種子田 穣	一般財団法人 United Sports Foundation	2015年度から現在	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

活動内容

USFスポーツキャンプは、小学校3年生から6年生を対象に、トップアスリートの直接指導により子ども達が様々なスポーツを体験することで、競技の多様性に触れ、自分自身の能力や関心を見出す機会提供を目的とした宿泊型スポーツキャンプです。子ども達はスポーツを通じて仲間たちと力を合わせる一体感や感動、チャレンジすることや上達することの喜びなどを経験することで、協調性を育み、自主的に考え実行することの大切さを学びます。また、初対面の子ども間、世代や国籍の違うスタッフとの交流を図ることで、ソーシャルスキルを高め、グローバルな視点を養うものです。

USFスポーツキャンプは2017年度、東京都、福島県、茨城県、静岡県、愛知県、徳島県でも実施していますが、「USFスポーツキャンプ2017 in 滋賀」は、BKCを会場に10月18、19日の一泊二日で行われ、京都、滋賀の小学生76名が参加し、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボールの4競技に取り組みました。講師は野球が元MLBプレイヤー、他の3競技は元日本代表選手の協力を得ました。

このスポーツキャンプは、スポーツ健康科学部学生を対象としたインターンシッププログラムとして実施され、ボランティアとしても本学学生が参加しています。


バレーボールクリニック

バスケットボールクリニック

野球クリニック

サッカークリニック

これまでの成果

BKCでのUSFスポーツキャンプは2016年度からスポーツ健康科学部の学生を対象としたインターンシッププログラムとして実施されている他、ボランティアとしても本学学生が参加しています。このインターンシップは、6月に始まり、10月のキャンプ本番に向けて、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、草津市、草津市教育委員会、京都市、京都市教育委員会への後援依頼、企画立案、講師依頼や食事の手配など各所との折衝、ポスター、フライヤー作成と参加者募集、ボランティア募集にあたり、キャンプ本番では、国内･国外からのボランティアを束ね運営の中心を担います。学生たちはこのインターンシップへの参加を通じて、スポーツイベントの全体像を学び、社会との関わりの中での自らの存在を自覚します。

また、キャンプでは、スポーツの得意、不得意に関わらず、真剣に取り組む子ども達の笑顔に溢れ、次回のキャンプにも参加を希望する子ども達も多数に上りました。

企画から運営までを担ったインターン

今後の課題・目標

BKCでのスポーツ健康科学部学生を対象としたインターンシッププログラムとしてのUSFスポーツキャンプも今年度で3回を数え、ハードではあるけれど、学び多く、力のつくプログラムとして参加したインターン学生の中で定着してきています。こうしたプログラムへの積極的な参加が学部の文化として定着し、学生たちから学生たちへと引き継がれるものになり、USFスポーツキャンプが質的充実を遂げることによって、子ども達の成長のサポートに今後とも貢献していきたいと望んでいます。

充実した二日間で子供たちは大きく成長

教育連携

教育と生命科学シンポジウム

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
生命科学部 学部長 小島 一男	滋賀県下大学、中学校、高等学校 立命館各附属校	2016年度から現在	BKC

活動内容

本企画は、滋賀県下の大学・高等学校・中学校の教職員とのネットワーク形成と生命科学に関する教育連携について議論を行うためのシンポジウムです。教育と生命科学部の重要性をより地元の方々に広めることと、滋賀県における中高大学との交流促進、ならびに生命科学への興味と向上の活性化への寄与を目的とし、「教育と生命科学シンポジウム」と題して下記の通り実施しました。

【スケジュール】

13：30～13：40　開会の挨拶（生命科学部 学部長　小島一男）
13：40～14：30　演題「生命科学と自分」
　　講師　生命科学部　生命情報学科長　菊地武司
14：30～15：00　演題「高校化学における生化学的内容の紹介
　　～教育研修での実験事例と最近の大学化学入試問題より～」
　　講師　滋賀県立膳所高等学校　教諭　池下克美氏
15：10～15：40　演題「これからの中学理科教育と大学の学び」
　　講師　立命館守山中学校教諭　教諭　藤田翔平 氏
15：40～16：30　演題「生物を化学で解明する生化学の魅力と生命科学」
　　講師　滋賀大学教育学部　教授　糸乗前 氏
16：30～16：40　閉会の挨拶（生命科学部 副学部長　天野晃）

これまでの成果

本プログラムの成否をはかるため、以下の3点を指標としました。

①最低でも2つ以上の中学校教員・高等学校教員が参加し、今後の展開事業にて協力を得られる体制を作ること
②本学の取り組みを理解してもらうことも目的のひとつであることから、参加者の半分以上が外部や学生の参加者であること
③附属校教員や三市教育委員会・教員とのネットワークを構築することが目的であるので、本学部のすべての学科から最低2名、計8名以上の参加者があること

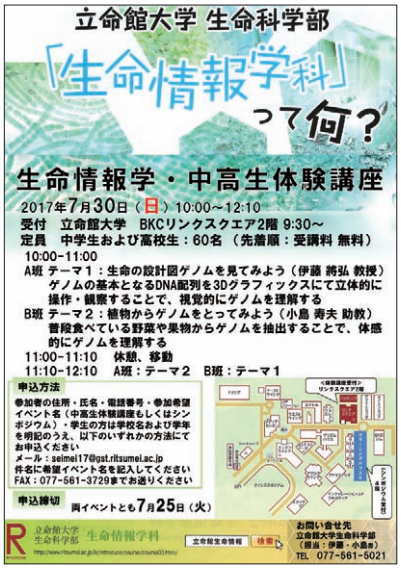
その結果、次のとおり当初の目標を達成できたと考えています。

①学内の教員・教育委員会・教育関係者9名が参加して交流ができ、今後の中学生から大学生への縦への繋がりを強化できるきかっけとなった。また、短時間ではあるが、本学部役職者とも懇談することができた。
②参加者60名のうち、高校生からの参加も含め、外部からの参加者は38名であった。
③本学部からの出席者は18名であり、学科別には応用化学科2名、生命医科学科1名、生命情報学科10名であった。

今後の課題・目標

今回は第2回ということもあり、より中学と大学の縦の線を知っていただくために、近郊の一般の方と高校生も参加できるようにしました、また、今回は特に「生命科学における化学」に重点を置き、講演の先生を設定しました。参加者からは、「理科という括りがあるが、それに捉えられず、生命科学を捉えていこう。」という声や、「理科教育が進化していっている。」などの声が聴かれました。

このようなシンポジウムは他になく、上記の声を踏まえて、今後も継続していきたいと考えています。



シンポジウムチラシ

シンポジウムの様子

教育連携

生命情報学・中高生体験講座

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
生命科学部 学部長 小島 一男	滋賀県下中学校・高等学校	2016年度から現在	BKC

活動内容

本企画は主に滋賀県下の中高生を対象に、生命情報学に関する実験の体験を通じて生命科学への興味関心を高めてもらうための取組みです。具体的には、参加者にDNAとゲノムのイメージを理解してもらい、計算機と生命科学との接点を知ってもらうことを目指しました。はじめに、DNAの立体構造をコンピュータグラフィックスで視覚的に理解し、さらに身近な洗剤などを使って野菜や果物のDNAを抽出することで、生命科学における実験と計算機との接点をイメージしていただくことにしました。

【スケジュール】
10：00～11：00　タイトル「生命の設計図ゲノムを見てみよう」
　　講師　生命科学部　生命情報学科 教授　伊藤將弘
11：10～12：10　タイトル「植物からゲノムをとってみよう」
　　講師　生命科学部　生命情報学科 助教　小島寿夫

受付の様子

DNAの立体構造をCGで視覚的に理解

説明を熱心に聞いています

これまでの成果

本取り組みの検証指標として、「生命情報学」という学問を浸透させるために、附属校ならびに滋賀県の中高生を最低30名に受講してもらうこととしました。参加人数は28名と目標に若干届かなかったものの、生徒たちは積極的に真剣な態度で参加しており、生命科学部の教育・研究を実際に体験することによって中学校・高等学校の学びが大学の学びにどのようにつながっており、大学ではどのように高度な研究を行うのかについて理解していただくことが出来たのではないかと考えます。

今後の課題・目標

生命情報学は、膨大なる生命のデータから新しい発見や発明をする学問であることが、少しずつ伝わりつつあると思います。とくに、これまでの生命情報=コンピュータという認識はなくなりつつあり、今後も本講座を継続することで、中学生のうちに「生命情報」を理解していただけるよう取り組んでいきます。

教育連携

リツクラ（Ritsumeikan Class）

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC学生オフィス	草津市立志津南小学校	2009年度から現在	草津市立志津南小学校

活動内容

リツクラとは、立命館大学のクラブ・サークルが地域の小学校に出向き、課外自主活動を通じて交流する取り組みです。2009年度より、BKC近隣の草津市立志津南小学校のクラブ活動での交流を中心として展開し、2014年度からは小学校の授業の時間帯に出前授業として実施しています（小学校側の呼称は「志津南小学校と立命館大学 学生サークルによる連携6 DAYS !」）。

これまでは、小学校からの理科教育推進の要望に応じて主に理系団体が担ってきましたが、2017年度は同校が英語教育のモデル校となっていることから、英語による討論や国際ボランティアに取り組むサークルも新たに参加しました。

長く飛び続ける紙飛行機づくり

身近な素材を使った科学実験

英語で言葉遊びや歌を楽しもう

ボードゲームクラブ

これまでの成果

出前授業は、9月4日（月）～15日（金）の期間で1団体が1学年を担当する形で実施しました。各団体は、8月に小学校に出向いて各学年の担任の先生方と打合せを行い、担当する学年の発達段階に応じた内容を考えて、遊びの要素も加えて楽しみながら学べるような教材を準備しました。

【2017年度参加団体（担当学年）】
飛行機研究会（1年生）、立命館ダンスサークルR.D.C.（2年生）、ライフサイエンス研究会（3年生）、草津天文研究会（4年生）、国際ボランティアサークルTOM SAWYER（5年生）、Ritsumeikan Parliamentary Debate Club（6年生）、将棋研究会（クラブ活動）

今後の課題・目標

リツクラ実施後、子どもたちから各団体へのお手紙や感想文をいただきました。また、担任の先生方へのアンケートでは高評価をいただくことができました。小学校、学生、学生オフィスの三者で振り返りを行った際には、小学校と学生双方から次年度開催を望む声が出ていました。リツクラは、小学校・学生の双方にとって有意義な取り組みとなっており、今後も継続して活動支援を行ってまいります。

教育連携

草津東高等学校との高大連携プログラム

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	滋賀県立草津東高等学校	2012年度から現在	滋賀県草津東高等学校及び、立命館大学スポーツ健康科学部

活動内容

本事業は、スポーツ健康科学部と滋賀県下で唯一体育科を有する草津東高校との高大連携プログラムであり、スポーツ健康科学部の教育研究の成果を、滋賀県高等学校スポーツを牽引する草津東高校の教育現場にて貢献させることを目的に実施されています。具体的には、本学部の所属教員・大学院生による出張講義の実施や、大学の最新の施設を利用しての運動パフォーマンス測定、教員志望の大学院生らによる高等学校体育科授業「体つくり運動」単元の授業支援、さらには、スポーツ・健康に関わる科学的な知見を高校生段階でまとめ、成果として発表する際のプレゼンテーションに関する指導支援等を行なっています。

これまでの成果

スポーツ健康科学部の教員による出張講義では、岡本教授による「コーチング」について、体育科3年生を対象に講義が行われました。また、体育科1・2年生には、立命館大学スポーツ健康科学部内の測定室で各種運動パフォーマンスの測定が行われ、最新の研究施設による測定結果を高校生へ返却するなど、日頃の体育科での学びの深化や、取り組んでいる競技スポーツのパフォーマンス向上に貢献しています。

また、大学院生による授業支援では、高校1・2年生を対象とした「体つくり運動」の授業単元の支援がなされ、将来教員を志望する大学院生を中心とした数名が、日頃の研究活動により得た知見も含めて指導内容を精選・構成し、ウェイトトレーニング、アジリティトレーニング、コンディショニング等の知識と実践的内容の指導の支援に取り組み、高校生らの学びのサポートを行いました。

さらに、高校2年生が行うスポーツ・健康に関わるプレゼンテーションでは、長い時間をかけて準備してきた学習成果を発表する会のサポートをしています。発表については、立命館大学を会場として、滋賀県教育委員会担当主事、草津東高等学校教職員関係各位、近隣大学の学識経験者、さらには保護者らも参加し、広くその成果を発表する機会の支援を行いました。

今後の課題・目標

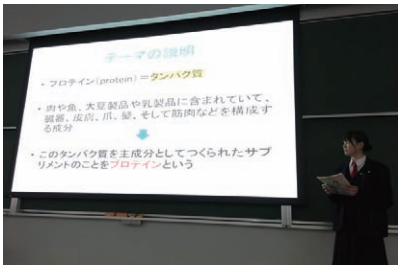
本事業は、高等学校における連携事業として、体育科の高校生を対象とした体力測定及び授業のサポートが主な内容となっています。これらの学びを活かして高校生は自らの取り組んでいる競技スポーツのパフォーマンス改善・向上に役立てています。今後の課題としては、高校生が各自取り組んでいる競技スポーツ種目別の部活動における、コーチングやマネジメント領域における科学的サポートなども検討していきたいと考えています。

大学院生による授業支援

BKC施設での測定（1）

BKC施設での測定（2）

高校生に向けてレクチャー



高校生による成果発表

教育連携

薬学部・研究部×玉川小学校「立命館大学BKCスペシャル授業」 ～大学生活を体験しよう！～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
薬学部 助教 河野 裕允、BKCリサーチオフィス、BKC地域連携課	草津市立玉川小学校	2015年度から	BKC

活動内容

2018年2月15日（木）、びわこ・くさつキャンパス（BKC）にて、「玉川小学校スペシャル授業in BKC」が実施されました。本企画は、JR南草津駅からBKCの間に位置する草津市立玉川小学校の6年生3クラス合計99名の児童を対象に、BKCでの授業体験や施設見学、学食体験を通じて大学や大学生に対する「憧れ」を持ってもらおうと企画されたもので、学習意欲の向上にも繋がると好評をいただいております。

本企画を中心的に進めているのは、薬学部　河野 裕允 助教。河野助教が玉川小学校の学校薬剤師を勤め普段から交流があることから実現し、今回が3年目となります。さらに今年度は、BKCリサーチオフィスが研究団体のひとつとなっている文科省プログラム「アクティブ・フォー・オール拠点」（P.41参照）の各種取組みのうち、子どもも楽しめる「おえかきんでん」を取り入れたり、玉川小学校側の希望でクインススタジアムでのアクティビティの時間も盛り込みました。

これまでの成果

まず、マイドリーム授業当日の1週間前に、河野ゼミと玉川小学校6年生の各クラスで遠隔通信にて事前交流が行われました。

そして本番当日9時過ぎ頃、元気に登校してきた6年生たちは、まずコラーニングハウスI大講義室での薬物乱用防止講演を受講。緊張した雰囲気でしたが、児童のみなさんは真剣に耳を傾けていました。続いてグループ毎に大学生との交流タイム。先日の事前交流に参加した学生を含む18名の学生が薬学部から参加し、大学生活全般に関わる質問を小学生から受け交流を深めることができました。

その後クラス毎にわかれ、「薬学部体験」、「おえかきんでん体験」、「クインススタジアム体験」 の3工程と、全員一緒にユニオンスクエアの学食で昼食をとりました。

【薬学部体験】

薬学部施設内の調剤実習室にて実験を行いました。代表の児童が白衣を着て、予め用意された薬を試験管の中へ。液体によって薬の溶け方が違うことを目の当たりにし、「先生」となる学生たちが「薬は正しく服用しましょう」といった話をすると児童たちは真剣なまなざし。実際に目にすることで学びが深まったようでした。

【おえかきんでん体験】

3人の体験者が協力して運動することで、1枚の絵を描き、音楽が奏でられる「おえかきんでん」。筋肉の動きで発生する電気「筋電」の波形から絵や音を生み出す仕組みが新しくて楽しい運動体験は、ゲーム感覚で楽しめるのでとても盛り上がりました。

【クインススタジアム体験】

例年10月に実施しているジュニアスポーツフェスティバルが台風で中止になったので、クインススタジアムで軽いアクティビティの時間をとりました。天候にも恵まれ、子どもたちはスタジアムのトラックや芝生の感触を楽しみながら、思い思いに元気良く身体を動かしていました。

【ユニオンスクエア食堂での学食体験】

各自がトレイを持って学内利用者と同様にカフェテリア形式で注文し、食堂の2階で食べました。昼食時で混雑していましたが、これも児童にとっては学びの一つです。中には学生たちよりたくさん注文する児童もいたり、一旦食べ終わってから更に追加注文のため1階へ降りていく児童も見受けられました。

今後の課題・目標

今回のような取組みを通じてキャンパスを直接見ていただけるだけでなく、大学や研究へのあこがれを持っていただくきっかけとなればと思います。また、河野助教からは「普段は研究を中心に生活を送っている学生達としても、自分たちの研究等について分かりやすく説明をしたり、多くの方と交流、コミュニケーションをとることは将来社会に出た時に役に立つということで、学生達にとっても有意義な一日であったのではないか」との感想がありました。

今後もBKCでの学びをいかした取組みを実施していきたいと思います。

薬物乱用防止講演

学生との交流

薬学部実習体験

おえかきんでん体験

クインススタジアム体験

学食体験

教育連携

草津市内小学校の「Pepper社会貢献プログラム」学生サポーター活動

本学担当
情報理工学部高田研究室、
立命館コンピュータクラブRCC、
情報理工学部プロジェクト団体RiPPro、
BKC学生オフィス、BKC地域連携課

主な連携先
草津市教育委員会 学校政策推進課

活動期間
今年度初めて

主な活動地域・場所
草津市立志津南小学校、
草津市立玉川小学校

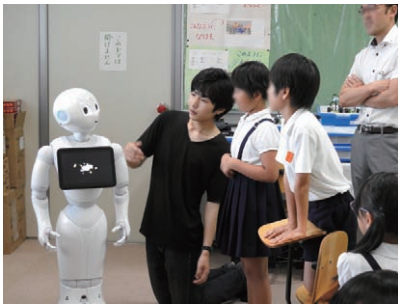
活動内容

本プログラムは、ソフトバンクグループ株式会社が公募の中から選ばれた全国17自治体の公立小中学校、282校に約2,000台規模で人型ロボット「Pepper」の無償貸し出しを行うもので、草津市はそのうちの一つにあたります。児童の論理的思考力や問題解決力の育成に繋げることを目的に「総合的な学習」の時間にPepperを使ったプログラミング授業を導入するにあたって、草津市教育委員会からBKC地域連携室に学生に授業をサポートしてもらえないかと相談がありました。情報理工学部やプログラミングおよびロボット系の学生団体に呼びかけて以下の活動が実現し、各回とも本学学生が2名ずつ、午前中の授業2〜3コマの補助を行いました。

草津市立志津南小学校…6/19（月）・6/26（月）・7/10（月）
草津市立玉川小学校……7/14（金）

児童と一緒にプログラミング（志津南小）

校長先生も授業を見学（志津南小）


Pepperに話しかけている様子（玉川小）

Pepperと野球ゲーム（玉川小）

これまでの成果

授業はコンピューター室で行われ、児童5〜6名を1班として各班1台のPepperが割り当てられます。学年によって授業内容は異なり、6/19（月）の志津南小学校6年生の授業では、実際にPepperを喋らせるプログラミングを行いました。Pepperと繋がっているパソコンで日本語を話す設定をした後で、喋らせたい言葉を入力する際に、学生サポーターは児童を見守りつつも、少し手間取っているグループに対しては「どこがわからない?」とさりげなく関わっていきました。「私の名前は○○です」「おなかすいた。ごはんごはん」など、自分たちがプログラミングした言葉をペッパーが実際に話す様子に、児童も興味津々でした。

また、7/14（金）の玉川小学校の3年生の授業では、Pepperをと一緒に身体を動かして活動しました。野球ゲームやラジオ体操など、Pepperが動いたり話すたびに児童は大喜び。ラジオ体操ではPepperの動きに合わせて児童と一緒に手足を動かしたり、野球ゲームではPepperの胸に表示される投球サインに合わせて児童がスイングする際、学生サポーターがキャッチャー役をするなど、活気あふれる授業の雰囲気づくりを担う様子が伺えました。

今後の課題・目標

今年度初めての取り組みであるため、まずは理系の学生団体などを中心に呼びかけましたが、学校側が授業に取り入れる内容も学期が進むにつれて変化していくことと思われます。

今後はプログラミングそのものにとどまらず、各教科においてプログラミング授業を活用していくことが求められるため、情報系の学生だけに限らず教職学生や普段のサークル活動を活かせる団体など幅広い学生に呼びかけていければと思います。

教育連携

パラスポーツプロジェクト

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
男子バスケットボール部	滋賀県立草津養護学校	2017年度から	草津市、野洲市ほか

活動内容

パラスポーツプロジェクトは2017年度から新たに取組んだ活動です。滋賀県立養護学校を訪問し、体を動かすことを通じてスポーツの楽しみを知ってもらうことを目的として、男子バスケットボール部部員による生徒との交流及び技術指導を行っています。活動の中では、養護学校の教員に作成頂いたメニューをもとに体を動かしながら交流し、2017年度前期は、バスケットボールの指導や実践形式の試合を行いました。2017年後期は、陸上ホッケーを通じて交流を図りました。

活動の様子（1）

これまでの成果

参加した部員の中には始めはどのように接したらよいか分からずとまどう部員もいましたが、一緒に体を動かす中で少しずつコミュニケーションを図り交流を深めていく事ができました。また、参加した部員は活動日ごとに養護学校の教員との間で交換日記のような形でその日の活動を振り返り、部員が感じたことや困ったことを共有しながら、次の活動にいかしていくことができました。部員の中には、教職課程を履修し、教員を目指す者もおり実際の教育現場をフィールドとして生徒と接することにより、自分自身も学び、成長することができたと感じられる有意義な活動となりました。

活動の様子（2）

今後の課題・目標

活動日と授業の関係から、参加できる部員が少し偏ってしまったため、次年度以降も活動を継続し、より多くの部員が参加できるようにしたいと思っています。また、今後、2020年に東京オリンピック・パラリンピック、2024年には滋賀国体もひかえているため、地域の子供たちにスポーツや体を動かすことの楽しさを知ってもらうことにより、スポーツ分野でのより一層の地域社会貢献を行っていきたいと思います。

集合写真

教育連携

草津漢字探検隊

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
社会連携部社会連携課	草津市教育委員会	2011年度から現在	草津市内各所

活動内容

草津市では、子どもの基礎学力向上のために2010年度からすべての公立小学校の4～6年生および中学校の1～3年生において「日本漢字能力検定」の受検を導入しています。そのため、漢字知識の普及を目的の一つとする立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所（以下、白川研）が、草津市教育委員会（以下、市教委）との共催で「体験型漢字講座草津漢字探検隊」に取り組んでいます。

市教委も「試験でただ覚えるだけでなく、身近な知恵のたくさん詰まった漢字の魅力を知ってもらいたい」との期待をもっています。このことから、2011年度から年2回（夏と冬）に「人」「動物」「気象」「衣服」など、毎回一つのものをテーマに見学や体験を通して漢字をテーマにしたワークショップや学習会を開催しています。

数と漢字（2016年度開催）

防災・土木と漢字（2014年度開催）

建物・道具と漢字
（2012年度開催、草津宿本陣）

これまでの成果

この取り組みは7年間で14回開催し、累計参加人数はのべ864人を数えます。参加は草津市の全域はもとより大津市・栗東市・京都市からに及んでいます。また「草津漢字探検隊」への参加者が、京都市など他の地域で開催している「漢字探検隊」にも積極的に参加するなどの広がりを見せています。（写真はいずれも過年度のもの）

今年度は以下の2回を草津市市民交流プラザで開催しました。

・2017年　6月17日(土)　「第13回草津漢字探検隊　漢字ジェスチャー大会」
・2017年12月16日(土)　「第14回草津漢字探検隊　むかしの漢字を書いてみよう」

この他、草津市立草津小学校・草津第二小学校・南笠東小学校・志津小学校・山田小学校への訪問授業に招かれています。

今後の課題・目標

今後も草津市教委との連携を元に、市内の小学生や保護者を中心とした支持者層に深耕するとともに、京都など近隣地域の参加者もさらに草津に呼び込めるようテーマを工夫したいと考えています。

生涯学習支援

2017年度立命館びわこ講座 ～近江を学ぶ、草津を識る～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC地域連携課	草津市教育委員会 生涯学習課、滋賀県立琵琶湖博物館	1994年度から現在	BKC

活動内容

BKC開学以来20年以上続く生涯学習講座です。草津市の委託事業としてスタートし、大学の知的資源を生涯学習支援に活かす講座として開講しており、2017年度も引き続いて「近江を学ぶ、草津を識る」をテーマに様々な観点から講演を行いました。

第1回「滋賀・草津の水災害」里深 好文 教授（理工学部）
第2回「滋賀の薬草栽培」田中 謙 教授（薬学部）
第3回「ゆるキャラの歴史的変遷―滋賀発ゆるキャラのあるべき姿像―」
中村 彰憲 教授（映像学部）
第4回「琵琶湖を詠む」篠原 徹 先生（滋賀県立琵琶湖博物館館長）
第5回「日本仏教の原点―近江の風土・最澄と比叡山―」本郷 真紹 教授（文学部）

これまでの成果

今年度も草津市在住・在勤者やBKC周辺にお住まいの方、特にリピーターの方が半数近くを占め、みなさん熱心に受講されている姿勢がすばらしく、各回の講義に対しても以下のような感想をいただきました。

【各回の代表的な感想】
第1回：琵琶湖の水位調整、維持管理と流出河川である瀬田川、天ケ瀬ダム、宇治川、淀川に至る河川改修と維持管理の重要さが実によく理解できて、大変興味深く聴講できました。
第2回：医食同源と言いますが、毒素の含有量によって薬･香草･野菜に分かれているところ、生息地によって薬効が異なるところが興味深かったです。人間の長年の経験から育まれた漢方薬ってすごいなと思いました。
第3回：ゆるキャラが生まれるまでの歴史的背景がこんなに奥深いもので、それを学術的に説明していただき、面白かったです。ゆるい雰囲気の中には戦略も含められていて、キャラクターの中に秘められた力を再発見できました。
第4回：県内の芭蕉関連の名所は訪れたことがあっても、断片的な知識ばかりで一貫性がなかったのが、本日の講義でより深い知見を得ることができた。改めて本を読んだり、名所を訪問してみたい。
第5回：天皇の系図との関わりから最澄への繋がりが見え、今まで知らなかった仏教の流れがわかりました。神仏習合のことや仏教の入りなど、点ではなく線となるよう教授いただきとても良かったです。

今後の課題・目標

全5回を終え、受講者アンケートでは次のような声をいただいています。今後も地域の生涯学習に貢献できる講座内容を提供していきたいと思います。

【総括アンケートでの声】
- 琵琶湖を中心とした滋賀県に関係する環境等、理系から文系にわたって企画してほしい。
- 地域という軸足を置き、自然・文化・歴史・科学技術等さまざまな切り口で講座を提供してほしい。
- 文化発信の都市として、市民が誇りのもてるこのような学習機会を継続してほしい。
- 今の時代で話題になっていることをテーマにして年配者にも解り易く。
- 講演の中でもっと深く知りたい場合の推薦図書を紹介してほしい。

第1回　里深教授

第2回　田中教授

第3回　中村教授

第4回　篠原館長

第5回　本郷教授

生涯学習支援

「びわ湖の日」連続講座 ～琵琶湖と人の様々な関わり～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC地域連携課	滋賀県 琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課	2015年度から	BKC

活動内容

2015年度より、7月1日「びわ湖の日」の関連事業として、滋賀県と立命館大学との連携により、県民の皆様や学生を対象とする連続講座を開催しています。

2017年度は、「琵琶湖と人の様々な関わり」をテーマに、様々な角度から琵琶湖の多様な価値や課題を見つめ直す講座を実施しました。

これまでの成果

2017年度は、以下のとおり、全3回にわたってBKCを会場にして実施しました。

第1回：7月09日（日）「琵琶湖を旅する―湖上から伝える琵琶湖の魅力―」
　　川戸 良幸 氏（琵琶湖汽船株式会社 代表取締役社長）
第2回：7月23日（日）「琵琶湖を調べる―ゲノムから探る琵琶湖―」
　　伊藤 將弘 教授（立命館大学 生命科学部）
第3回：7月30日（日）「琵琶湖を歌う―琵琶湖周航の歌誕生100年―」
　　村井 佳子 氏（琵琶湖周航の歌資料館 館長）

第3回の講義後には、立命館大学混声合唱団メディックスの学生34名が登壇し、「琵琶湖周航の歌」1番から6番までを合唱しました。メディックスによる合唱に続き、受講者の皆様も一緒に、会場の170名全員で合唱し、会場全体が琵琶湖を想う歌声でつつまれました。

今後の課題・目標

今後も滋賀県と連携し、県民の皆様や学生が様々な視点で琵琶湖について理解を深める機会を提供できればと考えています。

第1回　川戸社長

第2回　伊藤教授

第3回　村井館長

第3回　混声合唱団メディックスによる合唱

生涯学習支援

あいこうか生涯カレッジ

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC地域連携課	甲賀市教育委員会	2015年度から	BKC

活動内容

あいこうか生涯カレッジは、地域にある文化財や受け継がれてきた熟練の技を題材とした現地学習から始め、高校での体験学習を経て、大学での専門的な学習へと、会場を移しながら、発展的に学ぶ連続講座です。

立命館大学は、あいこうか生涯カレッジ実行委員会（事務局：甲賀市教育委員会）に参画しており、「理論学習講座」がびわこ・くさつキャンパスで実施されています。

これまでの成果

2017年度は、以下のとおり、全6回にわたって立命館大学教員がBKCを会場に、「理論学習講座」の講師を務めました。

- 9月16日（土）
  「今、源氏物語がおもしろい」須藤 圭 助教（文学部）
- 9月30日（土）
  「健康づくりI―運動機能の評価と介護予防に向けた運動療法―」
  藤本 雅大 助教（スポーツ健康科学部）
- 10月28日（土）
  「健康づくりII―健康寿命の伸ばし方、ロコモティブシンドローム診断、セラバンド運動―」
  有光 琢磨 助教（スポーツ健康科学部）
- 11月04日（土）
  「土砂災害について考える」藤本 将光 准教授（理工学部）
- 11月25日（土）
  「農と地域の未来を拓く」松原 豊彦 教授（経済学部）
- 12月16日（土）
  「超高齢化社会とまちづくり」黒川 清登 教授（経済学部）

今後の課題・目標

今後も、あいこうか生涯カレッジ実行委員会に参画し、受講者の皆様の学びに資する取り組みを継続したいと考えています。

9月16日　須藤助教

9月30日　藤本助教

10月28日　有光助教

11月4日　藤本准教授

11月25日　松原教授

12月16日　黒川教授

生涯学習支援

笠縫東学区の健康関連講座

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 教授 家光 素行 助教 藤本 雅大 BKC地域連携課	笠縫東学区まちづくり協議会	2015年度から	笠縫東学区（草津市）

活動内容

笠縫東学区では住民の健康維持・増進をはじめとして、疾病予防・介護予防などあらゆる年代の体力増進を図ることを目的に各種講座を実施されており、本学スポーツ健康科学部の教員が講師として協力しています。今年度も昨年度に引き続き、下記のとおり講師を務めました。

①健康リーダー研修会（全9回のうちの3回）：スポーツ健康科学部　藤本雅大 助教
テーマ「転倒のメカニズムと予防」
第1回：2017年7月　7日（金）「転倒の要因」（於：笠縫東まちづくりセンター）
第2回：2017年7月21日（金）「転倒リスクの評価」（於：湖南広域消防局西消防署）
第3回：2017年8月　4日（金）「転倒予防トレーニングの実際」
（於：笠縫東まちづくりセンター）

②健康ウォーキング講習会（全3回）：スポーツ健康科学部　家光素行 教授
第1回：2017年10月21日（土）ウォーキング活動推進企画の立案
第2回：2017年11月　4日（土）企画したウォーキングコースを歩く
第3回：2018年　3月　3日（土）各町内会でのウォーキング活動企画の推進と表彰

これまでの成果

①健康リーダー研修会：第1～3回で、のべ83名参加
昨年度行ったテーマ「加齢に伴う運動機能の変化」に繋がるものとして、今年度は「転倒」にフォーカスした内容となりました。受講された皆さんは、第1回目に転倒に関連する日常の生活動作や転倒を増加させる疾患と病態などについて学んだうえで、第2回目に実習として転倒に関連する運動機能の測定を行い、グループ毎に応援しあい、励ましあい、賑やかに盛り上がりました。第3回目には転倒の危険因子（筋力低下や視力・関節障害等の内的要因や環境等の外的要因）を把握し減らすこと、そのために有効な運動に必要な条件や具体的なトレーニング方法が解説されました。

②健康ウォーキング講習会：各回約30名参加
3年目となる今年度は、健康ウォーキングを各町内会活動に定着させることを目指しました。第1回では家光教授から全国で取り組まれているウォーキング活動推進事例の紹介がなされ、その後5つのグループに分かれて笠縫東学区ならではのウォーキング推進企画を考えたところ、「ゴミを拾って環境対策ウォーキング」や、「名所を通る認知症予防ウォーキング」、「行き先を決めないミステリーウォーキング」など、ユニークな企画が提案されました。第2回ではそれらの企画を複合して名称を「ミステリーウォーキング」とし、名所見所の写真を撮ったりゴミ拾いをしながら歩きつつ、各内容につけられたポイントの獲得数を4つのグループが競いました。第3回までに各町内会でウォーキング活動推進企画をどれだけ実現できるかを競い、優秀な企画には本学から表彰状の授与を行いました。

今後の課題・目標

今年度の健康ウォーキング講習会は、「ただ歩くだけではなく、企画・立案も行う」という点では若干ハードルが高くなったため、昨年よりも参加者が減りました。しかしながら、健康リーダー研修会も含むまちづくり協議会の事業は、「事業内容を地域づくりに如何に役立てるのか」といった視点で行われるのが本来のあり方であるとも伺っており、そこに専門的知識・知見を提供することこそが地域へ果たす大学の役割でもあると認識しています。

このことからも、今回の両事業参加者の中から笠縫東学区の「健幸都市くさつ」関連事業をリードしていくキーパーソンが、少しずつ出てくることが期待されます。

①健康リーダー研修会第2回の様子

①健康リーダー研修会第3回の様子

②ウォーキング講習会第1回の様子

②ウォーキング講習会第2回での優勝グループ

生涯学習支援

滋賀県防災カフェ

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
理工学部教員（下記参照）	滋賀県 総合政策部 防災危機管理局	2016年度から	滋賀県 危機管理センター

活動内容

「防災カフェ」は、地震や風水害など県民の皆様の関心の高い危機について、専門家をゲストとして迎え、司会者（ファシリテーター）との会話を通して解説するイベントで、滋賀県防災危機管理局により実施されています。

防災カフェの様子（1）

防災カフェの様子（2）

防災カフェの様子（3）

これまでの成果

2017年度は、以下のとおり、立命館大学理工学部の教員がファシリテーター及び講師を務めました。

【ファシリテーター】
理工学部 深川 良一 教授（防災フロンティア研究センター長）

【講師】
- 4月18日（火）
「想定外の豪雨が引き起こす洪水に備える」理工学部 里深 好文 教授
- 5月18日（木）
「多発する土砂災害」理工学部 藤本 将光 准教授
- 6月13日（火）
「地盤リスクを知り、災害から身を守る」理工学部 小林 泰三 教授
- 7月07日（金）
「前震・本震・余震とは何か」理工学部 川方 裕則 教授
- 9月26日（火）
「建築物の耐震設計」理工学部 吉富 信太 教授
- 10月26日（木）
「構造物の耐震設計とは」理工学部 伊津野 和行 教授
- 11月21日（火）
「インフラメンテナンスの必要性」理工学部 川﨑 佑磨 准教授
- 12月20日（水）
「文化遺産の防災からわかること ―清水寺周辺の災害と防災の取り組み―」
理工学部 大窪 健之 教授

今後の課題・目標

今後も、防災・災害対策について、滋賀県等と連携して取り組む予定です。

社会貢献活動

大津市食品安全リスクコミュニケーター育成事業

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC社系研究機構／ 食マネジメント学部（2018年4月から） 准教授 小沢 道紀	大津市保健所、消費者庁、株式会社岡喜牧場、滋賀県食肉衛生検査所、株式会社阪急デリカアイ、JA草津市	2016年度から現在	大津市

活動内容

大津市民の方を対象に「大津市食品安全リスクコミュニケーター育成講座」を昨年に引き続き開催いたしました。昨年は、内閣府食品安全委員会との共催、今年度は消費者庁との共催となっています。一般の市民の方が食品安全について詳しく学び、リスクコミュニケーターとして、食品安全に関する正しい情報を、自らの意思で地域等に広く周知いただく事は他にあまり例がありません。そのため、大津市保健所で座学による学習をはじめ、農場・牧場・食肉衛生検査所・食品製造現場での実地研修を行い、添加物、農薬、リスクコントロール、食中毒など全13回の講座を通して学び、成果として他の方にリスクを伝えるための冊子を作成しています。

これまでの成果

これまで2年間で、約70名の修了生を出しています。約半年にわたり、リスクコミュニケーターとしての継続した学びを行っていく中で、受講生間のコミュニケーションも活発になり、昨年度の修了生を中心として、自主的な取り組みも始まりつつあります。その際のツールの重要なものとして、受講生自身が作成している食の安全を理解するための小冊子があります。修了生の数が増えていく事で、将来的には科学的なリスクに対する知見を基として、周りの市民に対して情報発信され、食と言う身近な事から公衆衛生の推進につながっていきます。

今後の課題・目標

講座修了後も受講生が食品安全リスクコミュニケーターとして継続的に活動をしていくために、学び直しの機会をさらに提供していく必要があります。また、活動を支える支援も欠かすことができません。今後もFacebookや大津市保健所からの食の情報案内など、情報提供を続けて食品安全リスクコミュニケーターとしての活発な活動を図りたいと考えています。

食の安全講座チラシ

座学の様子

岡喜牧場見学

グループ発表の様子

BKCスポーツ健康コモンズのプログラムサービス

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC地域連携課、BKC学生オフィス、東大阪スタジアム（HOS）	（対象）キャンパス近隣の地域住民（草津市内の保育園、幼稚園、小学校の児童生徒等）	2017年度から	BKC

活動内容

BKCスポーツ健康コモンズは2016年10月より供用開始されたプール、アリーナ、トレーニングルームを兼ね備えた複合型体育施設です。この施設は授業やクラブでの練習などの利用のほかに、地域社会にもひらかれた交流・連携を図る場となることを目指しています。今年度は滋賀県や草津市の水泳大会および東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業の一環として障がい者スポーツの合宿・交流試合にも利用されています。

さらにこれまでキャンパス内でスポーツや健康づくりが身近でなかった学生や教職員、また地域住民の方々が主体的に健康増進や運動習慣を身につけることを目的としたプログラムづくりにも取り組んでいます。

広いアリーナでは複数プログラムが同時進行

バスケットボールのプログラム

これまでの成果

2017年度秋から気軽なエクササイズとして本施設の管理運営を行う株式会社東大阪スタジアム（HOS）の専門インストラクターによるヨガ、個バス（バスケットボール）、ボディファイティング、スイミングなどのプログラムをスタートしました。学生・教職員だけでなく地域の方にも広く開放し、皆さん一緒に楽しみながら継続して運動ができる場となっています。

また、夏休みや冬休みにはおもに小学生向けにスイミング教室・体操教室を実施し、キャンパス近隣の皆さんに多く参加いただきました。教室ではプール、鉄棒や跳び箱の上達を目標としたもので、あわせて保護者の方にも参加いただけるプログラムや「コーディネーション運動」という運動する上で必要な7つの能力（バランス・リズム・反応・変換・連結・定位・識別）を遊び感覚で楽しみながら向上させるトレーニングも実施しました。

子ども向け体操教室

今後の課題・目標

BKCでは「スポーツ」「健康」「食」「ICT」等の多様な研究・教育が展開されています。今後はこれらの最先端の理論や技術を取り入れることで、大学ならではのプログラムを提供していきたいと思います。そしてさらに多くの地域の皆さんに参加いただき、運動しながらBKCの研究・教育を実感していただけるような場としていきたいと考えています。

スポコモ前広場での親子プログラム（1）

スポコモ前広場での親子プログラム（2）

社会貢献活動

食とスポーツを育む会
～滋賀県・京都府のジュニアアスリート指導者勉強会～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	滋賀県・京都府中高等学校運動部 活動指導教諭	2011年から現在	スポーツ健康科学部 栄養調理実習室 （RecOスタジオ）

活動内容

滋賀県内を中心に各競技のコアとなる中学高校運動部指導者が自主的に参集し、各現場の「成長期におけるスポーツと食」についての課題を指導者自らが抽出、その解決に向けての具体的な策を計画し、海老研究室の大学院生（公認スポーツ栄養士、管理栄養士）ゼミ生が中心となり、サポート、実践し、その効果を報告する勉強会です。またこの活動の報告を含め、年に一回づつ、地域指導者に向けた「食スポ拡大指導者勉強会」（若手指導者への勉強会）及び、選手の保護者、地域住民の皆様に向けた「食スポ・シンポジウム」を開催しています。

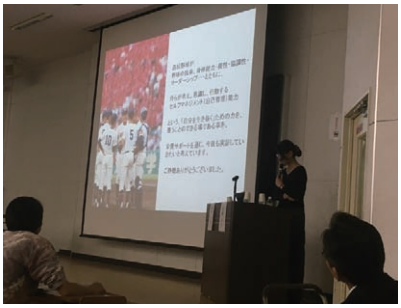
勉強会の様子

これまでの成果

コアメンバー（20名程度）のチームへのサポートとその評価を続けるとともに、上記拡大指導者講習会にて、滋賀県、京都府の中学校、高校の運動部活動へのサポートを行いました。また、県内外の選手の保護者、指導者、地域住民の皆様に向けた「食・シンポジウム」は、以下のようなテーマで開催し、毎回多くの皆様にご参加いただいています。

パネルディスカッション

第1回（2011年12月） 参加者 約200名
　テーマ：「子供たちの食は生きているか　～勝てる身体を育むために～」
第2回（2013年1月14日） 参加者 約130名
　テーマ：「アスリートと食の関係をじっくりと消化してみる」
第3回（2013年12月14日） 参加者 約130名
　テーマ：「結果を出した食を知る」
第4回（2014年12月13日） 参加者 約200名
　テーマ：「プロへの食。プロでの食」
第5回（2016年2月27日） 参加者 約100名
　テーマ：「食べて美しく。食べて逞しく。～成長期アスリートの食を考える～」
　　（協賛：株式会社サン・クロレラ）
第6回（2017年1月22日） 参加者 約100名
　テーマ：「勝ち続けるチームの台所」
第7回（2017年11月26日） 参加者 約250名
　テーマ：「子供たち、再起動」
　　（協賛：株式会社明治、株式会社サン・クロレラ、株式会社湖池屋）


事例発表

今後の課題・目標

活動7年目を迎え、会の活動も企業より協賛のお申し出をいただける程に周知され、その規模が大きくなったことから、運営の見直しも必要になってきました。今後は、県や県体育協会等関連団体との連携も視野に入れた活動も考えていきたいと思っています。

社会貢献活動

危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
薬学部事務室	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン実行委員会	2015年度から現在（2017年10月29日に八日市ショッピングプラザ アピアでイベント）	滋賀県内各所

活動内容

危険ドラッグ等薬物の乱用は、乱用者個人の健康を蝕むのみならず、乱用者に関係する人の生活をも崩壊させ、また凶悪な二次犯罪を引き起こさせるなど社会に対しても大きな危害をもたらしています。危険ドラッグ等による事件・事故は、法律の改正等により規制が強化されていますが、依然として後を絶ちません。危険ドラッグ等薬物乱用の防止には、規制に加え、啓発活動が重要であることから関係機関で実行委員会を立ち上げ、一丸となって啓発キャンペーンに取り組んでいます。

2017年度は、ショッピングプラザ･アピア（東近江市:近江鉄道八日市駅前）でキャンペーンイベントを開催しました。

キャンペーンのポスター

これまでの成果

危険ドラッグ等薬物の乱用の防止には、規制とともに啓発活動が重要であることから、2015年度より、関係機関（滋賀県、一般社団法人滋賀県薬剤師会、立命館大学薬学部ほか）で実行委員会を立ち上げ、薬物乱用防止の啓発事業（キャンペーン）に取り組んできました。具体的には、実行委員会副委員長に薬学部副学部長、委員に担当教員および事務職員が就任し、企画運営に取り組んでいます。

また例年、薬学部の学生がボランティアとして、子供向け調剤体験コーナーを担当し、県下の薬剤師と協同で薬物乱用防止キャンペーンの一翼を担っており、地域の子供に対して薬の重要性と危険性を伝えることができていると思われます。

キャンペーンイベントの様子（1）

キャンペーンイベントの様子（2）

今後の課題・目標

危険ドラッグ等薬物乱用の防止には、継続的な啓発活動が必要であるため、滋賀県、一般社団法人滋賀県薬剤師会、びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部、びわこ放送株式会社、株式会社エフエム滋賀ほかと協議を行いながら、県下の啓発活動に協力していきます。

社会貢献活動

滋賀県地域情報化推進会議

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
情報理工学部 教授（学部長）仲谷 善雄	滋賀県	2014年度から現在	滋賀県

活動内容

本組織は、1988年に「しがニューメディア推進連絡会議」として発足して以来、約30年間滋賀県で活動しており、管轄は滋賀県県民生活部情報政策課となっています。本学からは情報理工学部仲谷善雄教授が、前任者の八村広三郎・前情報理工学部長の後任として参画し、委員長を務めています。メンバーは、産業界からNTT西日本滋賀支店、NTTデータ関西、滋賀銀行、ミズホネット、京都新聞滋賀本社、滋賀富士通ソフトウェア、野村證券大津支店など32社、滋賀経済同友会などの12団体、20の市町、4大学（立命館大学、滋賀県立大学、滋賀大学、龍谷大学）で構成されています。

主な活動内容は、ICT利活用の検討、滋賀Web大賞（ホームページコンテスト）の開催、立命館大学情報理工学部主催のプログラミングコンテスト「あいちゃれ」の協賛（2017年度はなし）、各種ICT関連セミナーの主催などです。（https://shiganet.shiga-lg.jp/suishinkaigi/）。最近では、ICT利活用検討部会において、滋賀県におけるオープンデータの利用方法について検討を行っています。また、2017年度からは新しくデータ利活用WGを立ち上げています。

これまでの成果

本会議は、滋賀県の情報化の推進を検討する組織として、県下の市町や企業を巻き込んで、具体的施策を提言してきました。その中で、情報理工学部長が委員長として就任してきた経緯があり、地域の情報化推進のかじ取りに大きな役割を果たしてきたと言えるでしょう。特に、年1回の総会時には、就任直後の会長が講演を行ってきており、2014年度には仲谷教授が「事業継続管理と情報技術」という題名で、企業防災の観点からのICT利用について講演を行い、滋賀県における直下型地震の影響とそれへの対応の必要性に関する意識を高めることができました。またその後の3回の総会においても、マイナンバー制度への対応、IoTと社会情報基盤というタイムリーな講演テーマの企画に携わることにより、企業を中心とする地域社会に対してICT利活用の必要性・重要性をアピールできました（総会の講演は公開されています）。

今後の課題・目標

ICT利活用検討部会においてオープンデータの利活用方法について検討をしています。自治体は多くのデータを保有していますが、それらが何に利用可能なのかという問題意識を持っていないために、埋もれたままになっています。それをどのように公開し、民間に利用してもらうのか、セキュリティの問題をどのようにクリアするのかなど、検討すべき課題はまだ残っていると思われます。

社会貢献活動

滋賀県ICT推進懇話会

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
情報理工学部 教授（学部長）仲谷 善雄	滋賀県	2017年度から現在	滋賀県

活動内容

IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等の新たな技術を軸に経済や社会の変革をもたらす第4次産業革命が進行する中、本委員会では本格的な人口減少社会の到来、生産年齢人口の減少等の県の抱える課題を解決するために、ICTの技術進歩とICTにより高度化したデータの収集・分析技術を有効なツールとして積極的に活用しようとする検討を行っています。酒井道・滋賀県立大学教授を座長として、今年度から始まった委員会で、本学からは仲谷善雄教授が委員として参画しています。地域や行政の課題解決に向けた有効な手段としてICTを積極的に活用し、ICTの進展に的確に対応しながら、中長期的かつ計画的にICT活用施策を推進していくための指針を検討しています。

これまでの3回の委員会において、県から提示された5つの重点戦略（①地域・産業を再創造する、②安全・安心な生活を守る、③働き方・行政サービスを革新する、④滋賀発の人材を育成する、⑤ICT基盤を確立する）について議論を行っています。

これまでの成果

12月時点では3回の委員会が開催され、県から提出された案に対して委員から意見を述べているところです。滋賀県の技術に固執することなく、最先端の技術を用いて、滋賀県が重視するポイントを設定して、重点的に取り組むべきであると考えています。

今後の課題・目標

この委員会の答申が今後の県のICT政策の方向性を決めることから、慎重かつ前向きな検討結果になるよう、多方面からの検討を行いたいと考えています。本学BKCは私学として最大規模の理工系を有しており、情報理工学部を中心として情報技術の研究開発の一大拠点を形成しています。今後も地域連携として大きな貢献ができるように意見を述べて行きたいと思います。

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」

本学担当

研究部 BKCリサーチオフィス
URA（リサーチ･アドミニストレーター）
原 健太・山田 涼馬

主な連携先

オムロンヘルスケア株式会社、東洋紡株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社東大阪スタジアム、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、東急不動産株式会社、花王株式会社、株式会社ニッピ、東郷町施設サービス株式会社、順天堂大学、滋賀医科大学

活動期間

2013年度から現在

主な活動地域・場所

びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパス、順天堂大学、草津市

活動内容

本プログラムは、運動の生活カルチャー化を目的に「運動したくなるような先端技術の研究開発および事業化」を目指す、産学連携型の研究開発拠点事業です。立命館大学、順天堂大学、企業10社が2021年までに革新的な技術の事業化を目指しています。

具体的には、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術（スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導／継続技術）と、寝たきりゼロを目指す「ロコモ（※）の見える化と予防法の開発」を行っています。「運動」を媒介に「スポーツ･運動」と「医療」の両側面から健康を維持･増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導し、人々の時間と空間を共有して「日本の誇るべき絆社会」を実現するための活動に日々取り組んでいます。

※ロコモとは

少子高齢化先進国としての我が国の活力を維持し、持続的に発展するためには、国民一人ひとりが、高齢世代に達した後も、健康かつ終身現役でその能力を発揮し、自己実現とともに社会に貢献できる健康や環境の向上を図ることが重要です。病気や加齢に伴い、移動能力が低下する「ロコモティブシンドローム」（ロコモ）は、メタボリック症候群の悪化やサルコペニア（加齢性筋萎縮）を経て発症し、認知機能低下とともに、寝たきり、要介護状態に至る主因となっています。

「健幸フェア」：ACTIVE5

「健幸フェア」：おえかきんでん

これまでの成果

滋賀県草津市において開催された以下の健康・運動関連のイベントに出展しました。

4月には、「第49回草津宿場まつり」にて、指向性スピーカーで別々の運動を同時に実行する「空間シェアリング」を紹介しました。

9月には、「健幸フェア」にて、筋肉を動かしてグループで遊ぶゲーム「おえかきんでん」を紹介しました。また、この技術は日本科学未来館の期間展示でも紹介しました。ロコモ予防のためのエクササイズ「ACTIVE5」もステージにて実演し、多くの方にご参加頂きました。

10月には、昨年度に引き続き「挑戦したいを応援する」運動フェスティバルをびわこ・くさつキャンパスにて開催し、約100名の草津市民の参加がありました。また、草津市健康増進課からも、体験型栄養教育システム「食育SATシステム」をご紹介頂きました。

「挑戦したいを応援する」運動フェスティバル

今後の課題・目標

今後も、運動を通じた多世代交流の場を提供することに焦点を置くとともに、草津市との連携を更に深め、またアーバンデザインセンターびわこ･くさつのような、大学･企業･市民･行政が交流できる場において、地域住民と健康･運動に関する情報交換を実施していきたいと考えています。加えて、「おえかきんでん」や「ACTIVE5」といったグループで実施する運動エクササイズを実施することで、多世代交流を促進してまいります。

社会貢献活動

「まちづくり行動計画」策定に伴う志津南学区住民アンケート等調査事業

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
共通教育推進機構 講師 宮下 聖史	志津南学区まちづくり協議会、 （公財）草津市コミュニティ事業団、 草津市まちづくり協働課	2017年度	志津南学区（草津市）

活動内容

BKCキャンパス近隣地域である志津南学区まちづくり協議会では、「まちづくり行動計画」（2014年）を策定しており、2017年度は計画の最終年度となっています。そこで次年度からの新たな計画を作るにあたって、学区全体の現状や問題点などを把握することを目的とした地域調査を、まちづくり協議会との共同事業として実施しました。実施にあたっては、草津市より「がんばる地域応援交付金」を受けています。

志津南ニュースでも本取り組みが紹介されました

これまでの成果

地域づくりの担い手としてのまちづくり協議会の役割が重要視されています。そんななか、まちづくり協議会と大学との連携のあり方を示すものとして、本事業は画期的なものであったと考えています。地域づくりに特効薬はありません。地道に地域を作る営みを積み上げていくためのひとつの出発点として、地域の実態把握を試みました。本事業は市行政が主に資金面のサポートを、中間支援組織であるコミュニティ事業団が全体のコーディネートを担っていただいたことから、地域を構成する関係諸団体の協働のモデルにもなりました。

アンケートを集計する学生たち

今後の課題・目標

調査の結果を受けて、地区の計画づくりやその後の実際の地域づくり活動へとつなげていくことが課題です。また本事業によって得られたノウハウを、他の地区での調査にも活かしていきたいと考えています。

学生の課外自主活動

近江の彩り べんがら色彩スイーツ&ミール プロジェクト

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
経済学部 寺脇拓ゼミ有志団体 教授 寺脇 拓	近江八幡市、近江八幡観光物産協会	2017年度から現在	近江八幡市

活動内容

寺脇拓ゼミでは毎年正課外の活動として、有志のメンバーで前年度に行った研究の成果を発展させるプロジェクトに取り組んでおり、今年はその6年目を迎えます。今年度は、昨年度滋賀県近江八幡市のインバウンド観光振興を目的に外国人向け観光紹介動画を作成した経験をもとにして、新たに近江八幡とゆかりの深い「べんがら」という「色」に着目し、その色が観光振興に果たす役割を明らかにしようとするプロジェクトを立ち上げました。具体的には、「べんがら」をフィーチャーした食イベントを現地で開催するとともに、そのイベントがもたらす観光便益を経済学的に評価する活動に取り組んでいます。

イベント会場前の看板

レシピ集

販売したトルティーヤ巻

これまでの成果

11月18日・19日に、八幡堀近くの町家、旧吉田邸にて「べんがら」をフィーチャーした食イベントを開催しました。このイベントでは、学生らが作製した「べんがら色彩スイーツ&ミールレシピ集」を配布するとともに、その中で紹介されている、地元食材をふんだんに使った「赤こんにゃくと近江牛と朝恋トマトのべんがらトルティーヤ巻」を1つ250円で販売し、2日間で173食を売り上げました。イベントの期間中は、八幡堀周辺の飲食店でも、店舗オリジナルのべんがら（赤）色のメニューを販売頂くとともに、八幡商業高校さん、八日市南高校さんの販売実習も旧吉田邸で同時に開催され、大きな賑わいを見せました。その様子を含め、この活動は、京都新聞、朝日新聞、読売新聞、中日新聞、ZTVなど、多くのメディアでも取り上げて頂きました。なお、当プロジェクトの資金はクラウドファンディングにより調達され、見事目標金額100%を達成しました。

販売の様子

今後の課題・目標

今後はトルティーヤを購入いただいた方々を対象に行ったアンケート調査のデータを分析することで、今回のイベントがもたらす観光便益を金銭単位で評価する予定です。その金額により一定の効果が示されれば、「色」を観光振興に生かす「カラーツーリズム」という言葉を新たに提案できるのではないかと考えています。

イベント初日を終えて

学生の課外自主活動

長浜市まちづくり役場誘導型観光マップ作り

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
経済学部 黒川ゼミ 教授 黒川 清登	NPO法人まちづくり役場	2016年度から現在	滋賀県長浜市

活動内容

まちづくり役場は、長浜市の旧市街地を活性化するためのNPOです。全国の多くの中心市街地が、郊外の大型店におされて衰退している中、長浜は黒壁スクエアを起爆剤に年間200万人以上が訪れています。一方、長浜市は平成の大合併で、周辺の木之本町・余呉町など湖北8町を編入し、面積は合併前の247㎢から680㎢となったものの、その合併効果が十分発揮できていない状況でした。そこでまちづくり役場では、この観光客を郊外にも誘導するマップを作るプロジェクトを開始しました。黒川ゼミでは、まちづくり役場のスタッフとともに、郊外の知られざる魅力的な観光スポット、商店、レストラン等を若者の視点で探り、郊外に誘導するマップを作成することに協力しました。

まちづくり役場での打ち合わせ風景

これまでの成果

この郊外誘導型の地図作りによって、長浜市の歴史的な寺院、酒蔵などを再認識するとともに、新規のレストラン、お店等が郊外にも来ていることなどが判明しました。長浜のことを良く知らない学生の「よそ者の視点」での協力は、地域住民も知らない長浜市の新たな魅力発見にもつながりました。また、最近話題の自転車でびわ湖を周遊する動きが、長浜市郊外でも起きていることも判明し、さらには、外国人旅行者が予想以上に郊外にも足を運んでいることも判明しました。このため、このマップはこれまでの観光ガイドには無い、生き生きとした新鮮な情報が満載されることとなりました。

郊外マップ
長浜大パノラマ鳥瞰図（作成途上）
作画は松井氏（高校教諭）

今後の課題・目標

観光地のお店、レストランなどは、予想以上に入れ替えが早く、継続的なフォローが必要なことが判明しました。今回作成した郊外誘導型マップも毎年の更新が必要で、若者の継続的な協力を如何に得ていくか、外国人留学生の協力による新たな視点の調査、英語化が課題です。幸いなことに地図作りへの賛同者は多く、学生にとっては地域住民のまちづくりへの熱意を学ぶことができるので、当ゼミとしても留学生も含め継続的な支援を行います。

郊外マップ作りの学生

NPOまちづくり役場の前で、
笹原氏、原田さん、黒川教授と学生

学生の課外自主活動

高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービスラーニングセンター 主事 高橋 あゆみ	（社）高島市社会福祉協議会	2010年度から現在	高島市

活動内容

高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」は、社会福祉法人高島市社会福祉協議会の協力のもと、滋賀県の湖西側に位置する高島市の朽木を中心に、主に冬の雪かきを通して地域の活性化に取り組む宿泊型のボランティア活動です。BKCのみならず、全キャンパスの大学生・大学院生を対象に募集しています。

地域の方々との交流を通して過疎高齢化が進む地域の問題や高島の魅力を学び、地域で活動する意義を見出していきます。現地の地域課題解決に向けて取り組むことで、ボランティア活動への動機づけとなることを目的としています。

交流会準備の様子

これまでの成果

2010年度より開始し、延べ200名程の学生がこれまで参加しました。過疎高齢化が進む地域の現状を知ることや、普段あまりできない活動を体験するなど、多くのことを学んでいます。現地活動中に行う振り返りでは、活動での気づきなどを共有することにより、視野の広がりや新たな価値観を知ることができ、地域活動のおもしろみや継続参加のきっかけになっているといえます。

本取り組みを通じて高島市と継続的なつながりを築いており、2017年度においては、毎年夏と冬に開催しているのを冬のみの開催にするなど、より継続的な関わりを意識して持続可能な体制で取り組むことができるよう、実施体制や内容を模索する年となりました。開始から7年を迎える現在では、地域の方からの期待が高まりつつあり、地域との信頼関係を深めています。

本取組みの運営主体を、サービスラーニングセンターの学生スタッフである「学生コーディネーター」が中心となって進めてきました。当日の活動のみならず、事前に顔合わせや打ち合わせを行う中で、地域と学生をつなぐ役割を担っています。

雪かきの様子

地域の方と交流

今後の課題・目標

上記のような成果をあげつつも、高島市とのさらなる信頼関係を深めていくためにも、持続可能な体制で継続的な取り組みが展開できるよう引き続き実施体制や活動内容を検討していくのが、今後の課題です。

当日の開校式

学生の課外自主活動

農業から地域を元気に！ プロジェクト

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービスラーニングセンター	草津市農林水産課、草津市農業協同組合	2017年度	草津市

活動内容

2017年度「環びわ湖大学·地域コンソーシアム」大学地域連携課題解決支援事業（以下、環びわ事業）の助成を受け、6月より実施してきました。本プロジェクトはBKCの地元草津地域の方々との交流を深めるとともに、地域課題を理解することで、シチズンシップの涵養につなげることを目的として活動を行いました。

夏休みには、草津農業や農家の現状を知るべく農家に寝泊りしながら農業体験をする「農家合宿」を行い、11月には道の駅草津にて草津野菜のPR活動「広がれ草津野菜」を料理サークルmeRciの協力を得て開催、さらにBKC内では、実際に自分たちで野菜作りを体験する「畑」の3つの活動を進めてきました。

農家合宿の様子

道の駅企画学生によるアンケート調査

これまでの成果

本プロジェクトには22名の学生が参加し、その中でも環境や農業をテーマとした学内サークルでの活動を行っている学生もおり、それぞれの関心をさらに深める形で進めることができました。

本取り組みは学内外から注目され、新聞やラジオなどのメディアにも多数取り上げられました。道の駅草津での企画も盛況で、草津野菜のPRに寄与することができました。

また、環びわ事業の中間報告においては、地域課題の解決としての草津野菜の普及への取り組みを広く地球規模でのSustainable Developmentの実現のための方策として再定位することで、市民社会の一員としての貢献のあり方を自覚化することができました。

道の駅企画料理サークルによる販売

今後の課題・目標

今後は、農家合宿でのヒアリングの内容や道の駅企画で行った認知度調査などのアンケート結果を整理·分析することに加え、12月に行った活動報告会とワークショップの内容を踏まえ、本取組みの総括を報告書にまとめる予定です。

これからも、学生が農業について理解を深められる機会を提供できればと考えています。

活動報告会の様子

学生の課外自主活動

出あいプロジェクト（地域と出あう、地域の人と出あう）

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービスラーニングセンター 主事 高橋 あゆみ	志津南学区まちづくり協議会	2015年度から現在	志津南学区（草津市）

活動内容

出あいプロジェクトは、地域活動に参加する一歩として、まずは地域と出あい、地域を知り、地域の方と交流を深めるといったプロジェクトです。2015年度から継続して志津南学区まちづくり協議会にご協力いただき、2017年度はスクールガード、子育てボランティアの活動をキャンパスのすぐ隣にある地域で取り組みました。

年度初めに地域参加の体験を重ねることにより、学生生活においての地域参加や現場での学びや関係性における学びの素地を作ることが期待され、また、本プログラムにより地域参加への一歩となり、BKC所属学生のボランティア活動の活性化につなげることを目的として実施しました。

子育てボランティア

スクールガード

これまでの成果

2017年度は6月に開催し、スクールガードに2名、子育てボランティアに1名学生が参加しました。参加した学生は、全員初めてのボランティア活動となり、企画を通じて地域へ飛び出す後押しをすることができました。また、活動を通じて地域の方との交流があり、地域で活動する楽しさを感じている様子が見受けられ、継続的に地域へ参加するきっかけをつくることができました。スクールガードに参加した2名は、その後も継続的に活動に参加し、子育てボランティアに参加した学生についても、自身の都合をつけながら参加しています。

今後の課題・目標

2015年度から3年間実施を経て、本企画に参加した学生においては地域を知る機会となり、地域と関わるきっかけを作ることができました。毎年継続して地域に関わる学生もおり、細々とでも地域と大学（学生）の関係性をこの3年間で深める機会となりました。一方で、多くの学生に参加してもらうための仕掛けづくりが課題として残り続けてきました。

今後についても、地域と学生双方の発展のために、本取り組みを含め学生の地域活動を推進していきたいです。

学生の課外自主活動

立命の家

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
立命の家実行委員会、 BKC学生オフィス	参加対象：近隣地域の小学生	2001年度から現在	BKC

活動内容

立命の家は、BKC近隣の小学生を対象としたイベントで、毎年夏にBKC内にて開催しています。これまで、主に学術系の課外自主活動団体によって組織された実行委員会が「ものづくり」「情報」「英語」といった学習の体験企画を実施してきましたが、17回目となる2017年度は新たに「運動」の企画が加わりました。実行委員の学生たちは、「立命の家2017 ひと夏の冒険へ出かけよう!」をテーマとし、参加する小学生に「今まで知らなかったこと」「知らなかったモノ」「新しい発見や体験」を体験してもらえる企画を考えました。

遊びながらきたえる運動教室

これまでの成果

8月25日（金）～26日（土）の2日間開催し、小学生141名・保護者61名にご来場いただきました。学生は、下記の10団体から実行委員や当日の企画運営スタッフなど総勢93名が参加しました。各団体が企画を用意し、小学生のみなさんには希望の団体企画（1日あたり2企画、計4企画）に参加していただきました。また、昼食や交流会のレクリエーションを通じて小学生と大学生が親睦を深めました。

【2017年度参加団体】
E.S.S.（英語研究会）、立命館コンピュータクラブ（RCC）、音響工学研究会、
ライフサイエンス研究会、草津天文研究会、飛行機研究会、ロボット技術研究会、Ri-one、
RiG++、FB+1

鳥人間と紙飛行機をきわめよう！
～紙飛行機マスターへの道～

プログラミングを体験しよう

今後の課題・目標

ここ数年の応募数の増加に応じて、2017年度は定員を120名から150名程度に増やしましたが、定員を大きく上回る263名の応募があり、施設条件や受入体制、安全対策の観点から抽選・選考を行いました。実行委員会では当日までの準備や当日の運営に関して、様々な課題やそれに対する対策について意見交換を行いました。引き続き、大勢の小学生の引率・誘導や各団体企画の進行をより安全かつ円滑に行えるよう、また、多くのみなさんに喜んでいただけるよう取り組んでまいります。

集合写真

学生団体REFLE.の活動
～繋がり、混ざり合うことで少子化問題を解決！～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
REFLE.プロジェクト （2017年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体）	NPO法人くさつ未来プロジェクト、 NPO法人ママの働き方応援隊、 株式会社Re-birth	2016年7月から現在	BKC・草津市

活動内容

REFLE.プロジェクトは「繋がり、混ざり合うことで少子化問題を解決!」を活動テーマに学生団体や地域の皆様と連携して活動を行っています。具体的な活動は以下の通りです。

【7月】ロケット教室（NPO法人くさつ未来プロジェクト、RiSAとの合同企画）

草津市内の小学生30名を対象にモデルロケット製作と打ち上げを実施しました。

【8月】長野大学意見交換会

長野大学夏季集中講義の授業にて、受講生と少子化問題解決に向けての意見交換を行いました。

【12月】料理教室（料理サークルmeRciと合同企画）

meRciが地域の育児中の保護者と料理をし、子どもは託児スペースでREFLE. メンバーと一緒に遊びました。

【12月】赤ちゃん先生（NPO法人ママの働き方応援隊との合同企画）

BKC所属学生を対象に子育てと働き方についてお母さん方のリアルな声を聴くとともに、ファイナンシャルプランナーからお金と人生設計についてご講演いただきました。

モデルロケット製作の様子（7月）

長野大学意見交換会（8月）

料理教室の様子（12月）

料理教室中の託児室の様子（12月）

赤ちゃんを抱く学生（12月「赤ちゃん先生」にて）

これまでの成果

学内外を問わず様々な人との交流により、各々が持っている強みを活かすことで質の高い企画を実施できたと思います。私たちの団体だけでなく、提携した学内の団体からも活動の幅が広がったという意見をいただきました。また、地域のNPOと協力して企画を実施したことで、大学生が子どもと触れ合う機会を提供することができ、子どもを持ちたいと思える雰囲気を創ることができたと思います。さらに、企画に参加した大学生からは、子どもやお母さん方と接したことで、子育てについてもリアルな学びを得たとの声もありました。このように地域との新たな繋がりができたことで、地域の子育て・少子化問題に対する当事者意識を少しでも多くの若い世代に与えることができたと思います。また、他大学の学生と意見交換ができたことで、多様な考え方を学び自分たちの今後の活動において参考になることもありました。

今後の課題・目標

2017年度まで少子化問題を取り上げて活動をしていましたが、今後はより様々な分野で活動を展開していきたいと考えています。具体的にはSDGs（Sustainable Development Goals）を軸に教育、健康、働き方などについて、学生オリジナルのユニークな企画を実施したいと考えています。また2018年度の企画に関しても、付加価値の高いプロジェクトを継続させていきたいと思います。

〈文・代表 亀石 弥都（スポーツ健康科学部1回生）〉

学生の課外自主活動

バトンを通じた社会・地域連携活動

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
立命館大学バトントワリング部 （学友会 学芸総部 同好会）	草津宿場まつり実行委員会、 草津学区ひと・まちいきいき協議会、 立命館守山高等学校　他	1996年度から現在	BKCジム 第1アリーナ

活動内容

バトントワリング部は、全国大会優勝を目標に日々練習に取り組んでいます。また、地域のお祭りへの参加や他大学との交流、高大連携にも力を入れています。

2017年度は、バトントワリングの発展・地域貢献を目的として「草津市宿場まつり」（主催：草津宿場まつり実行委員会）や「草津学区民ふれあい広場」（主催：草津学区ひと・まちいきいき協議会）に参加させていただきました。他大学との交流においては、「第50回関西学生バトンチアフェスティバル」に参加し、学生同士の絆を深めることができました。さらに、立命館守山高等学校をはじめとする全国の高等学校を訪問し、交流の機会を設けました。

第49回草津宿場まつり

立命館守山高校バトントワリング部との
合同練習

これまでの成果

2017年8月にクロアチアで行われた世界大会「WBTFインターナショナルカップ」ソロトワール女子シニア部門において、近藤 礼（経済学部4回生）が準優勝を成し遂げました。また、団体部門では関西大会を突破し、12月9日に幕張メッセで行われた「第45回バトントワーリング全国大会」に出場しました。全国大会では、地域の方々や大学の学生・職員の応援のもと、大学部門の最優秀賞をいただくことができました。同大会に出場していた交流校の学生とも激励し合い、目標を達成することができました。

バトンを広める講習会

今後の課題・目標

次年度も、全国大会優勝を目標に努力を重ねていくとともに、他大学との交流や高大連携にも引き続き力を入れていきたいと思います。また、地域のイベントにも積極的に参加し、バトントワリングの発展・地域貢献に携わっていきたいです。

〈文・嘉本 梨奈（スポーツ健康科学部4回生）〉

第45回バトントワーリング全国大会
最優秀賞・ゴールド受賞

学生の課外自主活動

碁石海岸観光まつり

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
災害復興支援室、学生オフィス	岩手県大船渡市	2013年度から現在	岩手県大船渡市碁石海岸

活動内容

本学は東日本大震災の翌年に岩手県大船渡市と災害復興に向けた連携協力に関する協定を締結し、教育・研究を通じて復興支援における様々な連携を進めてきました。本取り組みもその中のひとつで、大船渡に春を告げるお祭り「碁石海岸観光まつり」に本学の課外自主活動団体が参加し、ステージパフォーマンス等を披露しています。本取り組みは、2017年度で5回目となりました。

これまでの成果

5月4日（木・祝）～5日（金・祝）に開催され、モダンジャズバレエ部と京炎そでふれ! おどりっつ（よさこいサークル）から各5名・計10名が、今では恒例となった「立命館大学復興応援ステージ」において演舞を披露しました。モダンジャズバレエ部は学生と大船渡市双方の希望によって3年連続の参加となり、おどりっつは初参加でした。どちらの団体も自身のパフォーマンス披露だけでなく、簡単な振り付けを用意して来場者と一緒に踊る時間を設け、会場はこれまでにない一体感に包まれました。

今後の課題・目標

2017年度現在、大船渡市の復興は7割ほど達成しているとのことですが、復興が進むなかでも、あるいは進んだからこそ新たな課題が生じています。そこで2018年2月には学生十数名が大船渡市に約1週間滞在し住民へのヒアリング等の調査を行い、課題抽出とその対策を考える「大船渡まちづくりプログラム」を実施します。今後も大船渡市への学生派遣が、大船渡市の復興を後押しし、かつ学生の学びと成長に資する取り組みとなるよう努めます。

モダンジャズバレエ部

京炎そでふれ！ おどりっつ

来場者のみなさんも一緒によさこい！

大船渡のお祝い行事 餅まき

大船渡市在住校友との交流会

学生の課外自主活動

琵琶湖岸でのオオバナミズキンバイ駆除活動 ～体育会所属学生による滋賀県への恩返し～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
体育会全体	滋賀県、NPO法人国際ボランティア協会（IVUSA）	2017年	大津市

活動内容

2017年8月2日、体育会本部を中心とした体育会に所属する約50団体の学生1,150人が滋賀県大津市の琵琶湖湖岸で滋賀県及びNPO法人国際ボランティア協会（IVUSA）との共催で、大量繁茂が問題となっている外来水生植物「オオバナミズキンバイ」等の駆除活動を行いました。

オオバナミズキンバイは、琵琶湖や内湖、河川、水路などの水際に生育する水陸両生の多年生の植物で外来生物法の特定外来生物に指定されています。大津市や草津市、瀬田川などでも確認され生育面積を拡大し、漁業や生態系への被害が深刻化しています。こうした現状と群生するオオバナミズキンバイ等の駆除作業には多大な労力と体力を要することを知り、自分たちの若さや体力といった強みを活かし、地域の環境課題の解決に取り組もうと体育会が手を挙げました。

体育会が一堂に集結

清掃活動の様子（1）

清掃活動の様子（2）

清掃活動の様子（3）

これまでの成果

学生たちはお揃いのTシャツを着て、汗を流しながら約1時間、作業に取り組みました。また、作業中、滋賀県の三日月大造知事がお越しになり、学生たちに感謝と激励メッセージをおくられました。

今回の企画は、昨年の京都駅周辺の清掃活動に続く取り組みです。発案者の体育会本部委員長・池上昴志郎さん（経済学部4回生・自動車部）は、「今年度の体育会のスローガンである、『勝利の先へ』に基づき、強いだけではなく、地域の方々からも愛され、応援されるチームになり、さらに活動を通じた体育会全体の横のつながりや結束を強めたい」と意気込みを述べていました。

後日、12月18日に体育会本部は本活動に尽力したとして、滋賀県から感謝状を授与されました。委員長の池上さんは授与式にも出席し、「参加していただいた体育会の部員やご協力いただいた関係者の方々への想いがこみ上げました」と述べました。

今後の課題・目標

今回、学生らの若さや体力といった強みを活かした地域の環境課題の解決に取り組んだ功績が認められた形となりました。贈呈式後の懇談会では、今後も様々なことに対して滋賀県と立命館大学の学生らが協力しながら課題解決に取り組めれば等、今後の連携協力に関する話題もあげられました。

これからも、体育会本部を中心として、体育会全体でこのような活動が継続して行われることを願っています。

感謝状贈呈式後に知事と懇談

学生の課外自主活動

体育会アメリカンフットボール部
草津市立南笠東小学校スクールガード活動参加

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
体育会アメリカンフットボール部、 BKC地域連携課	草津市立南笠東小学校、 南笠東学区スクールガード活動（学校安全ボランティア）の皆様	2017年度から	南笠東小学校周辺の 交差点など

活動内容

立命館大学体育会アメリカンフットボール部員が、草津市立南笠東小学校のスクールガード活動（学校安全ボランティア）に参加し、通学路の交差点で、地域の皆様といっしょに子どもたちの登校を見守りました。

この取り組みは、びわこ・くさつキャンパスを本拠地とする同部の部員たちが、地域貢献活動をしたいと思い立ち、大学に相談したことをきっかけ実現しました。

部員たちは、継続的にスクールガード活動を行えるよう、学業・部活動と両立させながら、取り組みました。

笑顔で子どもたちを見守る部員

これまでの成果

基本的に週1回、シフトを組んでスクールガード活動に参加しました。分担して交差点付近に立ち、子どもたちの安全に気を配りながら、笑顔で声をかけていると、最初は子どもたちも部員の存在に不思議そうだったのが、段々挨拶を返してくれるようになったり、部員のベストに貼ってあるチームのロゴを見て「PANTHERS !」と声をかけてくれるなど、交流が生まれました。地域の皆様といっしょに活動を行うことは、学生たちにとって貴重な経験となりました。

丁寧に、かつ元気よく声をかけます

今後の課題・目標

今後も、体育会各部による地域貢献活動を進めて行く予定です。

車道側に立ち安全確保に努めます

学生の課外自主活動

草津市内の河川周辺清掃活動

本学担当
体育会団体
（ラグビー部、男子陸上競技部、女子陸上競技部、男子バスケットボール部）
BKC地域連携課

主な連携先
南笠東学区自治連合会、
NPO法人琵琶湖ネット草津、
草津青年会議所など

活動期間
今年度初めて

主な活動地域・場所
草津市内河川
（狼川、草津川など）周辺

活動内容

本学の体育会団体、特に重点強化部は日頃から地域貢献活動にも積極的に参加するよう心がけています。今年度、地域団体から交流も兼ねた清掃活動に協力してもらえないかとの相談があり、以下のとおり参加しました。

①2017年7月9日（日）草津市内の狼川周辺で実施された南笠東学区清掃活動に、ラグビー部18名、男子陸上競技部21名、女子陸上競技部32名の総勢71名が参加しました。この取組は、南笠東学区自治連合会が主となって学区住民のみなさんや地域の小・中学校等と取り組む初の試みであり、当日の全体参加人数は南笠東学区の町内会と学区の小・中学生、地元企業に加え、本学体育会学生をあわせて約400名の一大イベントになりました。

②2017年7月30日（日）、草津市内の草津川付近で実施された「草津川クリーン作戦」にて、男子バスケットボール部24名が清掃活動を行いました。この取組はNPO法人琵琶湖ネット草津が主となって毎年行われているもので、このたび毎年参加されている草津青年会議所からお声掛けいただき、本学体育会学生のうち同部が参加しました。

①狼川清掃活動（女子陸上競技部）

①狼川清掃活動（ラグビー部）

これまでの成果

①河川公園の除草作業では、川べりや遊歩道脇に根付いた雑草も丁寧に取り除いたり、多くの雑草が茂っていたエリアでは地域の方と協力しながら作業し、抜いた草の山がどんどん高くなるほどでした。また、地域環境づくりの行動隊『まち歩きキャラバン隊』にも協力し、3ルートに分かれて清掃しながら歩きました。キャラバン隊参加の学生からは、「たばこのゴミが目立った」との感想がありました。また、テント建て等の準備や受付用テーブル・椅子の後片付け等も行う学生も見られ、地域の方からもお礼の言葉をいただきました。

②当日は、草津青年会議所の皆さんの他、NPO法人Mi-oスポーツクラブの子どもたちや光泉中学・高等学校ボランティア同好会の生徒たちと一緒のエリアを担当しました。「お世話になっているまちに、自分たちができることを」という思いで、雨上がりの道で汗拭きタオルを肩にかけながらトングとゴミ袋を持って歩道に落ちているゴミや河川敷横道路の溝のゴミも見逃さず拾いました。

①狼川清掃活動キャラバン隊(男子陸上競技部)

今後の課題・目標

今回お声がけいただいた地域団体からは「体育会の学生が地域と交流することで、地域住民や子どもたちが立命館大学を応援することに繋がると思うので、これからもこういった機会を提供していきたい」、「顧問の方や学生たちの地域貢献に対する意識が高く、個としてだけでなく団体としての責任感も感じられました」といったコメントの他、「子どもたちと一緒に参加する活動では、清掃だけでなく+αとして競技を通じた交流があってもよかった」といった次の機会に繋がるアドバイスもいただきました。

これからも本学体育会の学生は、近隣地域で貢献できる活動に取り組んでいく予定です。

②草津川付近清掃活動
（男子バスケットボール部）

学生の課外自主活動

将棋を通じた社会・地域連携活動

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
将棋研究会 （学友会 学芸総部 公認団体）	草津市生涯学習課、 草津市老上学区まちづくりセンター	2016年度から現在	草津市内

活動内容

将棋研究会は2017年度、「富士通杯争奪第13回全国大学対抗将棋大会優勝・3連覇（9月）」「全日本学生将棋王座戦優勝・連覇（12月）」など優秀な大会成績を収める一方で、将棋を通じて社会・地域連携活動にも積極的に取り組みました。

これまで行ってきた地域交流活動（お祭り・イベントでの将棋体験、小学校のクラブ活動（リツクラ）への参加）に加えて、2017年度は主に子どもを対象とした将棋の普及活動にも注力しました。将棋は、競技として面白いだけでなく、習得の過程において礼儀や集中力、判断力が養われるといった教育的効果が期待できるため、草津市老上学区住民の方々と連携して、小学生を対象とした将棋教室「将太郎クラブ」を始めました。また、9月16日（土）にはびわこ・くさつキャンパスにおいて滋賀県在住の子どもを対象とした「第1回立命館大学杯子ども将棋大会」を開催しました。

こども将棋教室「将太郎クラブ」

第1回立命館大学杯子ども将棋大会

第49回草津宿場まつり

富士通杯争奪 第13回全国大学対抗将棋大会で3連覇!!

これまでの成果

【こども将棋教室「将太郎クラブ」】

2016年12月以降、毎週土曜日（月4回）の午後、老上まちづくりセンターにおいて開催される将太郎クラブには、将棋研究会部員が毎回2～3名参加しています。その活動は口コミで広がり、開始当初5～6名だった小学生メンバーが、今では、はじめて将棋を覚える1年生から本格的に大会に参加する5年生まで20名近くに増加しました。

【第1回立命館大学杯子ども将棋大会】

日ごろ数々の大会を経験する部員らが主催者側にまわり、県内から集まった小中学生24名が予選リーグ、決勝トーナメントを行いました。また、北村桂香女流初段（産業社会学部4回生）や石本さくら女流初段（総合心理学部1回生）ら本学に在学するプロの女流棋士から指導を受けての対局もあり、子どもたちは大会と並行して学生、女流棋士らから手ほどきを受けました。

今後の課題・目標

「子ども将棋大会」の運営に携わった部員からは「年代の違う方々が将棋を通して触れ合う機会は大切であり、今大会をきっかけに小中学生へ将棋の面白さがさらに伝わっていれば嬉しい」「大学主催の大会はあまりないので、新鮮でした。今後も長く続く大会として発展させていきたいです」などの声がありました。また、「将太郎クラブ」は、2018年2月に草津市教育委員会の社会教育関係団体「未来開拓・湖国子ども将棋教室」として登録されたことを機に、通称「将太郎クラブ」として活動を広げていく予定です。

将棋研究会は今後も、部員や部全体の競技力向上に励み、引き続き社会・地域連携活動に取り組んでいきます。

〈文・山本将太郎（生命科学部4回生）〉

学生の課外自主活動

やまだ健康&スポーツフェスタ　～山田学区での取組み～

本学担当
スポーツ健康科学部（自治委員会、アカデミックアドバイザー、ヘルスポ+R、FB+1、海老研究室）立命館ダンスサークルR.D.C.、BKC地域連携課

主な連携先
山田学区まちづくり協議会

活動期間
今年度初めて

主な活動地域・場所
山田学区（草津市）

活動内容

このイベントは、年度初めに山田学区まちづくり協議会からBKC地域連携室へ「学区としては初の試みなので、立命館大学生に内容の提案や当日運営に関わってほしい」という相談があり、主にスポーツ健康科学部自治委員会と調整の結果、実現しました。順位を競う運動会とは異なり、学区内のあらゆる世代の住民が楽しみながら身体を動かして運動能力の向上をめざしたり、体力・健康測定や健康講座などを通して自身の健康について意識するきっかけとするもので、草津市全体が昨年度から取り組んでいる「健幸都市」の一環となる取組です。

当日のプログラムは、まちづくり協議会側のリクエスト内容の他、スポーツ健康科学部自治会で提案した中から同協議会が選定したものを盛り込んで実施されました。

海老研究室院生の「食と健康講座」

ヘルスポ+Rの体力測定コーナー

R.D.C.のダンスコーナー

スポ健自治会のダブルダッチ体験コーナー

学生が提案した棒サッカー

これまでの成果

スポーツ健康科学部からは自治委員会をはじめ、ヘルスポ+R、FB+1、アカデミックアシスタント（AA）の学生らが参加し、グラウンドでの鬼ごっこ、50m走、縄跳び、遠投や体育館での棒サッカー、ダブルダッチ、体力測定の運営を担いました。また、院生が健康に関する講座を担当しました。学生たちは日頃の学びや活動のアウトプットにもなるこの機会に、来場者に対しての声掛けやわかりやすい説明を心がけるなど、入りやすい雰囲気作りに努めました。中でも、学生の提案による「棒サッカー」や「鬼ごっこコーナー」では大いに盛り上がり、来場者も運営側も共に楽しむ様子が見られました。

その他にも、課外サークルR.D.C.の学生たちが参加型ダンスパフォーマンス体験コーナーの運営を担当しました。団体パフォーマンスの他、やさしいステップを教えたり、ダンス経験のあるチビっ子に飛び入りパフォーマンスの機会を提供するなど、楽しいMCで会場の雰囲気を盛り上げました。

今後の課題・目標

本イベントには、山田学区住民約120名の来場者がありました。終了後に山田学区まちづくり協議会の馬場体育部会長より「もっと人を呼び込むために、協議会側で広報のあり方やプログラム内容の工夫・仕掛けを考えるなど、今後に向けての課題が見えたのは収穫だった。大きな事故もなく無事終了できたので、この数か月間本イベントのために尽力してくれた立命館大学生のみなさんに感謝したい。」とのコメントをいただきました。

今回、企画準備段階から関わったスポーツ健康科学部3回生の立木美帆さんは、「企画・運営に加えてチラシやポスターの作成も、学部自治会をはじめとするみんなが協力してくれたお陰で無事やり遂げることができた。自分にとっても一から企画に携わらさせてもらって、貴重な経験となった」と感想を述べていました。

学生の課外自主活動

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）における本学学生の取組み

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
Sustainable Week実行委員会、 レコラ畑、サービスラーニングセンター、 SOIL & SOUL、BKC学生オフィス 立命館SDP	草津市、 アーバンデザインセンターびわこ・ くさつ（UDCBK）	2016年度から現在	アーバンデザインセンター びわこ・くさつ（UDCBK）

活動内容

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）は、草津の未来のまちのデザインを考えるために、大学（教職員や学生）、企業（経営者や通勤者）、行政（国や県や市の職員）が草津市民のみなさんと気軽に自由に話し合い交流する場所として、2016年10月15日に市民交流プラザ（フェリエ南草津5F）に開設されました。草津の未来課題について学習する機会の提供や、大学や企業の専門家と連携して調査研究や社会実験などを行っており、本学も構成団体の一つとなっています。2017年8月には西友南草津店1階テナントスペースに移転し、市民の方や学生などがより利用しやすい環境となりました。また、草津市と包括協定を結んでいる4大学を対象とした「包括協定締結大学連携事業」の一環で、大学や学生団体が様々な公開型のイベントを行っています。本学も、学生が自分たちの日頃の活動成果を発表したり、活動をとおして市民の皆さんと交流したりするイベントなど、今年度は下記のとおり実施しました。

これまでの成果

【Sustainable Week実行委員会】立命館大学生と考えるSDGs
開催日：2017年9月16日（土）
内容：BKCで実施するSusutainabale Weekについての紹介に加え、同イベントの食料提供グループによる試食交流会（於：フェリエ南草津5階調理室）も同時開催し、参加者に学生のオリジナルな切り口でSDGsを紹介しつつ、新しい時代を作る感覚を知ってもらえました。
【レコラ畑】「農業から地域を元気に!プロジェクト」活動報告会
開催日：2017年12月16日（土）
内容：これまで取り組んできた「農家合宿」、「道の駅企画（広がれ草津野菜）」、学内で畑を耕し実際に農作物を育てる「畑」の3つの活動についての成果報告と、地元農業に関心のある学生や市民の方も含めて、改めて草津農業や地産池消について考えるワークショップを開催しました。
【SOIL&SOUL】ボードゲーム交流会
開催日：2018年1月13日（土）・2月10日（土）・3月10日（土）
内容：世代を超えて交流できるカードやサイコロを使うボードゲームの体験会として実施。参加者層は子どもからお年寄りまで幅広く、学生から手ほどきを受けながら初心者同士で和気藹々と楽しみました。
【立命館SDP/スタジオデザインプログラム】EXHIBITION 2017-2018
開催日：2018年2月14日（水）11:30-2月23日（金）17:00
内容：SDP学生有志が、帰帆島公園を敷地にした課題作品の展示を行い、鑑賞された市民の方から感想を伺ったり意見交換などを行いました。

今後の課題・目標

来年度も、文化系サークルや理系学部のプロジェクト団体などをはじめとする多様な学生団体が、自分たちの活動を活かして子どもたちや様々な世代の皆さんと交流できるイベントを積極的に実施していければと考えています。本学学生がUDCBKで活動することによって、地域の皆さんと繋がって新たな取り組みが生まれ、それが草津市のまちづくりに発展していくなど、若い力で地域に貢献できればと考えています。

立命館大学生と考えるSDGsチラシ

レコラ畑活動報告会ポスター

SOIL&SOUL第1回チラシ

地域交流

ルシオール アート キッズ フェスティバル

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC学生オフィス	守山市、守山市教育委員会	2015年度から現在	立命館守山中学校・高等学校

活動内容

2017年度で6回目を迎えたルシオール アート キッズ フェスティバルは、クラシックの祭典「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」の関連イベントとして、毎年春に開催されてきました。本イベントは、文化・芸術を通じた守山市の活性化を目標とするもので、附属校の立命館守山中学校・高等学校は、開催初年度より会場の一つとして協力しています。2015年度からは、本学からも主に文化・芸術系の課外自主活動団体が出演・出展しています。

ハモネプなどで有名なアカペラ演奏

これまでの成果

開催日の5月14日（日）は好天に恵まれ、立命館守山会場にはファミリー層を中心に約1,900名もの来場がありました。同会場では、プロの演奏家によるスクールキオスク（演奏会）、近隣の文化施設等によるアート体験プログラムや、トルコ文化交流プログラム（守山市は2020年東京パラリンピック・トルコ選手団のホストタウン）などに並んで、学生によるアカペラ演奏、クロースアップマジック、鉄道ジオラマ展示、カラーガードのパフォーマンスが行われ好評でした。

マジックの館

【2017年度参加団体】
Song-genics（アカペラサークル）、奇術研究会マジックプレイヤーズ、鉄道研究会、カラーガードサークルLUSTER

鉄道模型とあそぼう！

今後の課題・目標

守山市より次年度の開催に向けて、これまでの課外自主活動団体の出演・出展に加え、立命館守山会場全体の運営に関わることのできる学生運営委員のご依頼をいただきました。公募を経て運営委員となった学生は、2017年12月より、守山市の担当職員の方々とともに運営委員会を開始しています。各学生の活動が本イベントの一助となり、各学生にとって今後の活動の発展やキャリアにつながる有意義な活動となるよう支援してまいります。

はじめてのカラーガードショー！

2017年度国際交流イベント「バーベキューパーティー」

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC国際課、TISA	大津市松ヶ丘4丁目自治会、 5丁目自治会、6丁目自治会	1994年度から現在	BKC

活動内容

2017年7月1日（土）、びわこ・くさつキャンパス恒例の国際交流イベント「バーベキューパーティー」をスポーツ健康コモンズにて行いました。この企画は、留学生・日本人学生・地域住民の方の交流を目的に、毎年、国際教育センター所属の留学生支援団体（以下、TISA）が、企画・開催しています。今年で20回目を迎えた本企画ですが、今年もたくさんの方にご参加頂き、約170名の参加となりました。

バーベキューの様子（1）

これまでの成果

当日は絶好のバーベキュー日和となり、12グループに分かれた参加者は、お肉や野菜、焼きそばなどのバーベキューを楽しみました。またグループ対抗で行ったスイカ割り大会と風船運びリレーは、国籍や年齢などの垣根を越えるきっかけとなり、会場は大いに盛り上がりました。

BKC、衣笠、OICの3キャンパスから集まった外国人留学生（中国、インドネシア、フィンランド、キルギス、アメリカ、ケニア、バングラデシュ、ナイジェリアなどの16ヶ国）にとっても、日本人学生、地域住民の方にとっても思い出に残る企画となりました。

バーベキューの様子（2）

今後の課題・目標

国際教育センターでは、今後もTISAと協力しながら、外国人留学生、日本人学生、地域住民の方との異文化交流を深める国際企画に取り組んでいく予定です。

地域交流

青山学区寺子屋プロジェクト ～留学生との異文化交流会～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC国際課、BKC地域連携課	大津市青山学区社会福祉協議会	2017年度から	青山学区 青山市民センター （大津市）

活動内容

「寺子屋プロジェクト」は、滋賀県大津市の学区社協主体で行われている学習支援事業であり、子どもたちとのふれあいや地域コミュニティづくりの一助としても大きな役割を果たしています。

びわこ・くさつキャンパスのすぐ近くにある青山学区は大津市内にある36学区のうちのひとつで、2007年に上田上学区から独立してできた緑豊かで閑静な住宅街が並んでいます。子育て世代が多く住む地域であることから、長期休暇中の学習支援や居場所づくりとして、青山学区社会福祉協議会でも3年前から「寺子屋プロジェクト」に取り組まれています。

2017年8月、同プロジェクトの一環で本学留学生と地域の子どもたちが、青山市民センターにて異文化交流を行いました。

自国の文化を紹介

参加した留学生たち

これまでの成果

今回の企画は、留学生の出身国の紹介を通じて子どもたちに異文化に触れてもらうというもので、8月19日（土）と8月26日（土）の2回にわたり実施されました。先生役は、びわこ・くさつキャンパスに通う中国、ブータン王国、メキシコ、バングラデシュ、ナイジェリアの5ヶ国、計6名の留学生で、参加した小学生や保護者は英語による異文化交流を楽しみました。

参加した小学生と保護者は、各国出身者から聞くリアルな文化紹介に驚いたようで、「ブータンの断崖に建てられたお寺にはびっくりしました。とても素晴らしく一度行ってみたいと思いました。」、「メキシコのお祭り『死者の日』でよく見かけるガイコツの砂糖菓子やブレッドは日本にはないもので、見ていて面白かったです。」、「バングラデシュのビリヤニという食べ物はパスタを切り刻んだようなもので、手でそのまま食べることを初めて知りました。」、「中国のパンダのアニメがすごく面白かったです。」と様々な意見や感想が寄せられました。

また、先生役となった留学生からも「日本の小学生と交流することができて、楽しい時間を過ごすことができました。」、「地域の方々との交流を通して、お互いのことを知ることができました。」といった声があり、企画を満喫したようでした。

今後の課題・目標

今回の企画は、今後小学校にて本格的に英語教育が導入されることを踏まえ、英語での異文化交流を行いました。英語学習に対する事前学習という観点からも、参加者にとって満足度が高い企画であったようです。

本学は今後も国際交流イベントを通じて、留学生と地域の方々がより広く深く交流できるよう、一層の貢献を図りたいと考えています。

フラッグフットボールを通した交流

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
アメリカンフットボール部	フラッグフットボールチーム 草津リトルパンサーズ	1998年度	草津市

活動内容

アメリカンフットボール部では、草津市のフラッグフットボールチーム草津リトルパンサーズとの交流、技術指導を行っています。アメリカンフットボールは、その他球技に比べるとマイナーなスポーツです。普段、フットボールに触れることのない小中学生にフラッグフットボールを体験してもらうことにより、楽しんでもらいながらフットボールを知ってもらい、競技人口の裾野を広げることにもつながる活動となっています。また、大学のアメリカンフットボール部の試合応援にも参加してもらい、大学生選手の活躍を見てもらうことにより、アメリカンフットボールの醍醐味も体験することのできる活動となっています。

草津リトルパンサーズ小学生チームの集合写真

草津リトルパンサーズ中学生チームの試合

これまでの成果

草津リトルパンサーズは2018年に創立20周年を迎えます。アメリカンフットボール部は創立時より交流を続けています。日本一を目指すチームの部員による指導によって、小中学生の技術も向上し、このチームから大学クラブに入部した部員もいます。交流だけにとどまらずフラッグフットボールチームと大学クラブの双方の発展にもつながっているといえます。また、部員たちが小中学生に指導をするときには、どのように指導をすれば相手にわかりやすく伝わるかを考える必要があり、部員自身の成長にもつながっている活動です。

今後の課題・目標

1998年度から草の根の活動として続けてきたフラッグフットボールチームの指導ですが、着実にその成果を残してきています。アメリカンフットボール部は来シーズンも日本一を目指して練習を続けていきますが、この交流を通じてメインフィールドである草津市における一層のフットボールの普及も図っていきたいと思っています。これら活動を通じ地域の方々から応援して頂き、また、地域をますます元気にしていけるようなクラブを目指していきます。

地域交流

ラグビークリニック

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
ラグビー部	滋賀県下のラグビースクール	2013年から	BKCグリーンフィールド、草津市小中学校

活動内容

体育会ラグビー部では普段あまり触れることの少ないラグビーという競技をもっと身近なスポーツに感じてもらうことを目的として、毎年滋賀県下のラグビースクールに通う小中学生を対象としてBKCグリーンフィルードや小中学校でラグビークリニックを実施しています。クリニックでは小中学生が選手と一緒になってラグビーボールを触ってみたり、ボールを使ったレクレーションを通じて交流を行っています。クリニックの中では、選手の日頃のトレーニングの内容も知ることができ、小中学生は目を輝かせながら参加をし、毎年開催を楽しみにしている生徒もいます。

5月3日のラグビークリニックには100人近くの小学生が参加

これまでの成果

毎年このラグビークリニックを実施していますが、選手自身も日頃の練習とは異なる環境でリラックスしてラグビーに触れることができ、改めてラグビーの楽しさを感じることができています。また、参加する選手だけでなく企画するマネージャーもどのような内容であれば小中学生が楽しんでもらえるかを、その他スタッフと一緒になって考えるプロセスを通じて自分自身の成長を感じることができる貴重な機会となっています。活動終了後は、参加した子供たちと一緒になって全員が笑顔になります。このような活動を通じて多くの方にクラブの存在を知ってもらうことにより、大学の試合にも足を運んで頂き、クラブの応援団になっていただくことにもつながっていると考えます。

グラウンドでは終始笑顔いっぱいでした

今後の課題・目標

2019年には、ラグビーワールドカップの日本での開催が予定されており、少しずつ国内の気運が高まってきていますが、まだまだその他スポーツに比べるとラグビーはマイナー競技です。このような取組みを通じてラグビーをもっと身近に感じてもらえるよう、工夫を重ねながら継続して実施していきたいと思っています。また、これらの取組みを通じて地域の方に一層応援されるチームを目指していきます。

子どもたちの真剣な様子に教える学生もやりがいを感じます

最後は参加小学生と一緒に記念撮影

2020年東京パラリンピック交流計画（ゴールボール男子日本代表選手強化合宿）

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部、BKC地域連携課	守山市、滋賀県、日本ゴールボール協会	2017年度から	BKC

活動内容

2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録（相手国：トルコ）を受けている守山市と滋賀県による事業として、びわこ・くさつキャンパスにおいて、ゴールボール男子日本代表選手の強化合宿が実施され、選手団がキャンパス内の施設を利用して宿泊および練習を行いました。また、立命館大学スポーツ健康科学部の学生4名が、ゴールボールの審判員講習を受けたうえで、合宿をサポートしました。

強化合宿の様子（1）

これまでの成果

ゴールボール男子日本代表選手強化合宿

【期間】
2017年12月2日～12月3日
【会場】
立命館大学 びわこ・くさつキャンパス エポック立命21、BKCスポーツ健康コモンズ
【参加選手】
強化指定選手8名、アジアユース大会派遣候補選手3名（合計11名）
【サポート学生】
立命館大学スポーツ健康科学部学生4名

強化合宿の様子（2）

強化合宿の様子（3）

今後の課題・目標

2018年5月に、トルコ、ロシア、中国、日本のゴールボール選手による合同合宿が、びわこ・くさつキャンパスにて実施される予定です。合宿が実りあるものになるよう、大学として十分なサポートを行えるように取り組みます。

第15回チャレンジスポーツデー ～コオーディネーショントレーニング及びスポーツ鬼ごっこ体験～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣、BKC地域連携課	草津市教育委員会、 公益社団法人草津市体育協会	2011年度から現在	BKC

活動内容

チャレンジスポーツデーは、健康づくりやスポーツを通した草津市民の交流促進を目的に、誰もが気軽に参加できるイベントとして毎年秋に市内各所で開催されています。イベントの企画・運営には、草津市体育協会の加盟団体と市内14学区の体育振興会、くさつ健・交クラブなど計38団体が関わっており、立命館大学も構成団体の一つとなっています。

今年度は例年の会場提供に加え、スポーツ健康科学部の上田憲嗣准教授が子どもを対象とした「コオーディネーショントレーニング及びスポーツ鬼ごっこ競技体験」を企画し、11月18日（土）BKCスポーツ健康コモンズに於いて各種プログラムを学生と共に運営しました。

これまでの成果

午前は幼児～児童の子どもを対象として、体を思い通りに動かす方法を豊かにする「コオーディネーション・トレーニング」を実施しました。具体的には、スケーターボードを用いて、運動筋肉感覚の分化能力を育成するプログラム、バランスボールやスラックラインを用いて、バランス能力を育成するプログラム、ボールやスカーフを用いて、反応能力を育成するプログラムなどを実施しました。

また、午後は参加者及び学生がチームとなって「スポーツ鬼ごっこ」を実施し、優勝を目指して競い合いました。さらに、幼児を対象とした運動遊びプログラムも準備し、すべての参加者が楽しみながら、思い切り体を動かす機会を提供できました。

今後の課題・目標

参加者は当初の予定より少ない人数となりましたが、どのプログラムも参加者が楽しみながら行うことができる内容で、保護者からも好評を得られました。次回以降機会があれば、広報の方法なども検討する必要があると思っています。

また、チャレンジスポーツデーを他の自治体と協力（例えば運動に取り組んだ人数を同規模の自治体と比較するなど）できれば、楽しみながら競い合うことでスポーツへの関心が高まり、より魅力あるイベントになる可能性があると思われます。

プログラムの様子（1）

プログラムの様子（2）

プログラムの様子（3）

プログラムの様子（4）

参加した子どもたちと学生

地域交流

第63回草津市駅伝競走大会

本学担当
男子陸上競技部、
スポーツ強化オフィス、
BKC地域連携課

主な連携先
草津市駅伝競走大会実行委員会、
公益社団法人草津市体育協会、
草津市教育委員会など

活動期間
2010年度以前から
現在

主な活動地域・場所
BKC

活動内容

2018年2月18日（日）びわこ・くさつキャンパスにて、毎年恒例となっている草津市駅伝競走大会（主催：草津市駅伝競走大会実行委員会／事務局：公益社団法人草津市体育協会）が開催されました。前日の夕方から雪がちらつき、朝はうっすらと霜がかったクインススタジアムでしたが、大会が始まると日が射して暖かくなり、とても天候に恵まれた大会となりました。

同大会は、中学生の部・一般の部・オープン参加・小学生の部の4部構成となっており、多くの小中学生や一般市民ランナーがエントリーして日頃の練習の成果を発揮する機会となっています。また、本学体育会男子陸上競技部も毎年オープン参加させていただいており、大会を盛り上げています。

一般の部スタート時

オープン参加の男子陸上競技部

これまでの成果

開会式がスタートすると学内道路で一般入構車両は右側の一方通行になるため、車とランナーがぶつからないように実行委員会スタッフのみなさんと男子陸上部員が要所要所に立ち、紅白の旗で誘導しました。ランナーが近づいて来ると「頑張れ!」「ファイト!」と声をかけて励ます場面も見受けられました。その他にもタイム計測のための監察員や、最後尾のランナーに自転車で伴走する役割など、部員がキャンパス内のあちこちで裏方として活躍しました。

また、男子陸上競技部は「一般の部」レースでオープン参加のため順位の対象にはなりませんが、例年トップでゴールしている大会なので今年も一位を目指してキャンパスを駆け抜け、見事ゴールのテープを切りました。その他にも、本学から陸上競技同好会が4チームと幹細胞・再生医学研チームがエントリーし、市民の皆さんと一緒に汗を流しました。

レースの結果は、陸上競技同好会の1チームが優勝した他、区間賞も同メンバーが3名受賞しました。

男子陸上競技部員は誘導係でも活躍

今後の課題・目標

大会には中学校の運動部やスポーツ少年団のチームが参加していたり、地域のサークルや企業の仲間でエントリーされていたり、本大会が世代を超えて「健幸都市くさつ」の冬の風物詩となっていることが伺えました。

今後も、地域住民の皆さんの健康促進や体力向上の一助になるよう、大学として本大会をバックアップしていければと思います。

陸上競技同好会表彰の様子

神輿担ぎde地域交流
～草津市野路町の新宮神社例祭で本学留学生が活躍～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
BKC国際教育センター（BKC国際課）、BKC地域連携課	野路町内会	2010年度以前から現在	草津市野路町周辺

活動内容

BKCのある草津市野路町では、毎年5月3日に「新宮神社例祭」を執り行っています。近年は、御神輿の担ぎ手として本学留学生を中心とした外国籍住民も参加させていただき、祭りを盛り上げています。

今年度は担ぎ手の最少催行人員60名のうち、実に1/4以上にあたる17名が外国籍の参加者で、更にそのうちの12名がタイ・中国・ベトナム・インドネシア・ウズベキスタン出身の本学留学生や教員という国際色豊かな構成になりました。

新宮神社を出発

疲れたら交替で担ぎます

これまでの成果

新宮神社は、本殿が重要文化財に指定され、水門は膳所城の二の丸水門を移築した歴史と由緒ある神社であり、野路の守り神と言われているとのことです。

初めて参加したインドネシアやウズベキスタンの留学生は神輿の重さに驚きながらも、他の参加者との交流を楽しむ様子が見られました。その他にも毎年参加しているタイや中国からの留学生も多く、本学学生が地域の伝統行事を担う一員となって、野路の皆さんにも喜んでいただいている様子が伺えました。

このような地域イベントに留学生をはじめとする外国籍住民が積極的に参加し、住民の方々と交流することによって、多文化共生のまちづくり推進に繋がると実感した一日となりました。

後ろからも引っ張ってコントロール

今後の課題・目標

地域活動に関心のある学生に向けての更なる発信や学内関係部署と密に連携をとりながら、近隣地域における交流や協力を進めていきたいと思います。

休憩中に地域の方と交流

本学教職員や関係者と一緒に

近隣自治会の夏まつりを学生の力で盛り上げよう！ ～かさやまふれあい夏まつり～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
学生団体（アメリカンフットボール部、交響楽団、和太鼓ドン、RitsBBS会、中央事務局特別事業部）、BKC地域連携課	笠山町内会	2013年度以前から現在	笠山ふれあい広場

活動内容

2017年8月19日（土）、草津市内の笠山ふれあい広場で実施された「かさやまふれあい夏まつり2017」（主催：笠山町内会）にアメリカンフットボール部、交響楽団、和太鼓ドン、RitsBBS会、中央事務局特別事業部など、総勢59名の学生が協力しました。

この夏まつりは一町内会の主催行事でありながら、近隣住民も含めて毎年1,000名以上の来場者がある盛況なイベントとなっています。毎年本学学生に参加のお声がけをいただいていますが、今年度は町内会発足30周年ということもあり、例年以上の体制で一緒にまつりを盛り上げました。

アメフト体験コーナー

Rits BBS会は模擬店運営のお手伝い

これまでの成果

毎年運営に参加させていただいている『特別事業部』は今回20名以上の協力体制で、焼きそばや飲み物ブースをはじめとする模擬店スタッフの一翼となりました。さらに、笠山町のある学区の南笠東まちづくりセンターで寺子屋活動をしているボランティアサークル『Rits BBS会』の学生たちも応援に駆けつけ、かき氷のブースを担当しました。

また、南笠東小学校のスクールガード活動を行っているアメリカンフットボール部『パンサーズ』の選手と学生スタッフは、ステージ前でアメフト体験コーナーを運営したり、パンサーズグッズ販売コーナーも出店させていただきました。

ステージパフォーマンスでは、『交響楽団』から弦楽四重奏の学生たちが出演し、葉加瀬太郎の楽曲「エトピリカ」「情熱大陸」を演奏しました。笠山町30周年の夏をしっとりと爽やかな音色で演出したいという町内会長のリクエストに、心を込めてお応えしました。また、太鼓や踊りをはじめとする日本各地の伝統芸能に取り組んでいる『和太鼓ドン』は、かさやま夏まつりの常連です。毎年成果を披露する場を提供いただくお返しに、夏まつりに相応しいパワー溢れるパフォーマンスを楽しんでいただきました。

大人数で協力した特別事業部

交響楽団の弦楽四重奏

今後の課題・目標

主催団体である笠山町内会の川瀬会長からは、「パンサーズの本拠地グリーンフィールドに最も近い笠山町のまつりにアメフト選手たちが参加してくれたことで、今年はこのまつりの地域色がより引き立った。また、遠方から来てくれた交響楽団や和太鼓ドンのパフォーマンス、下支えをしてくれた特別事業部やBBS会の協力など、地元住民に喜んでもらえて上々の成果を上げることができ感謝している」とのコメントをいただきました。

このように近隣地域のみなさんと様々な場面で連携し、経験させていただくことも学生にとって貴重な学びの一つとなっています。今後もお世話になっている地域に貢献し、さらなる交流を進めていきたいと思います。

和太鼓ドンのパフォーマンス

地域交流

第7回みなくさまつり　～えんでつなぐみなみくさつ～

本学担当	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
学生団体、BKC地域連携課	第7回みなくさまつり実行委員会（草津市、近隣町内会・まちづくり協議会、草津商工会議所、草津青年会議所等）、ビブリオバトル実行委員会、草津市教育委員会	2011年度から現在（くさつビブリオバトルは2013年度から）	JR南草津駅西口特設会場

活動内容

2017年11月19日（日）、びわこ・くさつキャンパスの最寄り駅であるJR南草津駅の西口周辺を会場に、『第7回みなくさまつり』（主催：みなくさまつり実行委員会）が開催されました。

本行事は「えんでつなぐみなみくさつ」をテーマに、JR新快速の南草津駅停車と東日本大震災の復興支援がきっかけで始まった、今回で7年目を迎える地域イベントです。本学も実行委員の一員として、みなくさステージ、立命館ブース、くさつビブリオバトルを担当し、学生団体への参加を呼びかけたところ、10団体約80名の学生が集まりました。

【2017年度参画学生団体】

多国籍音楽サークル 出前ちんどん、free music circle PEACE、Ritree、Reco.lab、料理サークル meRci、大川活用プロジェクト支援団体haconiwa、color-free、REFLE.プロジェクト、ロボット技術研究会（RRST）、ルートプラス

これまでの成果

【みなくさステージ】

オープニングセレモニーの後、地元の老上中学校吹奏楽部の演奏に始まり、元気いっぱいのキッズダンスやチアリーディング、よさこい舞踊やバンド演奏など、さまざまな市民グループの多彩なパフォーマンスが披露されました。

本学から出演した『多国籍音楽サークル 出前ちんどん』は親しみやすい楽曲演奏の後に、模擬店エリアを練り歩いてまつりの雰囲気をさらに盛り上げ、『free music circle PEACE』は若さ溢れるパフォーマンスでバンドの最後を飾り、応援などにたくさんの方がステージを観に来てくださいました。

【立命館ブース】

10月に学内で開催したイベント『Sustainable Week』に出展した8団体が運営。各団体とも、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」のことを地域の皆さんに向けて紹介しつつ、その取組とも繋がり来場者に楽しんでもらえるような内容をブースで提供しました。また、SDGsの広報のためチラシを配ったり紹介パネルをブース横に設置するなど、自身のブース運営以外にも積極的に発信しました。どのブースも子どもたちや家族連れなどで賑わい、食べ物を提供したブースは完売、おもちゃを作るブースは終了時間ぎりぎりまで子どもたちが工作を楽しんでいる様子が見受けられました。

【くさつビブリオバトル】

今年度も、草津市立市民交流プラザを会場に、ビブリオバトル（本の書評合戦）「小・中学生の部」「一般の部」「大学生の部」「英語の部」の4部門を開催しました（実行委員長：立命館大学 生命科学部 木村修平 准教授）。「小・中学生の部」は、過去最多の59名が出場して活気に溢れ、さらに今年初めて、バトル進行役や開・閉会式司会を中学生が担当し、とても上手に進めていました。「一般の部」「大学生の部」「英語の部」も、多くの方にご観覧いただき、盛り上がりを見せていました。

今後の課題・目標

みなくさまつりには約2万人の来場者があり、地域のイベントとして年々定着しつつあることが伺えます。本学学生がお世話になっている南草津を盛り上げるため、今後も関わっていきたいと思います。

【参加した学生の声】

- ステージ出演と模擬店エリアの練り歩きをした『出前ちんどん』の丸山知里さん（映像学部 3回生）

昨年に引き続き呼んでいただき、沢山の方に見ていただくことが出来ました。ステージ演奏、練り歩きともに沢山の拍手とお声がけをいただきました。演奏している私達もとても楽しい時間となりました。

- ステージ出演した『PEACE』の山本竜輝さん（経済学部 3回生）

沢山の地域の人にPEACEの演奏を見ていただくことができ、参加したPEACE員全員が満足できるステージとなりました。演奏前に模擬店巡りをした際、地域のまつりならではの温かさが感じられました。

- 立命館ブースを統括した『Ritree』の切田澄礼さん（生命科学部 2回生）

今回の企画の中で、SDGsの認知度をはかるアンケート調査も行った結果、SDGsを知っている方も数人いましたがやはり認知度はまだまだ低かったです。そこでSDGsをどこで知ったのか聞いてみたところ、知っている方全員が「滋賀県で行われた何らかのイベントで知った」と答えてくださり、SDGsへの取り組みを宣言した滋賀県の周知成果が垣間見えたと私は感じました。このように、地域の方へアプローチするような面白い企画を今後も続けていくことが大切だと思っています。

ステージ出演したPEACE

出前ちんどんはステージ後に模擬店周辺を練り歩き

REFLE.の工作ブース（立命館ブース）

RRSTのロボット遊び（立命館ブース）

ビブリオバトルチャンプ賞授与の様子

BKC地域連携事例リスト

正課の活動

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	シチズンシップ・スタディーズⅠ（草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト）	1回生から履修できる「サービスラーニング」の演習科目。地域におけるイベントやプロジェクトに参加することを通じて、地域に貢献しつつ、地域社会の一員としての自覚や能力を育むことを目指す。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	草津街あかり華あかり夢あかり実行委員会、草津市商工観光労政課	2010年度から現在	草津市
●	シチズンシップ・スタディーズⅡ	個々の作業を担う「グループ」ワークから、各々の役割を果たす「チーム」ワークの視点で、現場と大学とを往復していく実践的な演習科目。「問いを問い直す」「結果から成果を紡ぎ出す」習慣をつけることで、現代を生きる市民の自覚と責任感を養う。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	桜プロジェクト（桜ヶ丘町内ボランティア団体）、草津の元気と自慢土産つくり隊ほか	2017年度	BKC、草津市
●	地域参加学習入門	地域参加の意義を学び、実際の活動へと誘うことを目的とした科目。「学習者」であると同時に、地域に暮らす「生活者」である視点で、世の中の仕組みと自分の関わり方を見つめ直す。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	滋賀県琵琶湖保全再生課ほか	2012年度から現在	BKC
●	ソーシャル・コラボレーション演習	「ソーシャル・コラボレーション演習」は、いわゆるPBL（Project Based Learning）の手法とサービスラーニングの手法を効果的に組み合わせ、自己と社会の未来を構想・設計する演習型科目。実践家等との協働（コラボレーション）によって、組織マネジメント（マーケティング・企画立案・工程管理・予算管理等）に携わり、高度な議論から感性を研ぎ澄ましていく。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史、サービスラーニングセンター	ヨシネットワーク／きんき環境館、草津の元気と自慢土産つくり隊	2017年度	近江八幡市、草津市
●	琵琶湖体感・体験ツアー	BKCの学生が環境学習船「megumi」を活用したツアーによって滋賀の自然や琵琶湖の価値と魅力を知り、学んだ。琵琶湖の価値や直面する課題、琵琶湖と密接にかかわった暮らしの様子を実際に体験。	共通教育推進機構 講師 宮下聖史、サービスラーニングセンター、BKC地域連携課	滋賀県琵琶湖保全再生課	2016年度から	近江八幡市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	近江兄弟社高校　単位制課程	2008年度から現在	近江八幡市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター野洲	2008年度から現在	野洲市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 HCCグループ	2010年度から現在	大津市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 NPOワイワイあぼしクラブ	2006年度から現在	湖南市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	2013年度から現在	草津市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	湖南市国際協会	2017年度	湖南市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	特定非営利活動法人 D.Live	2017年度	草津市
	全学インターンシップ	正課科目の全学インターンシップ	サービスラーニングセンター	公益財団法人 草津市コミュニティ事業団 草津クレアホール	2017年度	草津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社滋賀銀行	2001年度から現在	大津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	大津市議会	2014年度から現在	大津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社滋賀富士通ソフトウェア	2005年度から現在	大津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	オーパルオプテックス株式会社	2012年度から現在	大津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	ダイハツディーゼル株式会社	2005年度から現在	守山市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	草津市	2005年度から現在	草津市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	日本ソフト開発株式会社	2014年度から現在	米原市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	株式会社平和堂	2014年度から現在	草津市・彦根市
	全学インターンシップ	正課科目の協定型全学インターンシップ	キャリア教育センター	東近江市	2017年度から現在	東近江市

●：紹介記事を掲載している取組

正課の活動

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立玉川小学校	2004年度から	草津市立玉川小学校
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立玉川中学校	2014年度から	草津市立玉川中学校
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立志津小学校	2017年度から	草津市立志津小学校
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立渋川小学校	2017年度から	草津市立渋川小学校
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	草津市立老上中学校	2017年度から	草津市立老上中学校
	学校実践研究	学校現場の教員が担う業務全般の研修を行う。内容は各科目の授業における補助、特別活動、学校行事などの補助やクラブ活動指導など複数項目を組み合わせた研修。	教職教育課	大津市立瀬田小学校	2015年度から	大津市立瀬田小学校
●	認知症サポーター養成講座	厚生労働省が「オレンジプラン」と「新オレンジプラン」で推進している「認知症サポーター」の養成講座を、「社会政策」の講義時間中に開催。	経済学部 准教授 髙野 剛	草津市健康福祉部長寿いきがい課	2015年度から現在	BKC
●	福祉社会の担い手を育てる	福祉分野における人手不足問題を学生のチョボラ（ちょこっとボランティア）で解決しようとする課題解決型学習としてゼミ（演習1、2）で取り組んでいる。	経済学部 髙野ゼミ 准教授 髙野 剛	社会福祉法人しあわせ会（特別養護老人ホームやわらぎ苑、障害福祉サービス事業所むつみ園）	2015年度から現在	社会福祉法人しあわせ会（特別養護老人ホームやわらぎ苑、障害福祉サービス事業所むつみ園）
●	滋賀県中小企業家同友会、大津市、草津市との共同講義	立命館大学経済学部の講義（キャリアデザイン、インターンシップ、国内調査実習）への講師派遣、インターンシップおよび国内調査のフィールド提供	経済学部 教授 松本 朗	滋賀県中小企業家同友会、大津市・草津市商工観光労政課	2015年度から	BKCおよび滋賀県
●	草津市教育委員会サービスラーニング（専門）	体育的行事の企画運営や体育科学習の指導補助等に関わる中で、行事運営や学習指導の方法および実践理論についての見識を深める研修プログラム。	スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	草津市教育委員会	2012年度から現在	草津市内小学校（14校）
●	スポーツ健康科学部インターンシップ～ BKCでのUSFスポーツキャンプの実施～	USF Sports Campの企画、予算計画、資金管理、自治体への協力依頼、参加者募集、メディア対応といった一連の過程から事業運営のノウハウを学び、非営利団体である立場からスポーツマーケットを考えることで関係各所の立場や役割を理解する。	スポーツ健康科学部 教授 種子田 穣	一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION	2015年度-現在	草津市 BKC
	スポーツ健康科学部インターンシップ	市民啓発事業の企画立案、実施及び事業評価までを実地に体験し、行政における社会貢献の考え方やそれを実現するためのアプローチ方法を習得する。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	大津市保健所	2015年度-現在	大津市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	農の体験（地産農産物の栽培や収穫）＋食の体験（調理実習）を通じ食の大切さについて学ぶ。	スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	ファーマーズ・マーケット おうみんち&大阪ガス株式会社	2015年度-現在	守山市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	実習を通して、高齢者の身体的・精神的特徴や各サービスの概要を理解する。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	特定非営利活動法人ゆうらいふ	2012年度-現在	守山市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	鉄棒やとび箱の経験の浅い或いは比較的得意でない子どもたちに対し、直接指導を行い、体育指導者として必要な資質を習得するサポートをする。	スポーツ健康科学部 教授 長積 仁	公益財団法人 京都YMCA	2011年度-現在	京都市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	公式戦後期最終戦やイベント企画実施の企画準備段階から当日の運営までに関わり、広報・営業・会計などイベント一連に関わる運営補助を行う。	スポーツ健康科学部 教授 種子田 穣	株式会社わかさ生活 女子プロ野球事業部 京都フローラ	2015年度-現在	京都市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	クラブにおけるイベント等の運営補助を行い、活動を通して社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける。	スポーツ健康科学部 准教授 小沢 道紀	NPO法人バニーズ京都SC	2012年度-現在	京都市
	スポーツ健康科学部インターンシップ	小学生バドミントン全国大会の企画運営、公共スポーツ施設の管理運営、総合型地域スポーツクラブの育成支援など行なっている。	スポーツ健康科学部 教授 長積 仁	公益財団法人 長岡京市体育協会	2013年度-現在	長岡京市

●：紹介記事を掲載している取組

教育連携

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	薬学部・研究部×玉川小学校「立命館大学BKCスペシャル授業」 ～大学生活を体験しよう！～	本学の講義室で薬学部教員の授業を受けた後、構内見学、食堂にて昼食をとることで、大学生活を体感してもらう。大学への憧れや夢を持ち、今後の学習意欲に繋げてもらうことが目的。	薬学部創薬科学科 助教 河野 裕允	草津市立玉川小学校	2015年度から	BKC
●	草津市内小学校の「Pepper社会貢献プログラム」学生サポーター活動	ソフトバンクグループが公募選出の自治体公立小中学校282校に約2,000台規模でロボット「Pepper」の無償貸し出しを行うもので、そのうちの一つにあたる草津市が市内小学校にプログラミング授業を導入するにあたり、本学学生が近隣の2小学校の授業にサポーターとして協力した。	情報理工学部高田研究室、立命館コンピュータクラブRCC、情報理工学部プロジェクト団体RiPPro、BKC学生オフィス、BKC地域連携課	草津市教育委員会学校政策推進課	2017年度	草津市立玉川小学校、草津市立志津南小学校
●	教育と生命科学シンポジウム	滋賀県下の大学・高等学校・中学校の教職員とのネットワーク形成と生命科学に関する教育連携について議論を行うためのシンポジウム。	生命科学部 学部長　小島 一男	滋賀県下大学、中学校、高等学校、立命館各附属校	2016年度から現在	BKC
●	生命情報学・中高生体験講座	主に滋賀県下の中高生を対象に、生命情報学に関する実験の体験を通じて、生命科学への興味関心を高めてもらうための取組み。	生命科学部 学部長　小島 一男	滋賀県下中学校・高等学校	2016年度から現在	BKC
	滋賀県中学生チャレンジウィーク	中学生の職場体験学習の受入	図書館利用支援課	草津市教育委員会、大津市教育委員会	2001年度から現在	BKC
	オープンライブラリー	在学生の休暇期間（夏・春）に滋賀県下及び近隣府県の中学生・高校生を対象として、立命館大学図書館で自習、資料の閲覧、コピーが可能。	図書館利用支援課		2001年度から現在	BKC
●	リツクラ（Ritsumeikan Class）	課外自主活動団体が小学校に出向き、日頃の活動を活かして出前授業を実施し小学生と交流する取り組み。	BKC学生オフィス	草津市立志津南小学校	2009年度から現在	草津市立志津南小学校
●	草津東高等学校との高大連携プログラム	滋賀県下で唯一体育科を有する草津東高校との高大連携プログラム。スポーツ・健康に関わる科学的な知見を高校生段階でまとめ、成果として発表する。	スポーツ健康科学部 准教授 上田 憲嗣	滋賀県立草津東高等学校	2012年度から現在	滋賀県立草津東高等学校、BKC
●	草津漢字探検隊	「人」「動物」「気象」「衣服」など、毎回一つのものをテーマに見学や体験を通して漢字をテーマにしたワークショップや学習会を開催	社会連携部社会連携課	草津市教育委員会	2011年度から現在	草津市内各所
	学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	大津市立瀬田北中学校	2010年度から	大津市立瀬田北中学校
	学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	大津市立青山小学校	2017年度から	大津市立青山小学校
	学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	滋賀県立八幡工業高等学校	2017年度から	滋賀県立八幡工業高等学校
	学校ボランティア	学校現場におけるボランティア活動。業務内容は各学校で指示された内容（学習補助、特別活動、学校行事の補助、クラブ活動指導など）	教職教育課	滋賀県立野洲高等学校	2017年度から	滋賀県立野洲高等学校

●：紹介記事を掲載している取組

生涯学習支援

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	大津市食品安全リスクコミュニケーター育成講座事業	大津市民を対象とした食品安全リスクコミュニケーターの育成講座（全13回）を行う。座学のほか、事業現場での衛生管理を見学することで意識の向上や理解を深める。最終的には他の市民へ正しい情報発信ができる人材を育成する。	BKC社系研究機構／食マネジメント学部（2018年4月から）	大津市保健所、消費者庁、株式会社岡喜牧場、滋賀県食肉衛生検査所、株式会社阪急デリカアイ、JA草津市	2016年度から現在	大津市
●	2017年度立命館びわこ講座 ～近江を学ぶ、草津を識る～	課題に積極的に取り組む市民の学習意欲に応えるために、BKC開学以来20年以上続く生涯学習講座。草津市の委託事業としてスタートし、大学の知的資源を生涯学習支援に活かす講座を開設している。2017年度テーマは「近江を学ぶ、草津を識る」、約200名の市民が参加。	BKC地域連携課	草津市教育委員会生涯学習課、滋賀県立琵琶湖博物館	1994年度から現在	BKC
●	「びわ湖の日」連続講座 ～琵琶湖と人の様々な関わり～	滋賀県内の環境に関する課題をみつめなおす機会として3回連続講座を実施。7月1日が「びわ湖の日」と制定されており、滋賀県との包括協定に基づき共同で開催。2017年度は「琵琶湖と人の様々な関わり」をテーマに開講。	BKC地域連携課	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	2015年度から	BKC
●	あいこうか生涯カレッジ	地域にある文化財や受け継がれてきた熟練の技を題材とした現地学習から始め、高校での体験学習を経て、大学での専門的な学習へと、会場を移しながら、発展的に学ぶ連続講座。立命館大学は、あいこうか生涯カレッジ実行委員会（事務局：甲賀市教育委員会）に参画しており、「理論学習講座」がびわこ・くさつキャンパスで実施されている。	BKC地域連携課	甲賀市教育委員会	2015年度から	BKC
●	滋賀県防災カフェ	「防災カフェ」は、地震や風水害など県民の皆様の関心の高い危機について、専門家をゲストとして迎え、司会者（ファシリテーター）との会話を通して解説するイベントで、滋賀県防災危機管理局により実施されている。	理工学部 教授 深川 良一 教授 里深 好文 准教授 藤本 将光 教授 小林 泰三 教授 川方 裕則 教授 吉富 信太 教授 伊津野 和行 准教授 川﨑 佑磨 教授 大窪 健之	滋賀県総合政策部防災危機管理局	2016年度から	滋賀県危機管理センター
●	笠縫東学区の健康関連講座	①健康リーダー研修会…「健康で心豊かに長生きできるまちづくり」を進めるための研修会。全9回の研修会のうちの3回を担当。 ②健康ウォーキング講習会…区民へウォーキングの習慣を身につけてもらうため、まずはリーダーに取り組んでもらい、街の活性化へとつなげることがねらい。	スポーツ健康科学部 教授　家光 素行 助教　藤本 雅大	笠縫東学区まちづくり協議会	2015年度から	草津市笠縫東学区
●	BKCスポーツ健康コモンズのプログラムサービス	これまでキャンパス内でスポーツや健康づくりが身近でなかった学生や教職員、また地域住民の方々が主体的に健康増進や運動習慣を身につけることを目的としたプログラムづくりに取り組んだ。	BKC地域連携課、BKC学生オフィス、東大阪スタジアム(HOS)	（対象）キャンパス近隣の地域住民（草津市内の保育園、幼稚園、小学校の児童生徒等）	2017年度から	BKC

●：紹介記事を掲載している取組

社会貢献活動

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	滋賀県地域情報化推進会議	滋賀県地域情報化推進会議の会長として、県のICT推進をとりまとめている。	情報理工学部 教授(学部長)　仲谷善雄	滋賀県	2014年度から現在	滋賀県
●	滋賀県ICT推進懇話会	「(仮称)滋賀県ICT推進戦略」を策定するにあたり、有識者から意見を聴取し、検討する機関である「滋賀県ICT推進懇話会」の委員として、提言している。	情報理工学部 教授(学部長)　仲谷善雄	滋賀県	2017年度から現在	滋賀県
●	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	危険ドラッグ等薬物の乱用の防止には、規制とともに啓発活動が重要であることから、関係機関(滋賀県、(一社)滋賀県薬剤師会、立命館大学薬学部ほか)で実行委員会を立ち上げ、薬物乱用防止の啓発事業(キャンペーン)に取り組む。	薬学部事務室	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン実行委員会	2015年度から現在(2017年10月29日に八日市ショッピングプラザ　アピアでイベント)	滋賀県内各所
	立命館大学薬学部薬剤師生涯学習セミナー	本学薬学部卒業生の卒後教育として当セミナーを開催しているが、対象者を本学薬学部卒業生以外も可として、一般の医療関係者にも参加頂いている。	立命館大学薬学部	滋賀県病院薬剤師会、滋賀県薬剤師会	2014年度から現在	BKC
●	食とスポーツを育む会 ～滋賀県・京都府のジュニアアスリート指導者勉強会～	滋賀県内にある中学高校のスポーツ指導者が中心となり、スポーツをする子供たちの食事を考え、各々が実践しているノウハウを学び、発信し、子供たちを強く、大きく育てていこうという主旨の地域活動。	スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	滋賀県・京都府中高等学校運動部活動指導教諭	2011年度から現在	BKC
●	「まちづくり行動計画」策定に伴う志津南学区住民アンケート等調査事業	志津南学区まちづくり協議会で2014年に策定した「まちづくり行動計画」に続く新たな計画を作るにあたり、学区全体の現状や問題点などを把握することを目的とした地域調査を行った。草津市より「がんばる地域応援交付金」を受け、同協議会との共同事業として実施した。	共通教育推進機構 講師 宮下 聖史	志津南学区まちづくり協議会、(公財)草津市コミュニティ事業団、草津市まちづくり協働課	2017年度	志津南学区(草津市)
	草津市の「住みやすさ」に関するグループ・インタビュー調査等の実施業務・分析業務	草津市が実施する「住みやすさ」に関するグループインタビューの分析業務等を行う。実際草津に住んだきっかけや住み心地、愛着の持てるところなどを聞き取りし、今後より草津市が住みよいまちづくりに活用する。	BKC社系研究機構／BKCリサーチオフィス	草津市未来研究所	2017年6月6日～2017年10月31日	草津市
●	センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」	運動を促す先端技術の開発及び事業化を目指す産学連携型研究開発拠点。第49回草津宿場まつり、「健幸フェア」、「挑戦したいを応援する」運動フェスティバルにて草津市との連携を深めた。	研究部　BKCリサーチオフィス	オムロンヘルスケア株式会社、東洋紡株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社東大阪スタジアム、パナソニック株式会社　ほか	2013年度から現在	BKC、OIC、順天堂大学、草津市

●：紹介記事を掲載している取組

学生の課外自主活動

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	近江の彩り べんがら色彩スイーツ＆ミール プロジェクト	正課外のゼミ活動として、赤こんにゃくに代表される近江八幡とゆかりの深い「べんがら」という色をフィーチャーした食イベントを開催し、その効果を経済学的に評価する。	経済学部 寺脇拓ゼミ有志団体 教授 寺脇 拓	近江八幡市、近江八幡観光物産協会	2017年度から現在	近江八幡市
●	長浜市まちづくり役場誘導型観光マップ作り	長浜市の中心市街地は黒壁スクエアを中心に地域住民によるまちづくりが成功した事例として有名で、ここでは中心市街地への観光客を郊外へと誘導する手作りの観光振興マップを地域住民とともに作成・更新している。	経済学部 黒川ゼミ 教授 黒川 清登	NPO法人まちづくり役場	2016年度から現在	長浜市
●	高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」	滋賀県高島市の地域活性化を目指し、学生ボランティアが高島市内に宿泊し、地域のニーズに合わせたボランティア活動（清掃・雪かき等）を行う。地域住民との交流・協働を通じて様々なことを学ぶ。	サービスラーニングセンター	（社）高島市社会福祉協議会	2010年度から現在	高島市
●	農業から地域を元気に！プロジェクト	BKCの地元草津地域で農業に従事されている方々との交流を深めるとともに、実際に自ら農業に従事することを通じて、草津野菜のPRやブランド化、地産地消を推奨するプロジェクト。地域課題を理解することで、シチズンシップの涵養につなげる。	サービスラーニングセンター	・草津市農林水産課 ・草津市農業協同組合	2017年度	草津市
●	出あいプロジェクト（地域と出会う、地域の人と出会う）	キャンパスに最も隣接する志津南学区の地域活動に自由に参加できる課外プロジェクト。清掃活動、スクールガード、子育てボランティア、まちあるき等を実施。	サービスラーニングセンター	志津南学区まちづくり協議会	2015年度から現在	志津南学区（草津市）
●	体育会アメリカンフットボール部　草津市立南笠東小学校スクールガード活動参加	体育会アメリカンフットボール部員が、草津市立南笠東小学校のスクールガード活動（学校安全ボランティア）に参加し、通学路の交差点で地域の皆様と一緒に子どもたちの登校を見守る。	体育会アメリカンフットボール部 BKC地域連携課	草津市立南笠東小学校、南笠東学区スクールガード活動（学校安全ボランティア）の皆様	2017年度から	南笠東小学校周辺の交差点など
●	草津市内の河川周辺清掃活動	①狼川周辺清掃活動 ②草津川周辺清掃活動	①男子陸上部、女子陸上部、ラグビー部 ②男子バスケットボール部 BKC地域連携課	①南笠東学区自治連合会 ②NPO法人琵琶湖ネット草津、草津青年会議所	2017年度	草津市内河川（狼川、草津川など）
	体育会ラグビー部が南草津防犯パトロールに参加	体育会ラグビー部員が、交代で草津市野路町の防犯パトロール隊活動に参加し、隊員のみなさんと夜間に町内および周辺地域の安全を見回る。	ラグビー部 BKC地域連携課	野路町内会　南草津防犯パトロール隊	2017年度	草津市野路町周辺
●	やまだ健康＆スポーツフェスタ	あらゆる世代の学区住民が楽しみながら身体を動かして運動能力の向上をめざしたり、体力・健康測定や健康講座などを通して自身の健康について意識するきっかけとするもので、学生が企画立案から各ブースの運営までを担った。	BKC地域連携課、スポーツ健康科学部自治委員会、立命館ダンスサークルR.D.C.ほか	山田学区まちづくり協議会	2017年度	草津市山田学区
●	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）における本学学生の取組み	草津市民、大学、企業、行政が草津の未来のまちづくりを考え、交流する場所であるUDCBKにおいて、本学学生団体が市民に向けてのイベントやワークショップを実施。	Sustainable Week実行委員会、レコラ畑、SOIL＆SOUL、立命館SDP、BKC学生オフィス、サービスラーニングセンター	草津市、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ	2016年度から現在	草津市
●	Sustainable Week	2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」に基づいて、滋賀県を"小さな地球"と捉え、びわこ・くさつキャンパスを拠点とする学生団体を中心とした28団体が、それぞれの活動内容や専門性を活かしてSDGsの17のゴールに関連した企画を開催。	Sustainable Week実行委員会（2017年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体）	後援：滋賀県、草津市、近江八幡商工会議所、立命館地球環境委員会、立命館サステイナビリティ学研究センター	2017年度	BKC
●	立命の家	草津市内の小学生を対象に「学ぶ楽しさ」を知ってもらうことを目的として開催。学術系団体の実行委員を中心に企画、運営を行い、2017年度は応募者約240名から抽選された小学生150名、保護者70名が参加。	立命の家実行委員会、BKC学生オフィス	参加対象： 近隣地域の小学生	2001年度から現在	BKC

●：紹介記事を掲載している取組

学生の課外自主活動

	プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
	わくわく！サイエンスLab ！	近隣地域の小学生を対象とした夏休み期間の取り組み。身近な素材を用いた科学実験ショーや科学工作体験を提供し、小学生の理科に対する興味・関心の向上に貢献。	ライフサイエンス研究会（学友会学術部公認団体）	BKC近隣の小学校	2015年度以前から現在	BKC
●	ルシオール アート キッズ フェスティバル	クラシックの祭典「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」の関連イベントとして、守山市内各所で開催。立命館守山中高も会場で、大学からもサークルの演技披露や体験企画で協力。	BKC学生オフィス	守山市、守山市教育委員会	2015年度から現在	立命館守山中学校・高等学校
●	碁石海岸観光まつり	東日本大震災後に、本学と岩手県大船渡市との間で締結した「災害復興に向けた連携協力に関する協定」に基づき、課外自主活動団体を派遣。	災害復興支援室、学生オフィス	岩手県大船渡市	2013年度から現在	岩手県大船渡市
	草津宿場まつり	江戸時代に草津宿が東海道と中山道が交わる宿場町として栄えていたことにちなんで開催。昔と今の草津を華麗な時代行列などの様々な企画により紹介。2017年は約83,000人が来場。クラブ・サークルの演技披露や体験企画のほか一般学生も運営に携わるなど、多数の学生が参加協力。	学友会所属団体を中心とした課外自主活動団体、有志の一般学生、BKC学生オフィス	草津市	1994年度から現在	JR草津駅周辺
	桜ヶ丘夏祭り	役員の高齢化に悩む桜が丘町内会からの協力要請を受けて、ボランティアサークルIVUSA京都が祭り全体の運営に、RBCはステージ運営に、それぞれ協力。	IVUSA京都（学友会登録団体）、RBC（学友会中央事業団体）	桜ヶ丘町内会	2016年度から現在	草津市
	環びわ湖大学・地域コンソーシアム学生支援事業	滋賀県の13大学から選出された学生と教職員が協力して「学生の力を活かした地域づくりと滋賀の魅力の発掘、発信」をコンセプトに活動を行っている。2017年度は滋賀の魅力PR動画の制作を行った。	BKC学生オフィス	滋賀県	2011年度以前から現在	滋賀県
	運動を通じて地域住民の健康をサポート	スポーツ健康科学部の学びを活かして、こどもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした地域住民の健康増進を図る取り組みを実施。	KS1、ヘルスポ＋R、FB＋1（2017年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体）	BKC近隣、熊本県		BKC、草津市内、熊本県
	大津市 学生交流促進事業「Meet Up おおつ」	大津市と協力協定を締結している7大学の学生間の交流を通じて、大津のまちの活性化を図る。2017年度は学園祭合同PR事業と学生企画による交流イベント事業を実施。	BKC学生オフィス	大津市	2016年度から現在	大津市
●	学生団体REFLE.の活動～繋がり、混ざり合うことで少子化問題を解決！～	少子化問題を軸に、行政やNPO法人と連携しながら、学生がキャリアプランを考える機会を作る。Sustainable Weekとも連携し、UDCBKで市民参加型ワークショップを開催。	REFLE.プロジェクト（2017年度学びのコミュニティ集団形成助成金採用団体）	NPO法人くさつ未来プロジェクト、NPO法人ママの働き方応援隊、㈱Re-birth	2016年7月から現在	草津市
●	学生団体CUES（キューズ）による第48回衆議院議員総選挙投票制度の周知活動	BKC構内に期日前投票所が設置されたことから、学生の政治参加、投票促進の観点から草津市選挙管理委員会と学生有志が連携し、投票への啓発活動を実施。昨年の参議院選挙に引き続き、2回目の学内設置いうことも契機となった。	CUES、BKC学生オフィス、BKC地域連携課	草津市選挙管理委員会	2016年度	BKC
●	将棋を通じた社会・地域連携活動	草津市内老上学区住民の方々と連携して小学生を対象とした将棋教室を開催したり、BKC内で「立命館大学杯子ども将棋大会」を開催するなど、将棋の普及に取りくんだ。	将棋研究会（学友会学芸総部公認団体）	草津市生涯学習課、草津市老上学区まちづくりセンター	2016年度から現在	草津市内
●	バトンを通じた社会・地域連携活動	世界レベルの競技成績を修める一方で、バトン競技の普及活動やバトンを通じた地域交流にも積極的に取り組んでいる。	バトントワリング部（学友会学芸総部同好会）	草津宿場まつり実行委員会、草津学区ひとまちいきいき協議会、立命館守山高等学校　他	1996年度から現在	BKC、草津市、守山市　他

●：紹介記事を掲載している取組

ボランティア一日体験プログラム

担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
サービスラーニングセンター	TANAKAMIこども環境クラブ	2013年度から現在	大津市
サービスラーニングセンター	洗堰レトロカフェ	2012年度から現在	大津市
サービスラーニングセンター	大津市障害児サマースクール	2012年度から現在	大津市
サービスラーニングセンター	SHIPS　多文化共生支援センター	2012年度から現在	草津市
サービスラーニングセンター	循環型社会創造研究所えこら	2012年度から現在	大津市 草津市
サービスラーニングセンター	環境レイカーズ	2012年度から現在	東近江市

地域交流活動（留学生）

プロジェクト名	活動内容	担当部課・担当者	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
● 神輿担ぎde地域交流～草津市野路町の新宮神社例祭で本学留学生が活躍～	野路町内会から神輿の担ぎ手として参加をお声掛け頂いているお祭りで、様々な国籍の留学生が壮年会のみなさんと共に汗を流しながら交流を深めている。	BKC国際課 BKC地域連携課	野路町内会	2010年度以前から現在	草津市野路町周辺
兵主まつり	毎年5月5日に野洲市の兵主大社で行われる伝統行事『兵主まつり』のあやめ神輿やあやめ太鼓の担ぎ手として留学生が参加。	BKC国際課	兵主大社 （兵主太鼓保存会）	2009年度から現在	野洲市
三井寺散策ツアー	外国籍住民に向けて大津市の歴史、自然と文化を紹介し、異文化交流を行う大津市国際交流協会（OIGA）の活動に本学留学生が参加。	BKC国際課	（公財）大津市国際親善協会　大津ガイドクラブ	2016年度から	大津市
草津市内小中学校との交流活動	草津市内小中学校に本学の留学生を派遣し、小中学生との国際交流によって、互いに異文化体験をする活動。	BKC国際課	草津市教育委員会学校教育課	2011年度から現在	草津市内小中学校
KIFAの日本語広場の場所提供	草津市国際交流協会（KIFA）が留学生向けに実施している「日本語ひろば」の会場提供。本学留学生も多く参加。	BKC国際課	草津市教育委員会学校教育課 草津市国際交流協会	2010年度から現在	BKC
● 2017年度国際交流イベント「バーベキューパーティー」	新入留学生に滋賀県の魅力を知ってもらうことを目的としゲームなどを交えて行う歓迎イベント。近隣住民も招いてBBQを実施。	BKC国際課（TISA）	大津市松ヶ丘4丁目自治会、5丁目自治会、6丁目自治会	1994年度から現在	BKC
TISAによるハロウィーンイベント	秋期新入留学生を歓迎を兼ねて、多様な国籍の留学生との交流活動を通じて理解を深める。	BKC国際課（TISA）	大津市松ヶ丘4、5、6丁目自治会	2017年度から	BKC
TISAによる七夕まつり	草津市国際交流協会（KIFA）と連携し、本学留学生が日本の七夕の習慣などを体験する。	BKC国際課（TISA）	草津市国際交流協会	2014年度から現在	BKC
滋賀県留学生懇談会	滋賀県生活衛生営業指導センターによる食文化にまつわる交流イベント	BKC国際課	滋賀県栄養指導センター 滋賀県留学生交流推進会議（交流部会）	2006年度から	BKC
冬の国際交流企画「異文化フェスティバル」	山形県の農家の方の支援のもと、留学生と日本人学生および国際寮の近隣住民と餅つき体験や本学生のパフォーマンスをみる企画。	BKC国際課（TISA）	山形県農家、大津市松ヶ丘4、5、6丁目自治会	1996年度から現在	BKC
大津祭ツアー	外国籍住民に向けて大津祭の歴史や文化を紹介し、曳山を間近で観覧したり厄除け粽（ちまき）が配布される大津市国際交流協会（OIGA）の企画に本学留学生が参加。	BKC国際課	（公財）大津市国際親善協会　大津ガイドクラブ	2016年度から	大津市
● 青山学区寺子屋プロジェクト～留学生との異文化交流会～	青山学区の小学生を対象とした異文化ならびに国際交流への理解、関心を高めるために、多様な国籍の留学生との交流活動を通じて、覚える勉強よりも自然に身に付く各国の文化などについて知り、興味を広げる。	BKC国際課 BKC地域連携課	大津市青山学区社会福祉協議会	2017年度から	青山学区（大津市）
坂本散策ツアー	外国籍住民に向けて大津市の歴史と文化遺産を紹介し、異文化交流を行う大津市国際交流協会（OIGA）の活動に本学留学生が参加。	BKC国際課	（公財）大津市国際親善協会　大津ガイドクラブ	2016年度から	大津市
福むすめ（今宮戎神社）	毎年1月9～11日の3日間今宮戎神社で行われる十日戎に関わる行事に本学未婚の女子留学生が参加し、奉仕を行う。	BKC国際課	今宮戎神社	2012年度から現在	大阪市
草津市機能別消防団への参加	2015年度発足した草津市機能別消防団の一員として災害時に外国人のサポートを行う。	BKC国際課	草津市役所総合政策部危機管理部	2015年度から現在	草津市
玉川小学校台湾交流への協力	台湾嘉義（かぎ）市立崇文（すうぶん）国民小学校と草津市立玉川小学校の交流事業に際し、本学院生が通訳として協力。	BKC国際課 BKC地域連携課	野路町内会、草津市国際交流協会、草津市立玉川小学校	2017年度から	草津市内

●：紹介記事を掲載している取組

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
BLENDERS（チアダンス）	2016オータムフェスタin矢橋帰帆島公園	特定非営利活動法人ひかりグループ	滋賀県草津市
BLENDERS（チアダンス）	玉川萩まつり	玉川学区まちづくり協議会「玉川萩まつり実行委員会」	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ルシオールアート キッズ フェスティバル2016	滋賀県次世代文化芸術センター	奈良県奈良市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	玉川子ども体験合校	玉川学区まちづくり協議会	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	甲良町せせらぎスポーツクラブ	甲良町スポーツ推進委員会	滋賀県犬上郡
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	わんぱく塾	さざなみスポーツクラブ	滋賀県野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチをしよう	新田会館 児童館	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチを教えてもらおう	わくわくキッズきたおか	大阪府豊中市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	夏休み キッズレジャープログラム特別編	三井アウトレットパーク 竜王	滋賀県竜王町
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	平成28年度滋賀県スポーツ推進委員研修会草津大会	草津市スポーツ推進委員協議会事務局	滋賀県野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチ教室	公益財団法人八尾体育振興会	大阪府八尾市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチを体験しよう	野洲第一学童保育所	滋賀県野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	2016オータムフェスタin矢橋帰帆島公園	特定非営利活動法人ひかりグループ	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	第35回日野町スポーツ天国の日 開会式にて	日野町体育協会	滋賀県蒲生郡
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	河西学区民のつどい	河西学区民のつどい実行委員会	滋賀県守山市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	立命館小学校プライマリーデー	立命館小学校 保護者会	京都府京都市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチ	近江八幡市 八幡東子どもセンター	滋賀県近江八幡市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ぜぜ小まつり2016「スマイル・リング～みんなでつなげ！…」	ぜぜ小まつり実行委員会	滋賀県大津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチをしよう	新田会館 児童館	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	竜西フェア	竜王町西小学校	滋賀県蒲生郡
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	どよう広場	草津市立橋岡会館	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	子供会レクリエーション	野村南町 子供会	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチ	冨波湖州平子供会	滋賀県野洲市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	子ども会イベント	元町南子ども会	滋賀県守山市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	玉緒キッズ	玉緒コミュニティーセンター	滋賀県東近江市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	クリスマス会	ローズガーデン子ども会	滋賀県大津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチ体験	甲賀市立柏木小学校	滋賀県甲賀市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	なわとび体験となわとび大会	常盤小学校	滋賀県草津市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	きっずワールド"ダブルダッチに挑戦しよう！"	守山市児童センター	滋賀県守山市
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）	ダブルダッチ	近江八幡市 八幡西子どもセンター	滋賀県近江八幡市
Hawaiian Circle meahula（フラダンス）	立命館守山早苗会総会	立命館守山早苗会総会（同窓会）	滋賀県守山市
Hawaiian Circle meahula（フラダンス）	敬老のつどい	菩提寺区	滋賀県湖南市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	ラ・フォル・ジュルネびわ湖2016 キッズプログラム	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県大津市

※2016年度の活動

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	ルシオールアート キッズ フェスティバル 2016	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県守山市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	ダンスをしよう！	馬淵放課後児童クラブ 馬っ子	滋賀県近江八幡市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	2016オータムフェスタin矢橋帰帆島公園	特定非営利活動法人ひかりグループ	滋賀県草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	わくわく教室	八幡子どもセンター	滋賀県近江八幡市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	琵琶湖汽船「ビアンカ」を使用したイベント	滋賀県赤十字血液センター	滋賀県草津市
R.D.C.（立命館ダンスサークル）	児童育成クラブの活動	のびっこ矢倉	滋賀県草津市
アルティメットサークルLudolph	ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU2016	草津市教育委員会	滋賀県草津市
バトントワリング部	ジュニアスポーツフェスティバル KUSATSU2016	草津市教育委員会	滋賀県草津市
モダンジャズバレエ部	平成28年度 碁石海岸観光まつり	大船渡市 商工港湾部 観光推進室	岩手県大船渡市
モダンジャズバレエ部	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
Free Music Circle PEACE（軽音楽）	2016 野路サマーフェスティバル	野路町内会	滋賀県草津市
JAZZ CLUB	大阪校友会 校友会の集い 2016	立命館大学 校友会	大阪府大阪市
JAZZ CLUB	大津矯正展	滋賀刑務所	滋賀県大津市
JAZZ CLUB	クリスマスパーティー	グレイスサロン	滋賀県草津市
Song-genics（アカペラ）	ルシオールアート キッズ フェスティバル 2016	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県守山市
Song-genics（アカペラ）	立命館守山早苗会総会	立命館守山早苗会総会（同窓会）	滋賀県守山市
Song-genics（アカペラ）	日本バイオメカニクス学会懇親会	スポーツ健康科学部	滋賀県草津市
Song-genics（アカペラ）	大津矯正展	滋賀刑務所	滋賀県大津市
Song-genics（アカペラ）	ゆうYOUフェスタ2016	近江鉄道ゆうグループびわこ文化公園	滋賀県大津市
Song-genics（アカペラ）	美の糸ローアートにどぼん！—2016	公益財団法人 滋賀県文化振興事業団	滋賀県大津市
Song-genics（アカペラ）	琵琶湖汽船「ビアンカ」をしようしたイベント	滋賀県赤十字血液センター	滋賀県草津市
Song-genics（アカペラ）	組合事務局交流研究会	滋賀県中小企業団体中央会	滋賀県大津市
Song-genics（アカペラ）	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
Song-genics（アカペラ）	児童育成クラブの活動	のびっこ矢倉	滋賀県草津市
アコースティックギターサークル	「あゆみの広場」竣工記念式典	笠山町内会	滋賀県草津市
アコースティックギターサークル	ローレルコート南草津町内会 納涼祭	ローレルコート南草津町内会	滋賀県草津市
アコースティックギターサークル	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	滋賀県草津市
アコースティックギターサークル	ゆうYOUフェスタ2016	近江鉄道ゆうグループびわこ文化公園	滋賀県大津市
アコースティックギターサークル	児童育成クラブの活動	のびっこ矢倉	滋賀県草津市
混声合唱団メディックス	2016年度入学式	立命館大学学事課	京都府京都市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	出前ちんどんショー	金田学童保育所つちのこクラブ	滋賀県近江八幡市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	音楽に触れよう♪	野洲第5・6学童保育所	滋賀県野洲市

※2016年度の活動

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	上笠町第三町内会 敬老会	上笠町第三町内会	滋賀県草津市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	一般社団法人滋賀県薬剤師会	滋賀県草津市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
多国籍音楽サークル「出前ちんどん」	老蘇学区クリスマス会	老蘇学区まちづくり協議会	滋賀県近江八幡市
囲碁研究部	大阪校友会 校友会の集い 2016	立命館大学 校友会	大阪府大阪市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	松が丘2丁目子ども会親睦会	松が丘2丁目子ども会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	平成28年度地域交流事業看護の日まつり	一般社団法人水口病院	滋賀県甲賀市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ルシオールアート キッズ フェスティバル 2016	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジック	松が丘1丁目子ども会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	平成28年度 碁石海岸観光まつり	大船渡市 商工港湾部 観光推進室	岩手県大船渡市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	夏のレクリエーション	播磨田子供会	滋賀県守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	みなみっこひろば 夏祭り	大津市立瀬田南幼稚園	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	駅前東自治会 夏祭り	野洲市 駅前東自治会	滋賀県野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	特になし	大津ケアセンターそよ風デイサービス	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	納涼祭	堀切自治会	滋賀県東近江市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	石山夜市 第3週目	株式会社 ユーストン	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックショー	まほろば児童クラブ	滋賀県守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	地蔵盆のイベント	油橋詰町町内会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	栗生子供会地蔵盆	栗生子供会	京都府長岡京市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	地蔵盆	大津市若葉台自治会（地蔵盆実行委員）	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第三東部 地蔵盆	嵐山東学区 第三東部 子供会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	今屋敷町地蔵盆	今屋敷町	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	御供町地蔵盆	京都市中京区御供町内会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	小野荘司台町内会	京都市山科区小野荘司台町内会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	栗栖町地蔵盆	栗栖町町内会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	町内会地蔵盆における手品ショー	京都市北区小山初音東部町内会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	草津納涼まつり	草津納涼まつり実行委員会	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	子ども会 地蔵盆	渓蓮寺 子ども会	滋賀県甲賀市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	シャリエパークナード南草津まつり	シャリエパークナード南草津管理組合	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックの不思議を体験しよう	野洲第二学童保育所	滋賀県野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	イナズマフードグランプリ in 草津	草津青年会議所	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	学童保育所行事	野洲市社会福祉協議会 中主第3学童保育所	滋賀県野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	大阪校友会年次大会 イベント部門 学生団体との交流イベント	大阪校友会 企画イベント担当	大阪府茨木市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	リサイクルフェア草津2016	ごみ問題を考える草津市民会議	滋賀県草津市

※2016年度の活動

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
奇術研究会マジックプレイヤーズ	大津矯正展	滋賀刑務所	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	マジックショー	滋賀県立図書館	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	ぜぜ小まつり2016「スマイル・リング～みんなでつなげ！…」	ぜぜ小まつり実行委員会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	「市民ふれあい秋まつり in くさつ」「パワフル交流・市民の日」	（公財）草津市コミュニティ事業団	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	祇園元町 秋のふれあいフェスティバル	祇園元町自治会	滋賀県長浜市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	誕生日会	フースティング	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	元気っこ 秋のお楽しみ会	青山5丁目 子ども会「元気っこ」	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	野路子ども育成会 4班	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	秋葉台自治会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	旦椋子供会	京都府宇治市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	青山8丁目子供親睦会	大津市青山8丁目子供会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	平成28年度地域交流事業 クリスマス忘年会	地域生活支援センターしろやま	滋賀県甲賀市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	クリスマス会	月輪子ども育成会	滋賀県大津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	X'mas会＆餅つき大会	パークテラス桂川自治会	京都府京都市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	東御蔵山平尾子ども会クリスマス会	東御蔵山平尾子ども会	京都府宇治市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	赤十字キッズフェスティバル2017	滋賀県赤十字血液センター	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	6年生お別れ会＆進級お祝い	南笠ニュータウン子ども会	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	さざなみまつり	さざなみスポーツクラブ	滋賀県野洲市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	やまきんスポーツフェスタ	京都府立山城勤労者福祉会館	京都府綴喜郡
奇術研究会マジックプレイヤーズ	6年生を送る会	平井ニュータウン 子ども会	滋賀県草津市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	6年生を送る会＆1年生を迎える会	川田町子供会	滋賀県守山市
奇術研究会マジックプレイヤーズ	子ども会 送別会	駅前エスリード 子ども会	滋賀県栗東市
将棋研究会	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
将棋研究会	対局に挑戦	野洲第一学童保育所	滋賀県野洲市
将棋研究会	夏休みの友将棋企画「老上こども王将戦」	老上学区まちづくり協議会	滋賀県草津市
将棋研究会	将棋大会（将棋を学ぼう）	東近江市立能登川東こどもの家	滋賀県東近江市
書道部	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
書道部	平成28年度 碁石海岸観光まつり	大船渡市 商工港湾部 観光推進室	岩手県大船渡市
書道部	草津納涼まつり	草津納涼まつり実行委員会	滋賀県草津市
書道部	イナズマフードグランプリ in 草津	草津青年会議所	滋賀県草津市
新演劇研究会劇団月光斜	夏まつり	草津大谷保育園	滋賀県草津市
新演劇研究会劇団月光斜	東稜祭（文化祭）3年生クラス演劇に向けた演劇指導	京都府立東稜高等学校	京都府京都市

※2016年度の活動

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
美術研究部	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
美術研究部	草津納涼まつり	草津納涼まつり実行委員会	滋賀県草津市
美術研究部	大津矯正展	滋賀刑務所	滋賀県大津市
琵琶湖漫画研究会（RBM）	ルシオールアート キッズ フェスティバル2016	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県守山市
琵琶湖漫画研究会（RBM）	「市民ふれあい秋まつり in くさつ」「パワフル交流・市民の日」	（公財）草津市コミュニティ事業団	滋賀県草津市
ヨーヨーサークル トリックルーム	立命館小学校プライマリーデー	立命館小学校 保護者会	京都府京都市
ヨーヨーサークル トリックルーム	子ども会行事	若草・岡本西子ども会	滋賀県草津市
落語研究会	8月第二例会	草津ライオンズクラブ	滋賀県草津市
落語研究会	栗東市金勝学区 御園（山入）自治会開催行事	栗東市教育委員会 生涯学習課	滋賀県栗東市
落語研究会	栗東市治田学区 新屋敷自治会「敬老会」	栗東市教育委員会 生涯学習課	滋賀県栗東市
落語研究会	松が丘敬老会	松が丘1丁目自治会	滋賀県大津市
落語研究会	すこやかミニサロン	古高町自治会（守山市）	滋賀県守山市
落語研究会	ボランティア交流会	ぜぜ健康友の会（膳所診療所）	滋賀県大津市
落語研究会	子ども会 歓送迎会	市三宅子ども会	滋賀県野洲市
和太鼓ドン	川ノ下納涼祭	野路川ノ下町内会	滋賀県草津市
和太鼓ドン	日本バイオメカニクス学会懇親会	スポーツ健康科学部	滋賀県草津市
音響工学研究会	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
草津天文研究会	AP栗東クッキングプラザ	（株）平和堂	滋賀県栗東市
草津天文研究会	イナズマフードグランプリ in 草津	草津青年会議所	滋賀県草津市
草津天文研究会	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
自然科学ゼミ	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
数学研究会	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
数学研究会	「市民ふれあい秋まつりinくさつ」「パワフル交流・市民の日」	（公財）草津市コミュニティ事業団	滋賀県草津市
鉄道研究会	ルシオールアート キッズ フェスティバル2016	滋賀県次世代文化芸術センター	滋賀県守山市
内燃機関研究会	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
ヘルスポ＋R	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
薬学研究会	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	一般社団法人滋賀県薬剤師会	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	わんぱく塾	さざなみスポーツクラブ	滋賀県野洲市
ライフサイエンス研究会	夏休み キッズレジャープログラム特別編	三井アウトレットパーク 竜王	滋賀県竜王町
ライフサイエンス研究会	南郷っ子わくわくランド	大津市立南郷公民館	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	夏休み理科実験教室	大津市立大石公民館	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	楽しい理科実験	ローズベイガーデン自治会	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	グリーンフォート長岡京 夏祭り	グリーンフォート長岡京自治会	京都府長岡京市
ライフサイエンス研究会	イナズマフードグランプリ in 草津	草津青年会議所	滋賀県草津市

※2016年度の活動

地域交流活動（学生団体）

学生団体名	イベント名	主な連携先	活動地域
ライフサイエンス研究会	夏休み体験講座「科学に挑戦！！（科学あそび）」	大津市立田上児童館	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	子ども会学習支援事業「夏休みこどもひまわりの家」	認定特定非営利活動法人 大津夜まわりの会	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	わいわいクラブ	大津市立伊香立公民館	滋賀県大津市
ライフサイエンス研究会	ひびきあいフェスティバル	石部南小学校PTA	滋賀県湖南市
ライフサイエンス研究会	滋賀のおいしいものを食べよう！	REFLE.	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	サイエンス体験会	草津市立まちづくりセンター運営協議会	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	大山崎町ときめきチャレンジ推進事業	大山崎町ときめきチャレンジ推進事業運営委員会	京都府乙訓郡
ライフサイエンス研究会	ひなまつりイベント	草津市立なごみの郷	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	6年生 新1年生 歓迎会	野路子ども育成会 4班	滋賀県草津市
ライフサイエンス研究会	さざなみまつり	さざなみスポーツクラブ	滋賀県野洲市
立命館コンピュータクラブ（RCC）	2学期9月～放課後 情報処理部の指導	草津市立高穂中学校	滋賀県草津市
ロボット技術研究会	第48回草津宿場まつり	草津宿場まつり実行委員会	滋賀県草津市
ロボット技術研究会	大路区民まつり	草津第二小学校PTA	滋賀県草津市
飛行機研究会	リツクラ（出前授業）	草津市立志津南小学校	滋賀県草津市
飛行機研究会	子ども会行事	若草・岡本西子ども会	滋賀県草津市
Healing Circle OBAN	第6回みなくさまつり	みなくさまつり実行委員会	滋賀県草津市
IVUSA京都	つながりの夕べ	桜ヶ丘町内会	滋賀県草津市
料理サークルTri-C	玉川萩まつり	玉川学区まちづくり協議会「玉川萩まつり実行委員会」	滋賀県草津市
RBC（放送局）	青山夏祭り	青山学区自治連合会	滋賀県大津市
RBC（放送局）	青山学区「人権・生涯」学習推進協議会	第10回青山学区文化祭	滋賀県大津市
応援団	立命館大学建設会第18回総会・講演会・懇親会	立命館大学建設会	滋賀県草津市
応援団吹奏楽部	春の交通安全運動に伴う交通安全キャンペーン	滋賀県警本部交通部高速道路交通警察隊	滋賀県栗東市
応援団吹奏楽部	近畿管区内2府4県高速隊合同秋の交通事故防止キャンペーン	滋賀県警察本部交通部高速道路交通警察隊	滋賀県栗東市
応援団チアリーダー部	春の交通安全運動に伴う交通安全キャンペーン	滋賀県警本部交通部高速道路交通警察隊	滋賀県栗東市
応援団チアリーダー部	近畿管区内2府4県高速隊合同秋の交通事故防止キャンペーン	滋賀県警察本部交通部高速道路交通警察隊	滋賀県栗東市
応援団チアリーダー部	ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU2016	草津市教育委員会	滋賀県草津市
応援団チアリーダー部	ふれあいまつり・矢倉	矢倉学区未来のまち協議会ふれあいまつり実行委員会	滋賀県草津市

※2016年度の活動

地域交流活動（体育会団体）

	部活名	プロジェクト名	活動内容	主な連携先	活動期間	主な活動地域・場所
●	アメリカンフットボール部	フラッグフットボールを通した交流	草津市小中学校のフラグフットボールチームとの交流、技術指導	フラッグフットボールチーム「草津リトルパンサーズ」	1998年度から現在	草津市ほか
	アメリカンフットボール部	小学校訪問 「Play with Panther」	滋賀県下小学校でのフラグフットボール体験の実施	草津市立矢倉小学校	2010年度以前から現在	草津市、栗東市
	アメリカンフットボール部	リツクラ	大津市の小学校教員への指導講習及び小学生とのフラグフット交流会の実施	大津市立晴嵐小学校	2010年度以前から現在	大津市
	アメリカンフットボール部	フラッグフット講習会	附属校とのフラグフット交流会	立命館小学校	2012年度	立命館小学校（京都市）
	男子バスケットボール部	Ritsumeikan-Cup	京都府および滋賀県下の中学校のバスケットボールチームとの交流試合及び大学生部員による技術指導	滋賀県内の中学校チーム　ほか	2005年度から現在	BKC
●	男子バスケットボール部	パラスポーツプロジェクト	草津養護学校バスケットボールチームとのバスケットボール交流及び養護学校生徒の技術指導	滋賀県立草津養護学校	2017年度から	草津市、野洲市ほか
	男子バスケットボール部	滋賀県バスケットボール協会への協力	審判技術向上のための試合の部員参加	滋賀県バスケットボール協会		草津市
	ラグビー部	立命館ラグビーフェスティバル	県内のラグビースクール参加者向けのラグビークリニック実施	近隣のラグビーキッズスクール	2014年度から	BKCグリーンフィールド
	ラグビー部	関西タグラグビーフェスティバル	長浜市で行われる大会での児童・生徒とのタグラグビー参加	関西ラグビーフットボール協会	2015年度から	滋賀県立長浜ドーム（長浜市）
	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	草津市立志津小学校	2013年度から	草津市
●	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	大津ラグビースクール、The Antsクラブチーム	2013年度から	BKCグリーンフィールド
	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	立命館小学校	2014年度から	立命館小学校（京都市）
	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	地域の児童、生徒	2014年度から	西京極総合運動公園（京都市）
	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	大阪ラグビースクール	2015年度から	BKCグリーンフィールド
	ラグビー部	ラグビークリニック	地元の児童、生徒向けのラグビークリニック実施	地域の児童、生徒	2016年度から	宝ヶ池球技場（京都市）
	ラグビー部	合宿先でのふれあい活動	北見市での老人ホーム訪問	特別養護老人ホームはくちょう	2007年度から	北海道北見市
	ラグビー部	チャレンジスポーツデー	タグラグビー教室	チャレンジスポーツデー実行委員会	2016年度から	野村運動公園（草津市）
	ラグビー部	高大連携プロジェクト	高校生向けのラグビークリニック	千里高校・東山高校・膳所高校ラグビー部	2016年度から	BKCグリーンフィールド
●	男子陸上競技部	草津市駅伝競走大会	観察員等大会運営の補助および駅伝レースへのオープン参加	草津市駅伝競走大会実行委員会	2010年度以前から現在	BKC
	ボート部	Ritsレガッタ	地域住民と部員のチームによるボートレース大会の実施	瀬田漕艇クラブ　ほか	2005年度から現在	琵琶湖漕艇場（大津市）
	ヨット部	チャレンジヨット in Biwako	障がいのある方を対象としたヨット体験イベントの実施	京都府内、滋賀県内の養護学校、特別支援学校等	1994年度から現在	琵琶湖（大津市柳ヶ崎）
●	体育会全体	琵琶湖岸でのオオバナミズキンバイ駆除活動　～体育会所属学生による滋賀県への恩返し～	体育会本部を中心とした約50の体育会団体に所属する学生1,150人が、滋賀県大津市の琵琶湖湖岸において、滋賀県及びNPO法人国際ボランティア協会（IVUSA）との共催で外来水生植物「オオバナミズキンバイ」の駆除活動を行った。	滋賀県、NPO法人国際ボランティア協会（IVUSA）	2017年	大津市

●：紹介記事を掲載している取組

BKC で活動する学生団体

学友会・自治会・中央パート
学友会中央常任委員会
学友会中央事務局
全学自治会
経済学部自治委員会
理工学部自治委員会
情報理工学部自治委員会
生命科学部自治会委員会
薬学部自治会委員会
スポーツ健康科学部自治委員会
特別事業部BKC支局

中央事業体
体育会本部
体育会本部スポーツ編集局
学術本部
学芸総部本部
立命館大学新聞社
応援団チアリーダー部
応援団吹奏楽部
立命館大学放送局

中央任意団体
クイズソサエティ
RWF立命館プロレス同好会
民青同盟

学術部公認団体
鉄道研究会
写真研究会
探検部
ESS（英語研究会）
朝鮮文化研究会
民科経済研究会
経済科学研究会
経済学研究会
音響工学研究会
物理科学研究会
立命館コンピュータクラブ
ライフサイエンス研究会
数学研究会

学術部同好会
飛行研究会ダンデライオン

学術部任意団体
聖書研究会シャローム
草津天文研究会

学芸総部公認団体
囲碁研究部
競技ダンス部
交響楽団
混声合唱団メディックス
写真部
JAZZ CLUB
新演劇研究会劇団月光斜
美術研究部
クラシックギタークラブ
茶道研究部
将棋研究会
書道部
メンネルコール
モダンジャズバレエ部

学芸総部同好会
バトントワリング部
雅楽会
Free Music Circle PEACE

学芸総部任意団体
エレクトンサークル三弾鍵盤
琵琶湖漫画研究会
奇術研究会マジックプレイヤーズ
Song-genics
Jack & Beans

体育会公認クラブ
アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
カヌー部
航空部
硬式庭球部
ゴルフ部
山岳部
女子陸上競技部
水泳部
スキー部
ソフトテニス部
男子バスケットボール部
男子陸上競技部
トライアスロン部
バトントワリング部
ボート部
ヨット部
ラグビー部
ラクロス部
レスリング部

体育会公認同好会
All.1（フットサル）
windward（ウィンドサーフィン）

理工学部プロジェクト団体
ロボット技術研究会
飛行機研究会
内燃機関研究会

情報理工学部プロジェクト団体
RiG++（ゲーム・CG）
Ri-one（Robo Cup Simulation League）
RiPPro（プログラミング）

薬学部プロジェクト団体
薬学研究会（やくけんR）

BKC 登録団体

軟式野球・ソフトボール
Brothers
Riffchitz
SPIRAL
立命館スラッピー
Voots

サッカー
A（C）
F.C.Tridente
S.F.C
ZAULUS
蹴師

フットサル
Cherish
F.C.PEANUTS
Soleil
コックローチ
パイレーツ FC

バスケットボール
PRIO
Short Legs
いちばん星

硬式テニス・ソフトテニス
3 × 3y
Cloud9
HIGH BALL
JACK KNIFE
LAVATTZ
Moulin
SOFTEN
Wing Field
硬式庭球同好会
硬式テニスサークル APOLLO
軟式庭球同好会
ぶらんてぃ〜

バドミントン
NEXUS
Power Smash
TWINKLE

バレーボール
VERSUS
レシーブ友の会

ラグビー
Grassroots
バーバリアンズ

その他球技系
9's（ハンドボール）
aRt-deco（テニス・バドミントン）
Luceat（サッカー・フットサル）
merry's sheep（ドッジボール）
SUN-BEAR（ゴルフ）
アルティメットサークル Ludolph
カウンタードライブ（卓球）
バーバリアンズ（ラグビー）

武道
弓道サークル
総合格闘技 Travis
北道院拳法

マリン・スノー
スキューバダイビングサークル NGIS
立命館釣り同好会
540°（スノーボード）
金太郎スキー同好会
ホワイトクリスタル（アルペンスキー）

サイクリング・アウトドア
Rits BIC
山歩会（登山）

研究
FES（金融工学）
経営学研究会
自然科学ゼミ（科学実験）
大川活用プロジェクト支援団体 haconiwa（街づくり）

音楽
BRISE MUSIC（軽音）
Inter Play（ピアノ）
アコースティックギターサークル
吹奏楽サークル Fiz
立命館テクノ部

身体表現
Fusion Of Gambit（ダブルダッチ）
R.D.C.（立命館ダンスサークル）（ストリートダンス）
streeeem ！（フラッシュモブ）
カラーガードサークル LUSTER
ヨーヨーサークル　トリックルーム

デザイン
C⁴（服制作）
Design Factory（建築デザイン）

ボランティア
Reco.lab（環境研究）
TOM SAWYER（貧困問題）
ボラっちぇ
国際交流団体 IROHA

料理
Sweet Boys
料理サークル Tri-C

ゲーム制作
Beat Sense（RPG 製作）
BKC ポケモンサークル（ゲーム）
アトラ（ゲーム・CG 製作）

その他文化系
RICS（サブカルチャー研究）
Ritsumeikan Parliamentary Dabate Club（ディベート）
team Rumble Fish（シューティングゲーム）
Voice&Animation 研究会（声優研究）
華道・フラワーアレジメントサークル
麻雀同好会〜 TACOS 〜
立命館ノベリストクラブ（小説）

索引（主な連携先）

		滋賀県内							県外		その他団体		
		滋賀県	草津市	大津市	守山市	甲賀市	近江八幡市	高島市	京都府	岩手県大船渡市	NPO法人等	立命館附属校	企業
Topics													
8-9	日本初！学生主催によるSDGs体験型イベント「Sustainable Week」の開催	○	○				○						
10	学生団体CUES（キュース）による第48回衆議院議員総選挙投票制度の周知活動		○										
11	「甲賀市と立命館大学との連携・協力に関する包括協定」を締結					○							
正課の活動													
12	認知症サポーター養成講座		○										
13	福祉社会の担い手を育てる		○										
14	滋賀県中小企業家同友会、大津市、草津市との共同講義	○	○	○									
15	地域参加学習入門	○	○								○		
16	シチズンシップ・スタディーズⅠ（草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト）		○										
17	シチズンシップ・スタディーズⅡ		○										
18	ソーシャル・コラボレーション演習		○				○						
19	琵琶湖体感・体験ツアー	○											
20	草津市教育委員会サービスラーニング（専門）		○										
21	スポーツ健康科学部インターンシップ　～BKCでのUSFスポーツキャンプの実施～										○		
教育連携													
22	教育と生命科学シンポジウム	○										○	
23	生命情報学・中高生体験講座	○											
24	リツクラ（Ritsumeikan Class）		○										
25	草津東高等学校との高大連携プログラム	○											
26	薬学部・研究部×玉川小学校「立命館大学BKCスペシャル授業」　～大学生活を体験しよう！～		○										
27	草津市内小学校の「Pepper社会貢献プログラム」学生サポーター活動		○										
28	パラスポーツプロジェクト	○											
29	草津漢字探検隊		○										
生涯学習支援													
30	2017年度立命館びわこ講座　～近江を学ぶ、草津を識る～	○	○										
31	「びわ湖の日」連続講座　～琵琶湖と人の様々な関わり～	○											
32	あいこうか生涯カレッジ					○							
33	笠縫東学区の健康関連講座		○										
34	滋賀県防災カフェ	○											
35	大津市食品安全リスクコミュニケーター育成事業	○	○	○									○
36	BKCスポーツ健康コモンズのプログラムサービス		○										○
社会貢献活動													
37	食とスポーツを育む会～滋賀県・京都府のジュニアアスリート指導者勉強会～	○							○				
38	危険ドラッグ等薬物乱用防止啓発キャンペーン	○											
39	滋賀県地域情報化推進会議	○											
40	滋賀県ICT推進懇話会	○											
41	センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」												○
42	「まちづくり行動計画」策定に伴う志津南学区住民アンケート等調査事業		○										

索引（主な連携先）

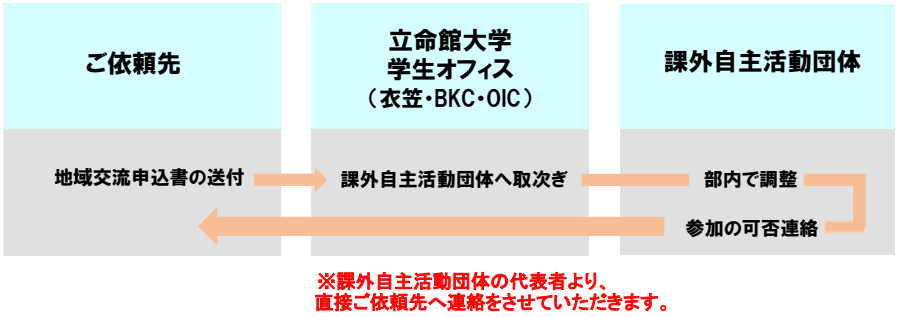
		滋賀県内							県外		その他団体		
		滋賀県	草津市	大津市	守山市	甲賀市	近江八幡市	高島市	京都府	岩手県大船渡市	NPO法人等	立命館附属校	企業
学生の課外自主活動													
43	近江の彩り べんがら色彩スイーツ＆ミールプロジェクト						○						
44	長浜市まちづくり役場誘導型観光マップ作り										○		
45	高島地域活性化プロジェクト「高島ワークキャンプ」							○					
46	農業から地域を元気に！プロジェクト		○										
47	出あいプロジェクト（地域と出あう、地域の人と出あう）		○										
48	立命の家	○	○										
49	学生団体REFLE.の活動　～繋がり、混ざり合うことで少子化問題を解決！～										○		○
50	バトンを通じた社会・地域連携活動		○									○	
51	碁石海岸観光まつり									○			
52	琵琶湖岸でのオオバナミズキンバイ駆除活動　～体育会所属学生による滋賀県への恩返し～	○									○		
53	体育会アメリカンフットボール部　草津市立南笠東小学校スクールガード活動参加		○										
54	草津市内の河川周辺清掃活動		○								○		
55	将棋を通じた社会・地域連携活動		○										
56	やまだ健康＆スポーツフェスタ　～山田学区での取組み～		○										
57	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）における本学学生の取組み		○										
地域交流													
58	ルシオール アート キッズ フェスティバル				○								
59	2017年度国際交流イベント「バーベキューパーティー」			○									
60	青山学区寺子屋プロジェクト　～留学生との異文化交流会～			○									
61	フラッグフットボールを通した交流		○										
62	ラグビークリニック	○											
63	２０２０年東京パラリンピック交流計画（ゴールボール男子日本代表選手強化合宿）	○			○						○		
64	第15回チャレンジスポーツデー　～コオーディネーショントレーニング及びスポーツ鬼ごっこ体験～		○								○		
65	第63回草津市駅伝競走大会		○								○		
66	神輿担ぎde地域交流～草津市野路町の新宮神社例祭で本学留学生が活躍～		○										
67	近隣自治会の夏まつりを学生の力で盛り上げよう！～かさやまふれあい夏まつり～		○										
68	第7回みなくさまつり　～えんでつなぐみなみくさつ～		○										

学生団体との地域交流のお申込みについて

「地域交流」とは

立命館大学では、多くの課外自主活動団体が、活動の場をキャンパスから地域へ展開しています。地域交流とは、本学に所属する学生による課外自主活動団体が、演奏、発表などを通して、地域の皆様と交流を行い、相互の発展を目指すものです。学生団体への依頼を希望される際には、下記事項をご理解いただき、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

実施に至るまでの流れ



※課外自主活動団体の代表者より、
直接ご依頼先へ連絡をさせていただきます。

*キャンパスについて
KIC：衣笠キャンパス（京都）
BKC：びわこ・くさつキャンパス（滋賀）
OIC：大阪いばらきキャンパス（大阪）

ご留意いただきたい事項

1. 原則として、利益を目的とする取り組みはお断りさせていただいております。
2. 地域交流をお申込の際は、スケジュールに余裕を持ってお申込みください。参加の可否連絡は、最低2週間を見込んでください。
3. 時期によっては、学業や定期試験等でご依頼をお引き受けできない場合がございますので ご了承ください。
4. 「課外活動による地域交流申込書」には、ご記入漏れがないようにご注意ください。
5. 課外活動団体が参加させていただく際に必要となる実費（交通費・食費・運搬費・材料費など）については、ご依頼先でご負担いただきますようお願いいたします。
6. 実費以外の謝礼については、ご予算に応じてお支払いください。金額の設定等はいたしておりません。
7. 最寄駅から実施場所までの送迎が無い場合は、地図を添付してください。
8. 課外活動団体の参加が確定しましたら、詳細については、学生と直接お打合せください。
9. 開催内容に変更が生じた場合は、速やかに学生オフィスまでご連絡をお願いします。

ご連絡先・お申込

申込書は右ページをコピーしてご利用いただくか、下記本学ホームページよりファイルをダウンロード、プリントアウトしてご記入いただき、FAXにてお送りいただくか、データをメールに添付の上、下記アドレスまでお送りください。

立命館大学 衣笠学生オフィス　FAX：075-465-8169　koryu-k@st.ritsumei.ac.jp
立命館大学 BKC学生オフィス　FAX：077-561-3954　koryu-b@st.ritsumei.ac.jp
立命館大学 OIC学生オフィス　FAX：072-665-2139　koryu-o@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学ホームページ「学生との地域交流のご案内」

http://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/chiiki/
（または「立命館大学　地域交流」で検索）

学生との地域交流申込書

※ 夏祭り・地蔵盆・クリスマス・年度末の時期は大変多くの依頼を頂戴するため、できる限りお早めに問い合わせください。
※ 学業や定期試験、帰省等でご依頼をお引き受けできない時期もございますので、ご了承ください。

申込回数	□ 新規申込 ・ □ 2回目以降 （担当者が交代されていても、申込団体が同じであれば2回目以降にチェックをしてください。）		
ふりがな		ふりがな	
申込団体名		担当者名	
団体所在地	〒		
連　絡　先	TEL：　　携帯： FAX： E-MAIL： 必ず連絡がつく時間帯　　時 ～ 時	参加可否の連絡期限 ※申し込みからご回答まで **2週間程度**頂いております。 月　日まで	
催物開催日時	年　月　日（　）　：　～　：		
催物名称			
主な参加者 (対象者)		参加人数	約　人
会場･ステージの大きさ	m ×　m ×　m	●音響設備　□有 ・ □無 ●内容	
その他 (内容の補足など)			
開催場所	（名称） （住所）〒		
交通機関	●交通　線　駅下車・バス（　）駅・徒歩　分 ●最寄り駅からの送迎　□有 ・ □無　（→無の場合、地図を添付してください。）		
希望団体名 もしくは ご希望の活動内容		依頼人数　人	
学生の参加時間	●時間帯　：　～　： ●１団体につき　分　●学生の都合により変更 □可 ・ □不可		
参加内容 （具体的に）	□ 演技披露　□体験　□指導　□その他		
諸経費 （必須）	●諸経費（交通費・食費・運搬費・材料費等）については、申込団体にて必ずご負担ください。		
謝礼 （任意）	●一人あたり　円、もしくは一団体あたり　円		

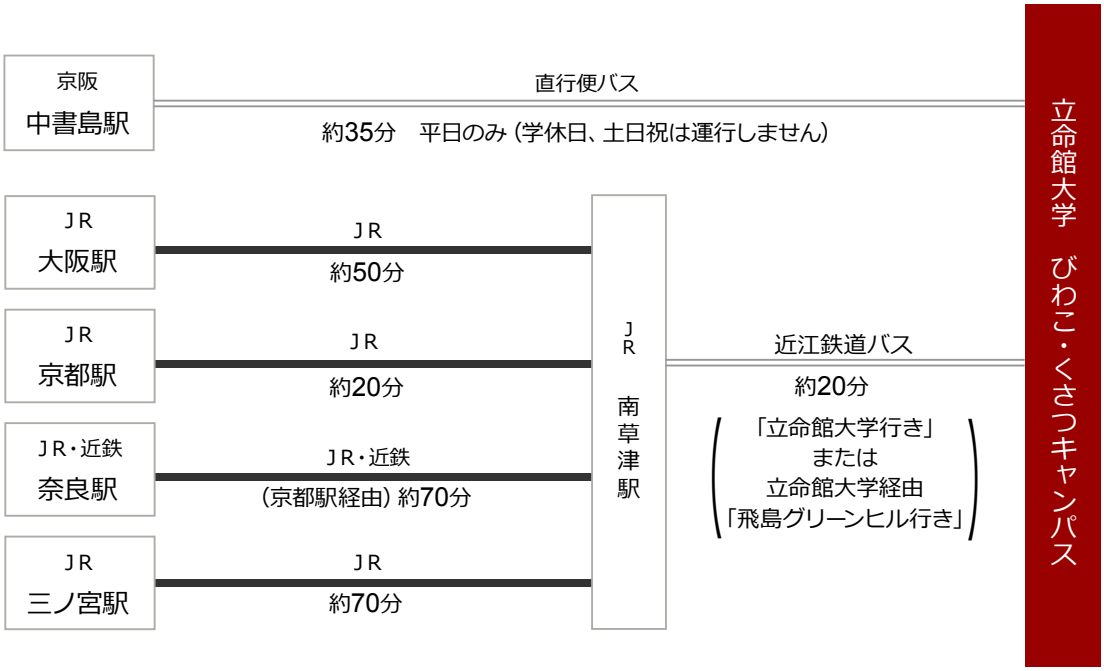
以下大学使用欄

受付日　No.	サークルへの連絡	受諾可否	結果報告
	月　日［メール ・ 電話 ・ 窓口］にて連絡 （学生氏名　）※学生からの回答期日　月　日	可・不可	未 ・ 済 月　日

立命館大学　BKC学生オフィス
FAX: 077-561-3954　TEL:077-561-3920(直通)
RITSUMEIKAN

アクセスマップ

アクセス方法



■京阪中書島駅から

直行便バスにて約35分　※学休日、土日の運行はしません。

■ JR 南草津駅から

南草津駅東口ロータリー　近江鉄道バス「立命館大学行き」または立命館大学経由「飛島グリーンヒル行き」に乗り換え約20分

立命館大学びわこ・くさつキャンパス地域連携事例集 2017.4-2018.3

2018年3月　発行

立命館大学総務部 BKC地域連携課

525-8577　滋賀県草津市野路東 1-1-1

電話　077-561-5918

ファックス　077-561-2619

HP　http://www.ritsumei.ac.jp/community_affiliations/shiga/

（または「立命館大学 社会・地域連携 滋賀」で検索）

RITSUMEIKAN

立命館大学　総務部 BKC 地域連携課

〒525-8577　滋賀県草津市野路東 1-1-1
TEL 077-561-5918